

平成25年度
川崎区区民アンケート
報告書

川崎区役所

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
3. 調査項目	3
4. 回収状況	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	3
6. 標本誤差	4
第2章 回答者の属性	5
第3章 調査結果の詳細	9
1. 住みやすさについて	11
(1) 川崎区の住みやすさ	11
(2) 川崎区について良いと思うもの	13
(3) 川崎区について良くないと思うもの	17
(4) 今後の定住意向	21
2. 川崎区役所の広報について	23
(1) 川崎区からの情報の入手手段	23
(2) 「市政だより」について充実してほしい情報	27
(3) 日常生活で情報を得るために利用する媒体	31
3. 川崎区役所が行っている事業の要望について	35
(1) 今後、特に力を入れてほしい事業	35
4. 今後の防災、災害対策について	39
(1) 災害時の避難場所の認知度	39
(2) 災害対策に関して知りたい情報	42
(3) 自分や家族を災害から守るために心がけていること	45
5. 新たな総合計画の策定について	48
(1) 「10年後の川崎区」について、めざすべき方向	48
6. 市民利用施設について	52
(1) 区内のJR南武支線より横浜市側の地域（小田、京町、浅田）に市民館や図書館がない ことの不便性	52
7. 川崎区区民会議について	55
(1) 区民会議の認知	55
(2) 区民会議で取り上げるべき地域の課題	58
(3) 区の花・木の認知	62
8. 市民活動及び地域活動への参加について	65
(1) 町内会・自治会への加入状況	65
(2) 町内会・自治会に加入した理由	68
(3) 町内会・自治会などの活動を行っていない理由	71
(4) 参加してみたいと思う地域活動の分野	74
第4章 調査票	79

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

「川崎区区民アンケート」は、区民の意識や区役所サービス等に関する要望を調査することにより、地域の課題を把握し、区民会議における調査審議課題の選定、区政運営及び区の企画立案の参考資料とすることを目的として実施した。

2. 調査の方法

- (1) 調査の地域 川崎区全域
- (2) 調査の対象者 川崎区在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 2,000標本
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布一郵送回収）
- (6) 調査期間 平成26年3月18日（火）～平成26年3月31日（月）
- (7) 調査委託機関 株式会社 サーベイリサーチセンター

3. 調査項目

調査項目	問番号
1. 住みやすさについて	(問2～問4)
2. 川崎区役所の広報について	(問5～問7)
3. 川崎区役所が行っている事業の要望について	(問8)
4. 今後の防災、災害対策について	(問9～問11)
5. 新たな総合計画の策定について	(問12)
6. 市民利用施設について	(問13)
7. 川崎区区民会議について	(問14～問16)
8. 市民活動及び地域活動への参加について	(問17～問20)

4. 回収状況

有効回収数 908人
有効回収率 45.4%

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

6. 標本誤差

この調査結果を見る場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、回答者数（標本数）が少ないほど大きく、また、回答比率が低いほど大きくなる。下記の表は、今回の調査結果の標本誤差を示したものである。例えば、調査の中のある設問の回答者数が908人であり、Aと回答した人の比率が60%だった場合、その結果を全体（母集団）の結果として考える時に、Aの回答比率は56.25%～63.25%であるとみることができる。

●今回の調査結果の標本誤差

回答比率 (p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
908	±1.99%	±2.65%	±3.04%	±3.25%	±3.32%
600	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4.00%	±4.08%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。

〈注／この表の見方〉

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。

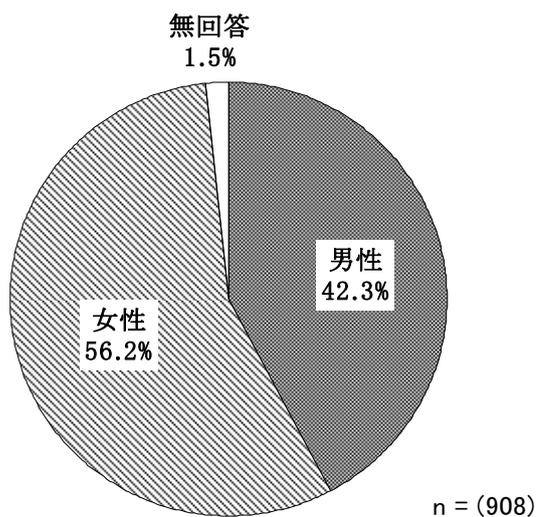
標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

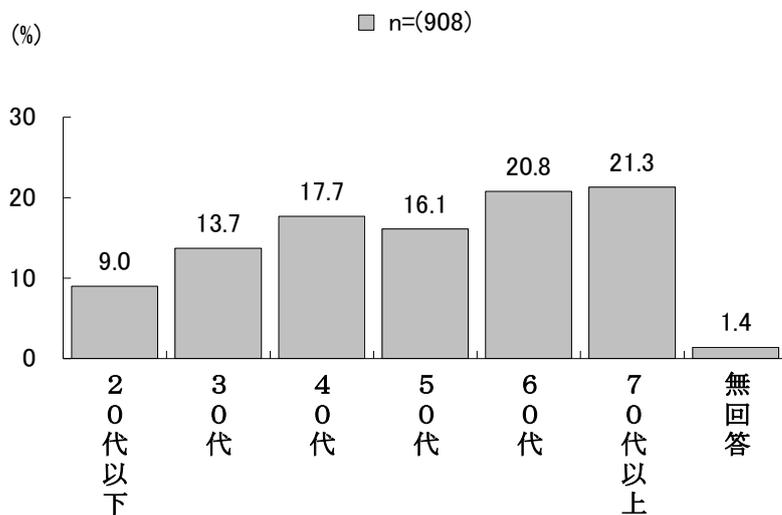
$\left\{ \begin{array}{l} N = \text{母集団数 (川崎区の18歳以上人口)} \\ n = \text{比率算出の基数 (回答者数)} \\ p = \text{回答の比率 (\%)} \end{array} \right.$

第2章 回答者の属性

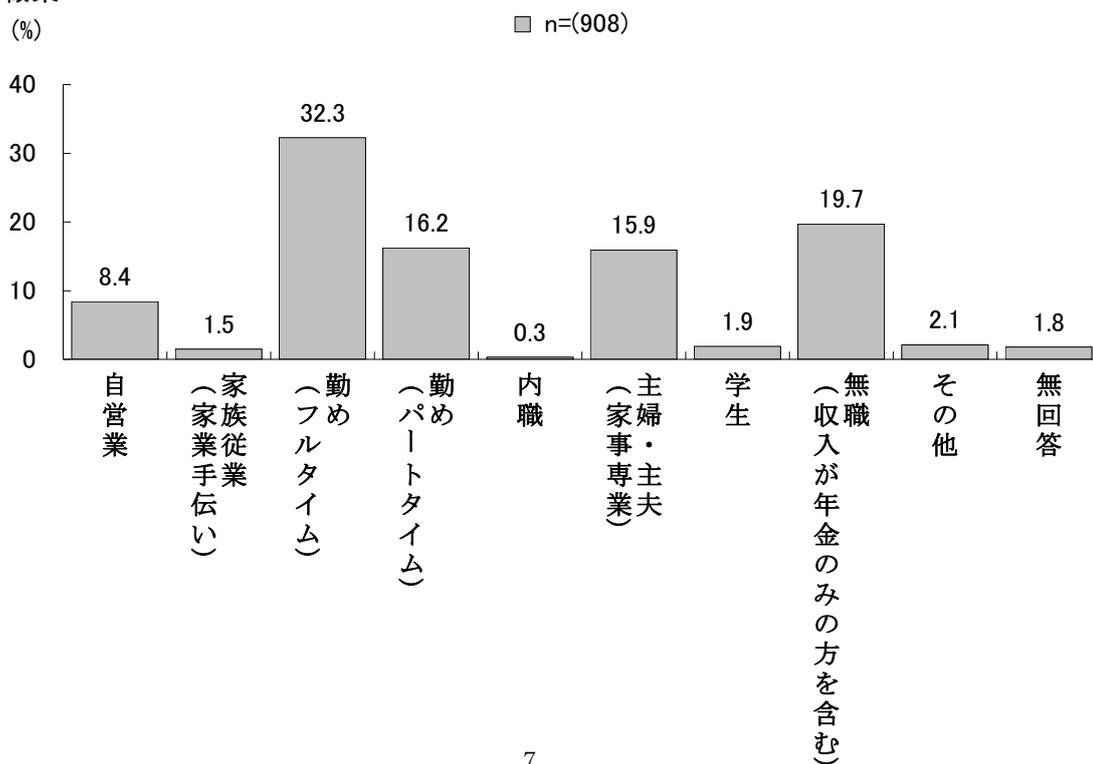
F 1 性別



F 2 年齢

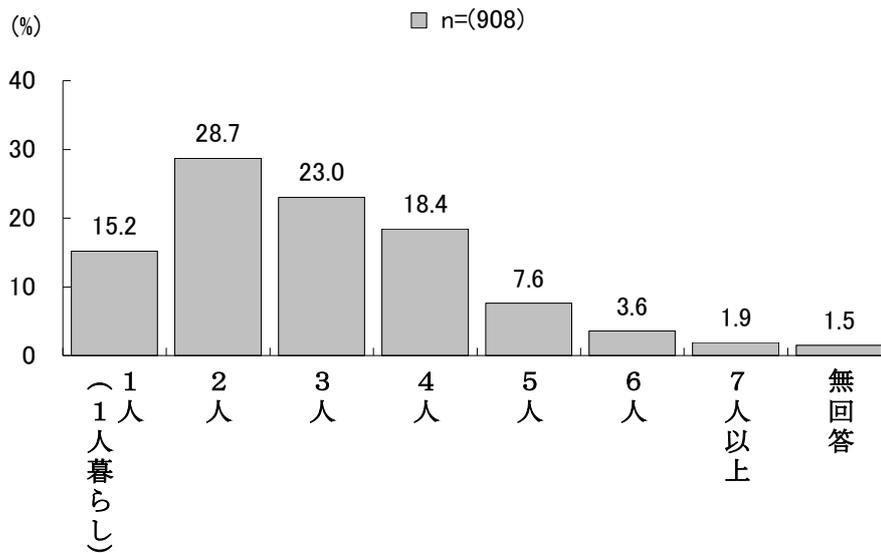


F 3 職業

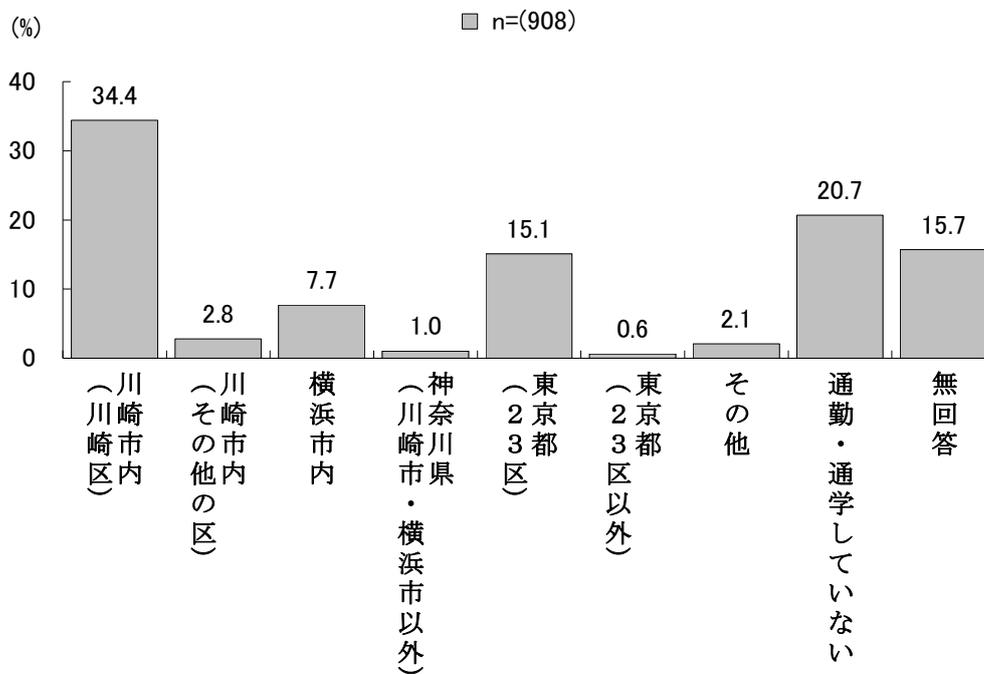


第2章 回答者の属性

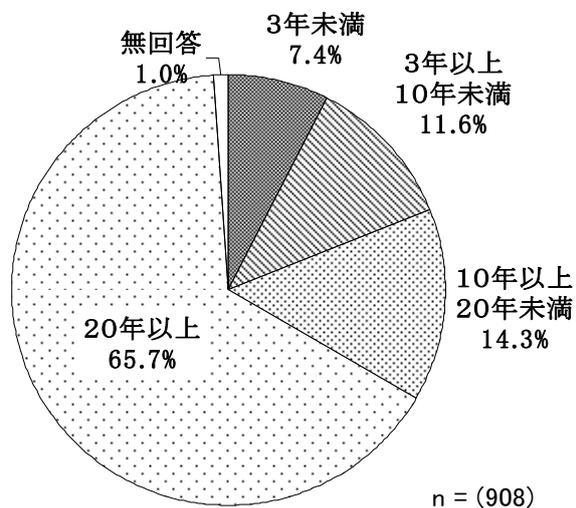
F 4 同居人数



F 5 勤務先・通学先



問1 居住年数



第3章 調査結果の詳細

1. 住みやすさについて

(1) 川崎区の住みやすさ

問2 あなたにとって、川崎区はどの程度住みやすいですか。(○は1つ)

全 体 「どちらかといえば住みやすい」(58.0%)が最も高く、次いで「とても住みやすい」(31.3%)と続いている。平成21年度からの結果と比較すると「とても住みやすい」が増加傾向にあり、平成21年度(24.4%)に対し、今年度では6.9ポイント高くなっている。(図1-1-1)

性 別 性別では特に大きな違いは見られない。(図1-1-2)

性年代別 「とても住みやすい」では、「女性70代以上」(42.3%)が最も高く、次いで「女性50代」(37.8%)と続いている。「どちらかといえば住みやすい」では、「女性20代以下」(73.9%)が最も高くなっている。(図1-1-2)

図1-1-1 川崎区の住みやすさ

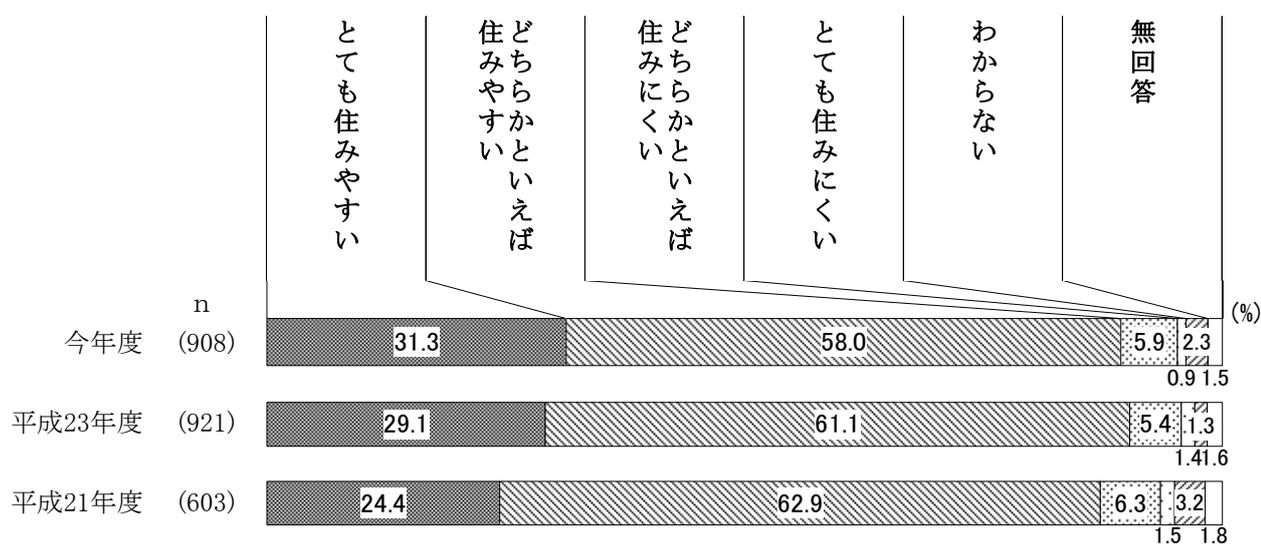
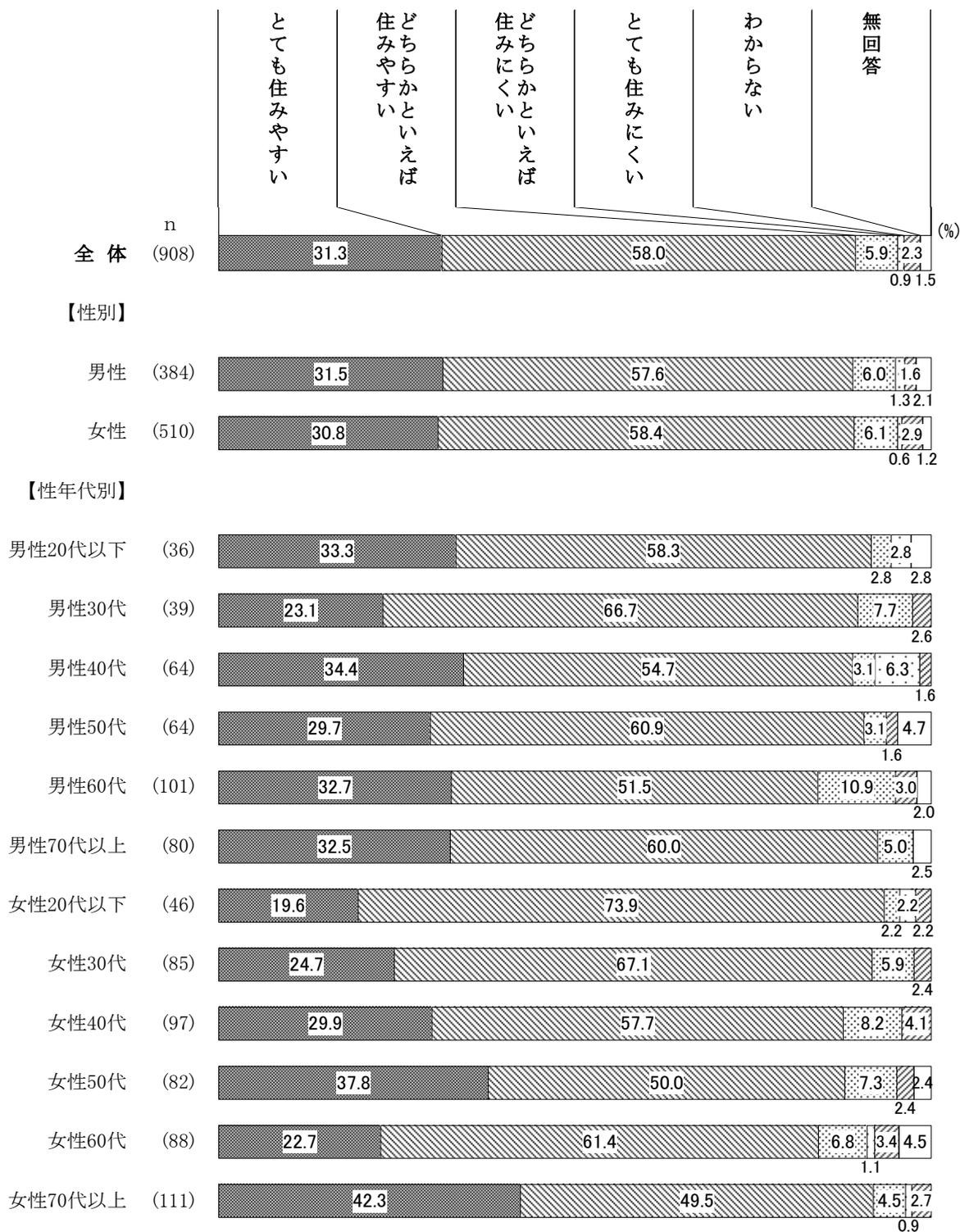


図1-1-2 川崎区の住みやすさ <性別・性年代別>



(2) 川崎区について良いと思うもの

問3-1 次の表にあげる項目で、川崎区について良いと思うものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「買い物、病院などの日常生活の利便性」(85.7%)が最も高く、次いで「交通の利便性」(84.4%)、「緑や公園などの自然環境」(41.7%)と続いている。平成23年度と比較すると「交通の利便性」(今年度：84.4%、平成23年度：82.1%)、「治安や風紀」(今年度：29.4%、平成23年度：28.7%)は今年度の方が高くなっているが、それ以外の項目は平成23年度より低くなっている。(図1-2-1)
- 性 別** 「治安や風紀」では、「男性」(34.6%)が「女性」(25.7%)より8.9ポイント高く、「美化」でも「男性」(31.3%)が「女性」(25.3%)より6.0ポイント高くなっている。(図1-2-2)
- 性年代別** 「買い物、病院などの日常生活の利便性」では、「男性20代以下」(94.4%)、「女性30代」(95.3%)が9割を超えて高くなっている。(図1-2-2)
- 居住年数別** 「治安や風紀」(3年未満：10.4%、3年以上～10年未満：20.0%、10年以上～20年未満：21.5%、20年以上：35.3%)では、居住年数が長くなるにつれ高くなる傾向がある。(図1-2-3)
- 川崎区の住見やすさ別** すべての項目で「住みやすい計」の方が「住みにくい計」よりも高くなっている。特に「子育て環境」(住みやすい計：35.9%、住みにくい計：9.7%)では、26.2ポイント差となっている。(図1-2-3)
- 定住意向別** 全体的に「川崎区内に住み続けたい」が最も高く、「市外に転居したい」が最も低くなっている傾向にあり、特に「緑や公園などの自然環境」(川崎区内に住み続けたい：46.9%、市外に転居したい：21.8%)では、25.1ポイント差となっている。(図1-2-3)

図1-2-1 川崎区について良いと思うもの

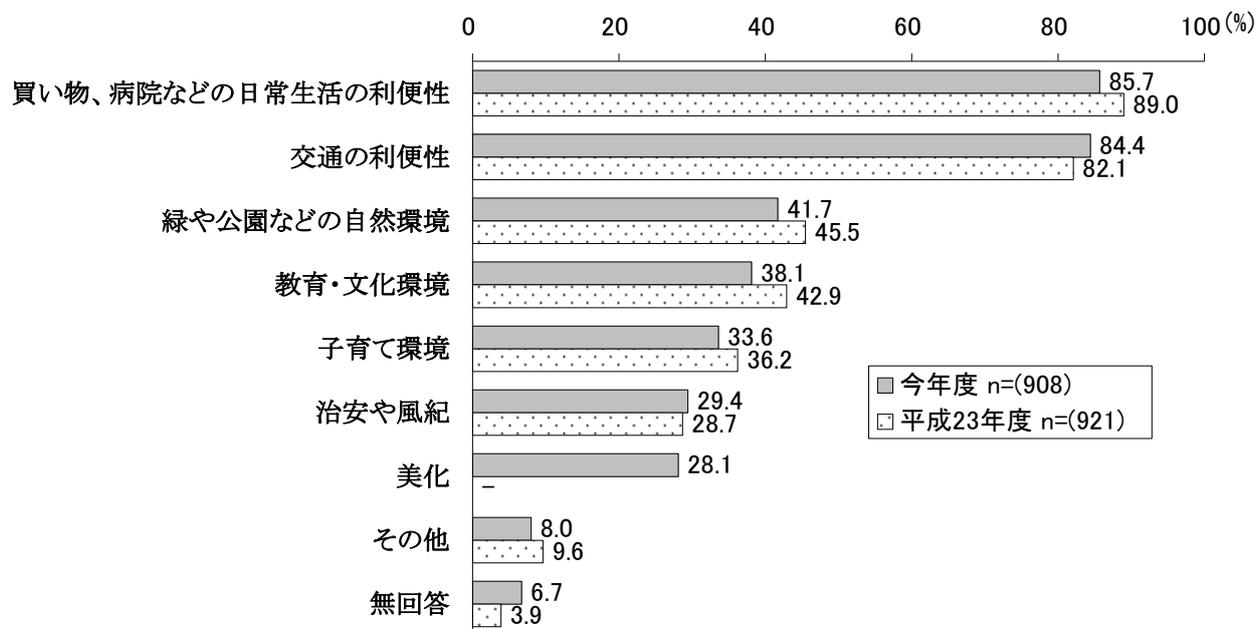


図1-2-2 川崎区について良いと思うもの <性別・性年代別>

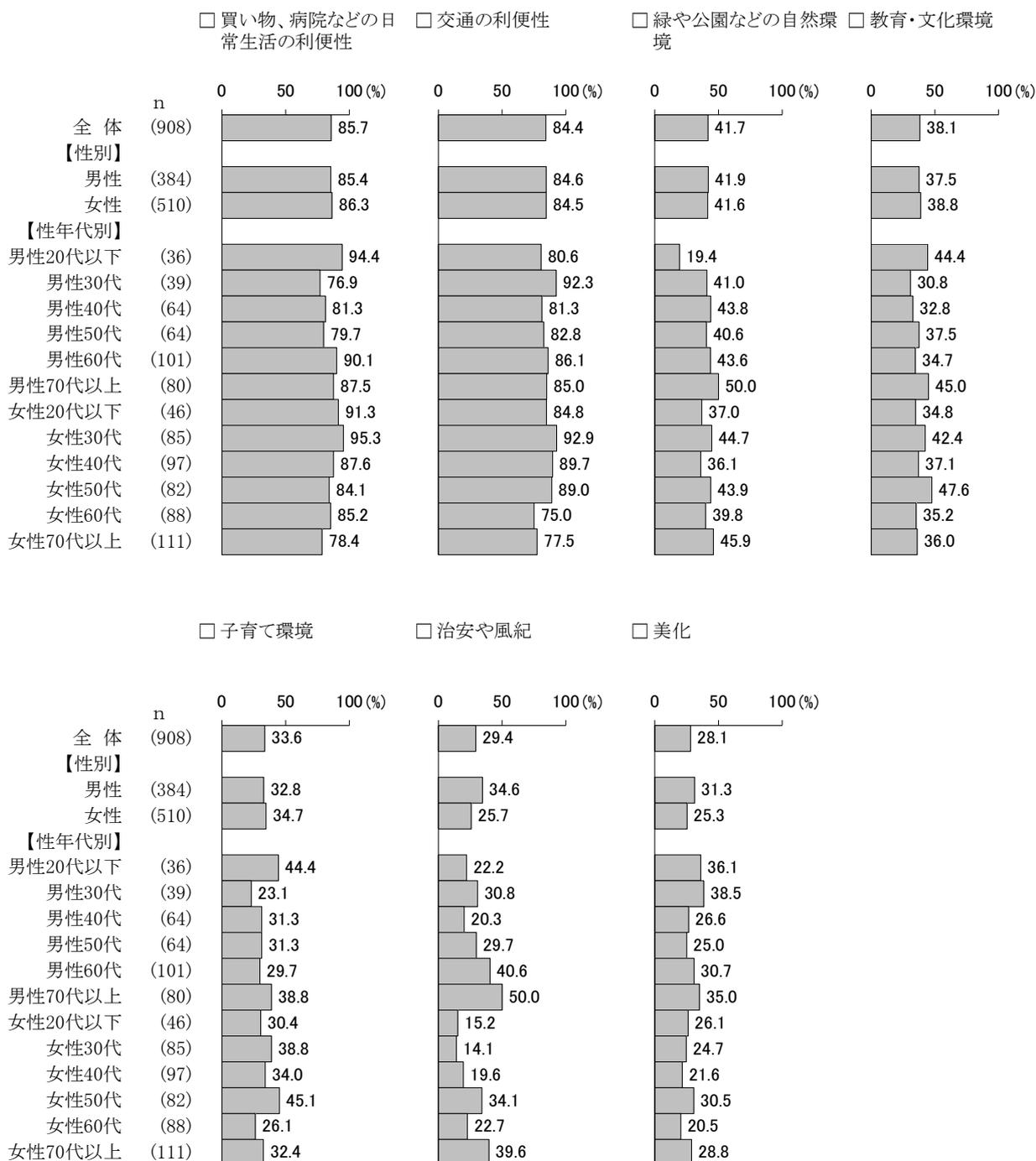
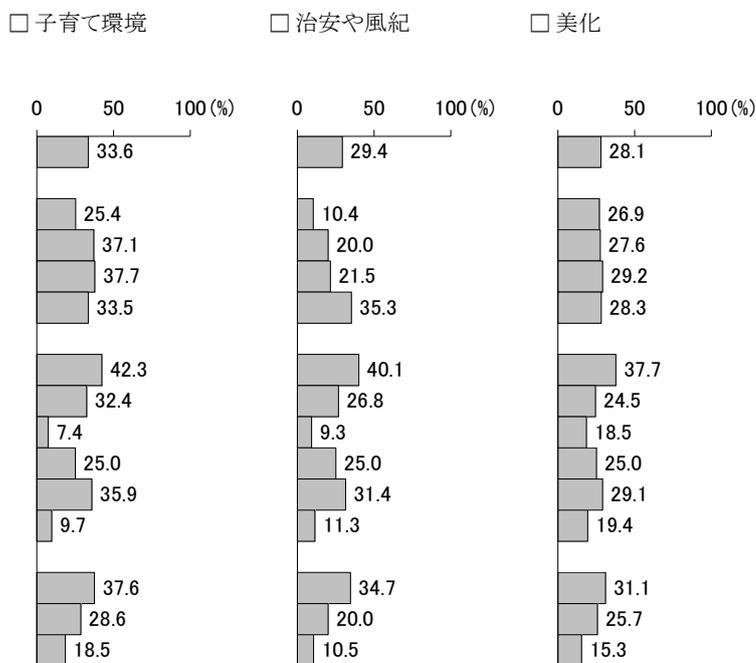
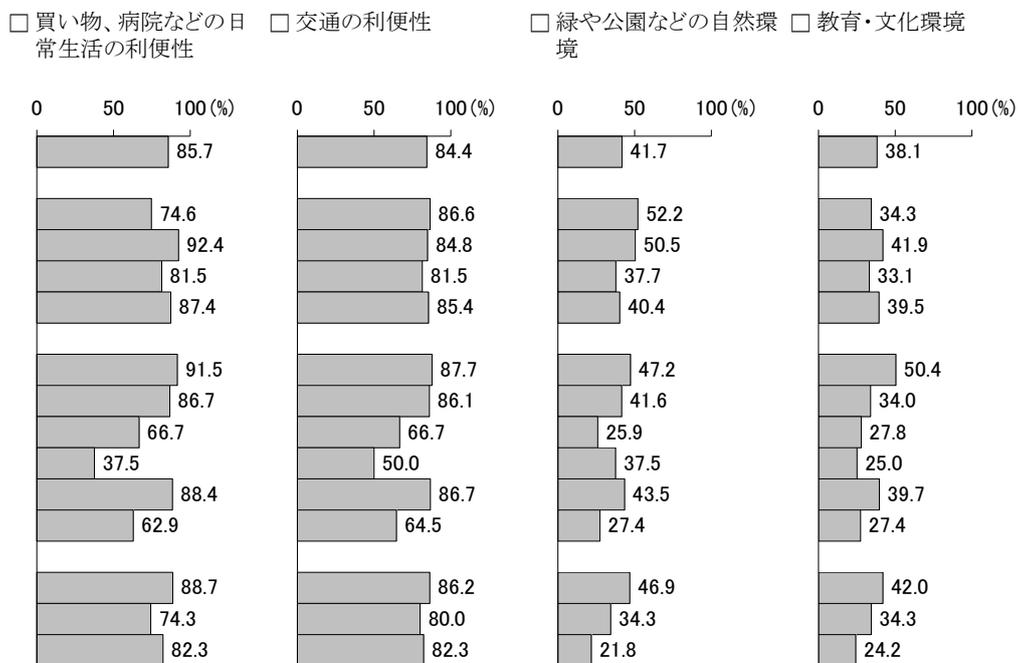


図1-2-3 川崎区について良いと思うもの

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(3) 川崎区について良くないと思うもの

問3-2 次の表にあげる項目で、川崎区について良くないと思うものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「治安や風紀」(50.6%)が最も高く、次いで「美化」(42.0%)、「緑や公園などの自然環境」(37.0%)と続いている。平成23年度と比較すると「買い物、病院などの日常生活の利便性」(今年度：6.6%、平成23年度：6.3%)は今年度の方が高くなっているが、それ以外の項目は平成23年度より低くなっている。(図1-3-1)
- 性 別** すべての項目で「女性」のほうが高くなっており、特に「治安や風紀」では、「女性」(53.3%)が「男性」(47.9%)より5.4ポイント高くなっている。(図1-3-2)
- 性年代別** 全体的に年代が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあり、「治安や風紀」では、最も高い「女性30代」(81.2%)と最も低い「男性70代以上」(21.3%)は約60ポイント差がある。(図1-3-2)
- 居住年数別** 「治安や風紀」、「美化」では、居住年数が長くなるにつれて割合が低くなる傾向にあり、特に「治安や風紀」では、「3年未満」(79.1%)と「20年以上」(43.6%)は35.5ポイント差となっている。(図1-3-3)
- 川崎区の住見やすさ別** すべての項目で「住みにくい計」の方が「住みやすい計」よりも10ポイント以上高くなっている。特に「治安や風紀」(住みやすい計：48.2%、住みにくい計：79.0%)では、30.8ポイント差となっている。(図1-3-3)
- 定住意向別** 全体的に「市外に転居したい」が最も高く、「川崎区内に住み続けたい」が最も低くなっている傾向にあり、特に「子育て環境」(川崎区内に住み続けたい：26.0%、市外に転居したい：71.0%)では、45.0ポイント差となっている。(図1-3-3)

図1-3-1 川崎区について良くないと思うもの

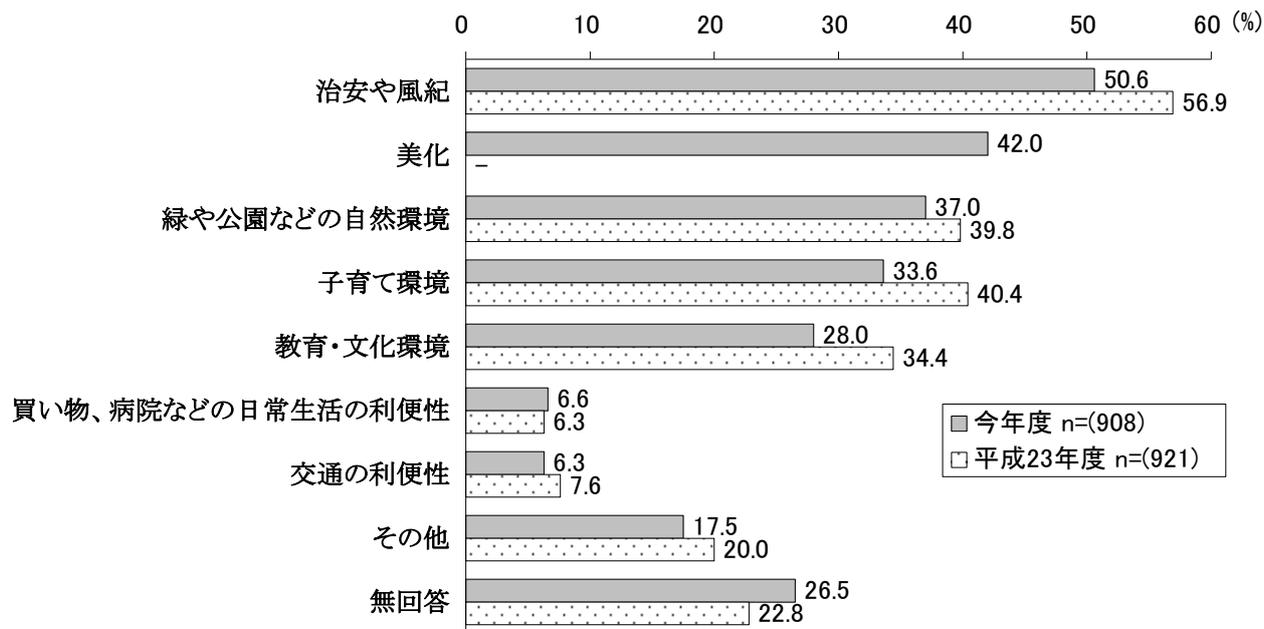


図1-3-2 川崎区について良くないと思うもの <性別・性年代別>

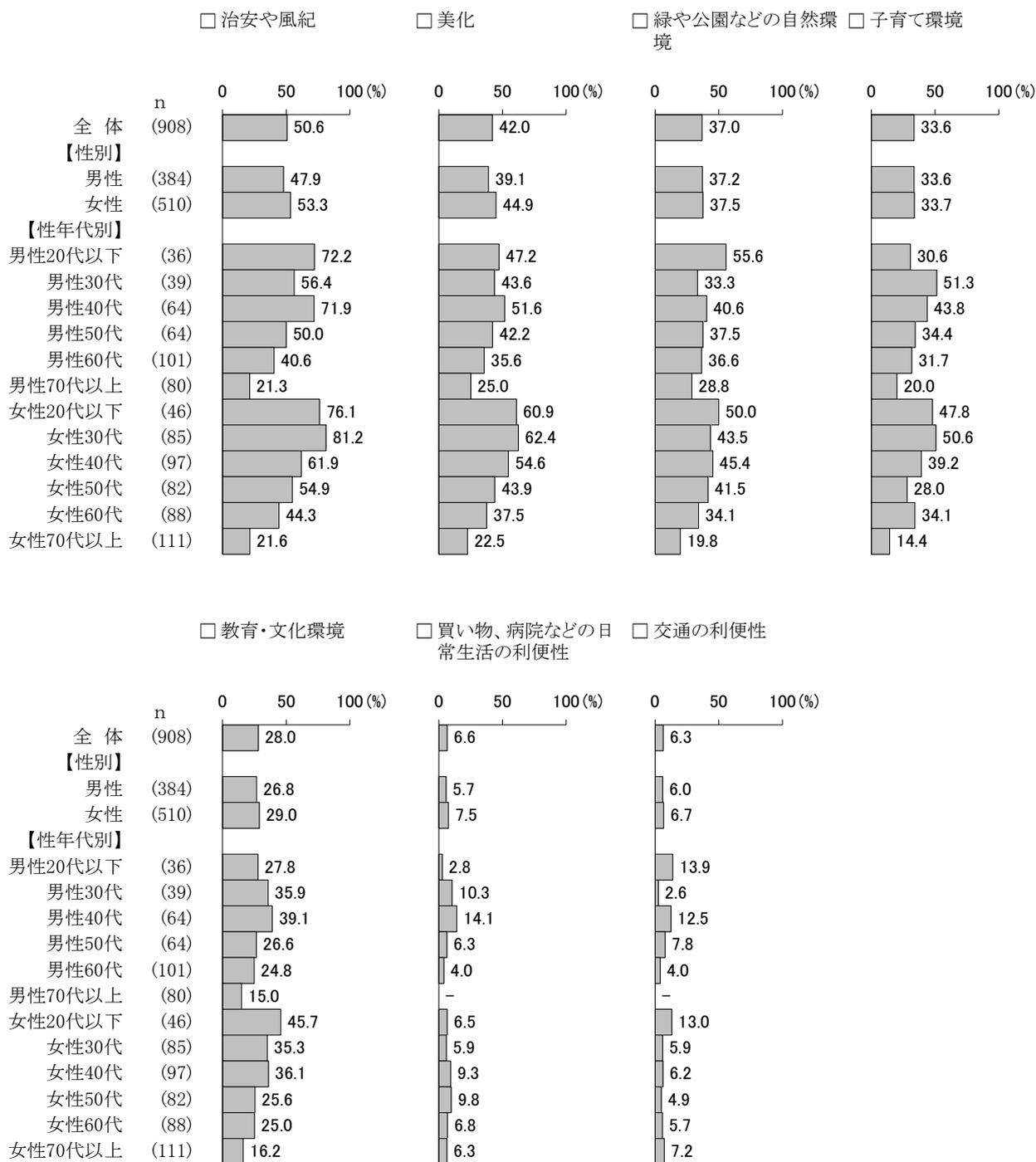
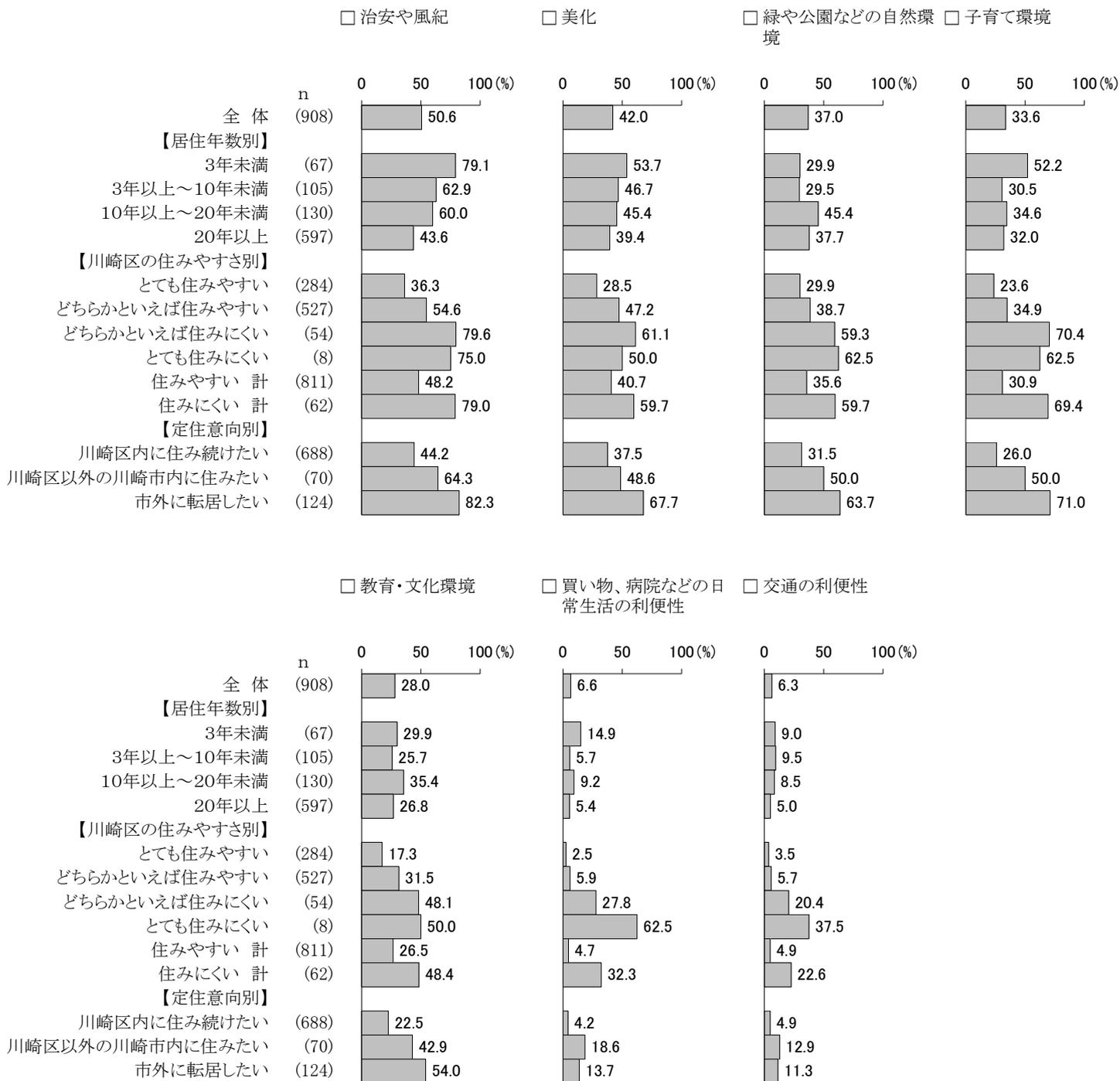


図1-3-3 川崎区について良くないと思うもの

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(4) 今後の定住意向

問4 あなたは川崎区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

全体 「川崎区内に住み続けたい」(75.8%)が最も高く、次いで「市外に転居したい」(13.7%)と続いている。平成21年度からの結果と比較すると「川崎区内に住み続けたい」がわずかに減少傾向にある。(図1-4-1)

性別 「川崎区内に住み続けたい」では、「男性」(79.9%)が「女性」(72.7%)より高くなっている一方、「川崎区外の川崎市に住みたい」(男性:5.2%、女性:9.4%)、「市外に転居したい」(男性:12.0%、女性:15.1%)では「女性」の方が「男性」より高くなっている。(図1-4-2)

性年代別 「川崎区内に住み続けたい」では、年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性70代以上」(88.8%)、「女性70代以上」(82.9%)は8割を超えている。一方、「市外に転居したい」は、「男性」では「男性40代」(21.9%)が最も高くなっており、「女性」では、年代が低いほど割合が高くなる傾向にあり、「女性20代以下」(30.4%)が3割を超えて最も高くなっている。(図1-4-2)

図1-4-1 今後の定住意向

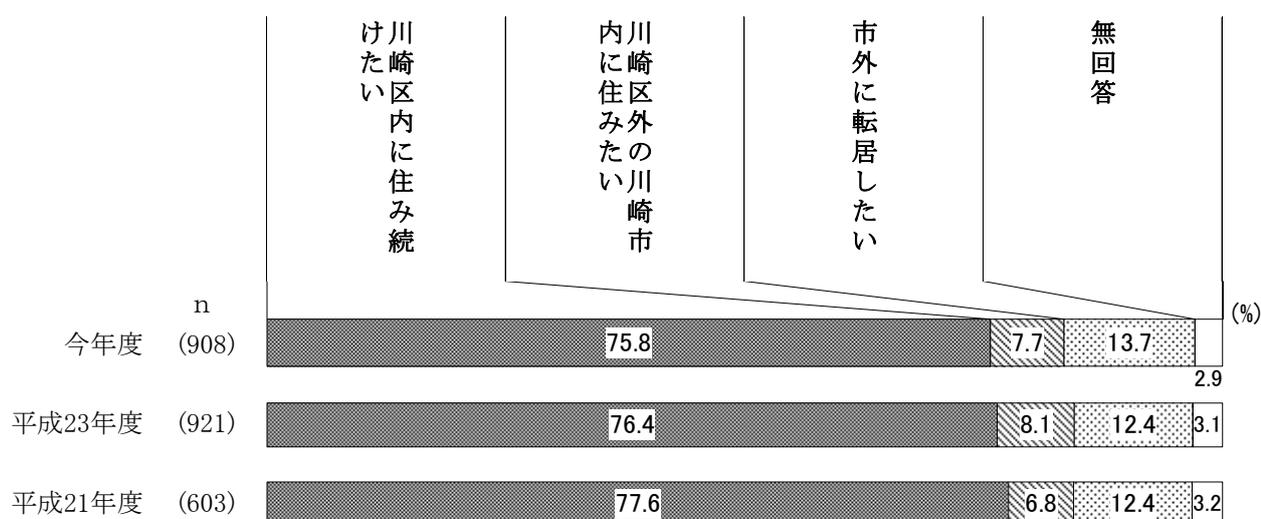
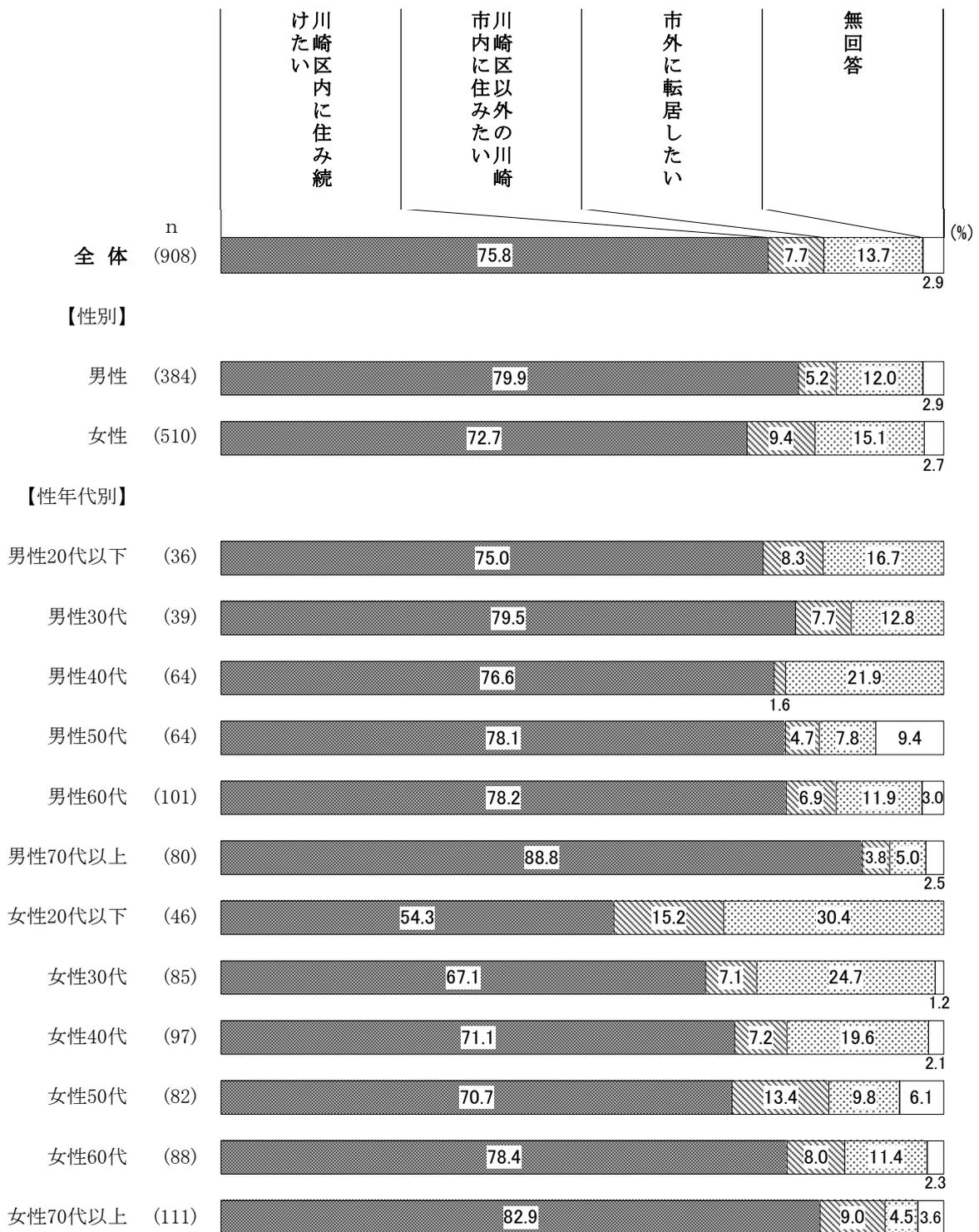


図1-4-2 今後の定住意向 <性別・性年代別>



2. 川崎区役所の広報について

(1) 川崎区からの情報の入手手段

問5 あなたは、川崎区からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「市政だより」(72.4%)が最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板」(45.2%)、「新聞、タウン紙などの報道」(38.3%)と続いている。平成21年度からの結果と比較すると「新聞、タウン紙などの報道」(今年度：38.3%、平成23年度：38.7%、平成21年度：33.2%)は平成23年度とはあまり差はないが、平成21年度より約5ポイント高くなっている。(図2-1-1)
- 性 別** 全体的に「女性」の方が「男性」より高くなっており、特に「町内会・自治会の回覧板」では、「女性」(50.4%)が「男性」(37.2%)より13.2ポイント高くなっている。一方、「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」では、「男性」(14.3%)の方が「女性」(10.2%)より高くなっている。(図2-1-2)
- 性年代別** 全体的に年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に「町内会・自治会の回覧板」では、「女性20代以下」(8.7%)と「女性70代以上」(81.1%)が72.4ポイント差となっている。一方、「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」では、年代が低いほど割合が高くなる傾向にあり、「男性20代以下」(44.4%)、「女性20代以下」(41.3%)が4割を超えている。(図2-1-2)
- 居住年数別** 「町内会・自治会の回覧板」、「新聞、タウン紙などの報道」では居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっており、特に「町内会・自治会の回覧板」では、「3年未満」(13.4%)と「20年以上」(55.1%)は41.7ポイント差となっている。(図2-1-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「区(市)のホームページ」、「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」以外は、「住みやすい計」の方が「住みにくい計」よりも高くなっており、特に「新聞、タウン紙などの報道」(住みやすい計：39.8%、住みにくい計：24.2%)では15.6ポイント差となっている。(図2-1-3)
- 定住意向別** 全体的に「市外に転居したい」の割合が最も低くなっている傾向にあるが、「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」では、「市外に転居したい」(22.6%)が最も高くなっている。(図2-1-3)

図2-1-1 川崎区からの情報の入手手段

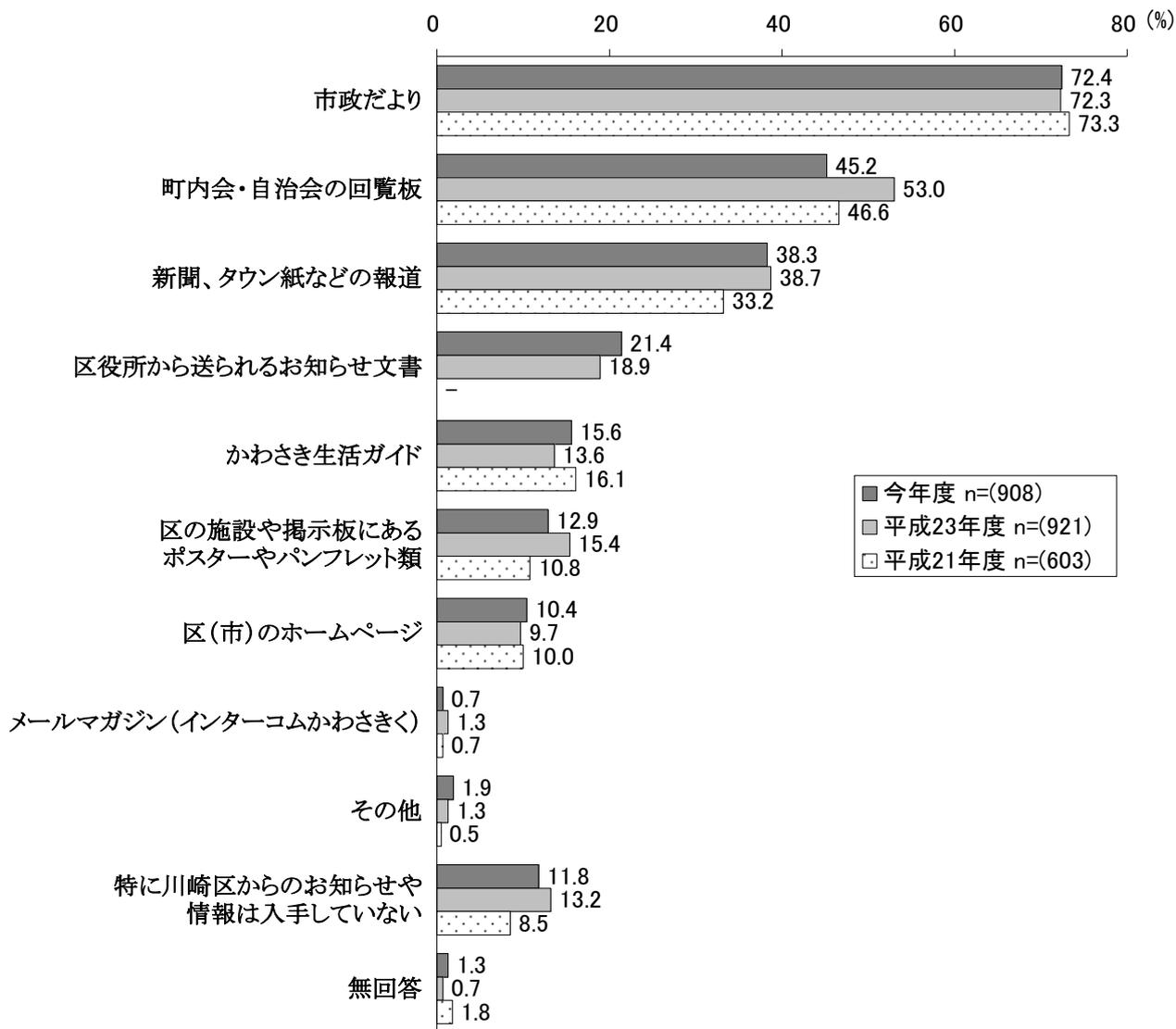


図2-1-2 川崎区からの情報の入手手段 <性別・性年代別>

(上位7項目+「特に川崎区からののお知らせや情報は入手していない」)

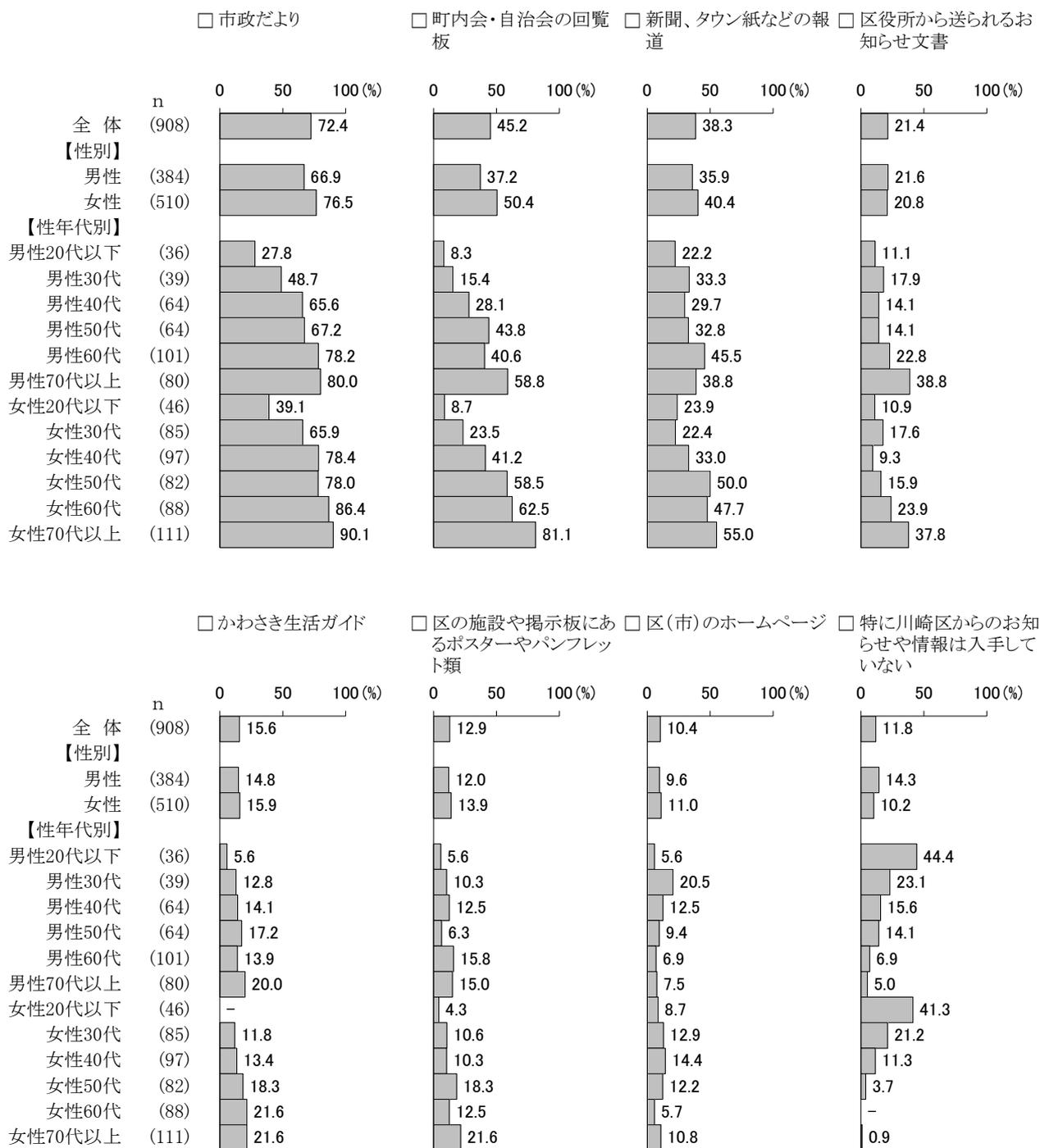
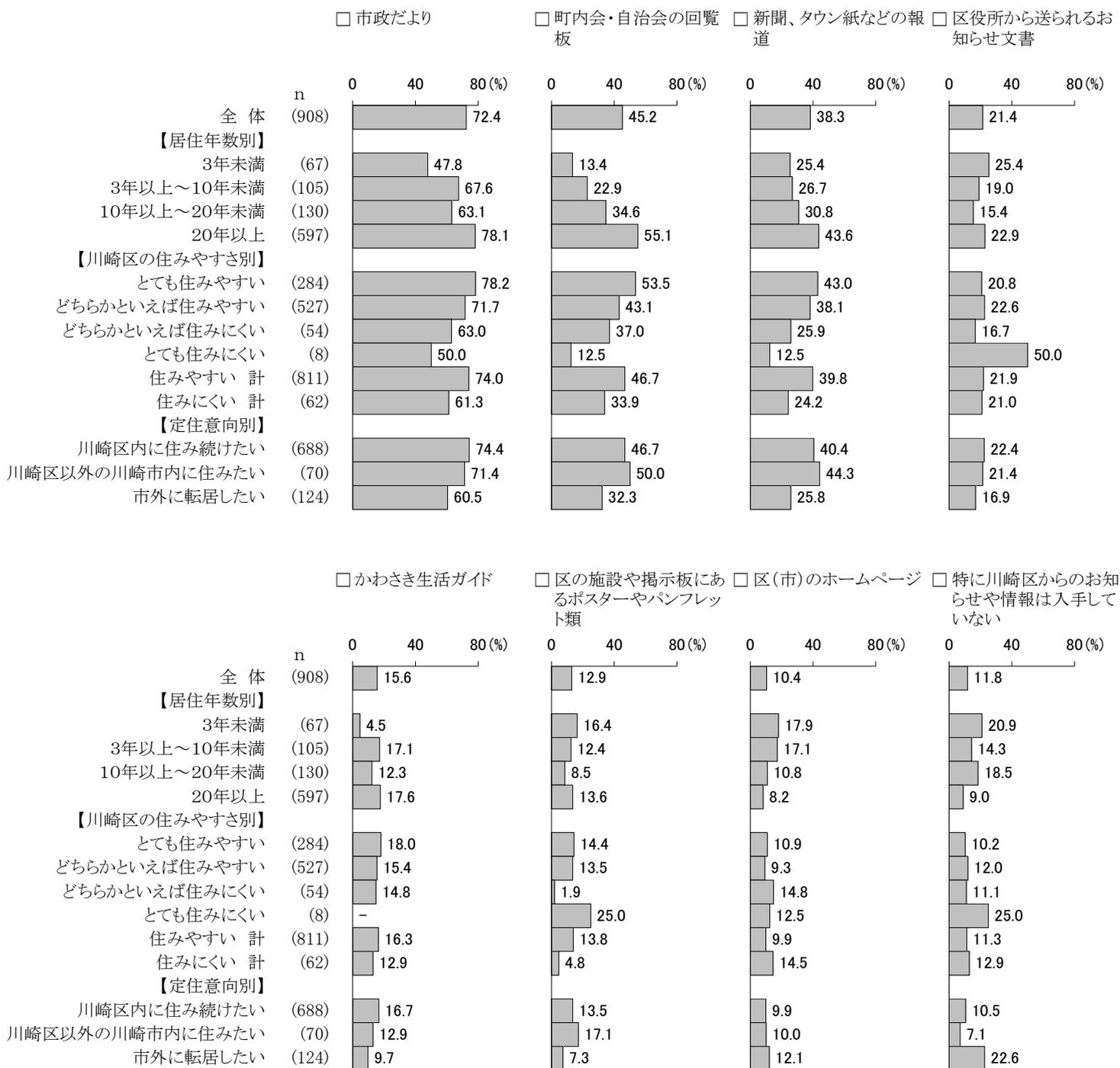


図2-1-3 川崎区からの情報の入手手段

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

(上位7項目+「特に川崎区からののお知らせや情報は入手していない」)



(2) 「市政だより」について充実してほしい情報

問6 平成23年度に実施した川崎区区民アンケートでは、区からのお知らせや情報を「市政だより」から入手している方が、約7割と最も多い結果となりました。

月に1回定期的に発行している「市政だより」の川崎区版について、どのような情報を充実してほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「防災関係情報」(59.5%)が最も高く、次いで「健康・福祉関係情報」(56.9%)、「イベント情報」(39.1%)と続いている。平成23年度と比較するとすべての項目で今年度の方が低くなっており、特に「健康・福祉関係情報」(今年度：56.9%、平成23年度：62.2%)、「子育て情報」(今年度：16.0%、平成23年度：21.7%)では5ポイント以上低くなっている。(図2-2-1)
- 性 別** すべての項目で女性の方が男性より高くなっており、特に「子育て情報」では「女性」(19.4%)が「男性」(11.5%)より7.9ポイント高くなっている。(図2-2-2)
- 性年代別** 「健康・福祉関係情報」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性70代以上」(75.0%)、「女性50代」(75.6%)、「女性70代以上」(77.5%)が7割台半ばとなっている。「イベント情報」、「子育て情報」、「教育・学校関係情報」では、「女性30代」が最も高くなっている。(図2-2-2)
- 居住年数別** 「子育て情報」では、居住年数が短いほど割合が高く、「3年未満」(35.8%)と「20年以上」(11.7%)では、24.1ポイント差となっている。(図2-2-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「イベント情報」(住みやすい計：40.6%、住みにくい計：24.2%)、「歴史・文化・スポーツ関係情報」(住みやすい計：31.2%、住みにくい計：19.4%)では、「住みやすい計」が「住みにくい計」より10ポイント以上高くなっている。(図2-2-3)
- 定住意向別** 「健康・福祉関係情報」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(70.0%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(39.5%)とは30.5ポイント差となっている。(図2-2-3)

図2-2-1 「市政だより」について充実してほしい情報

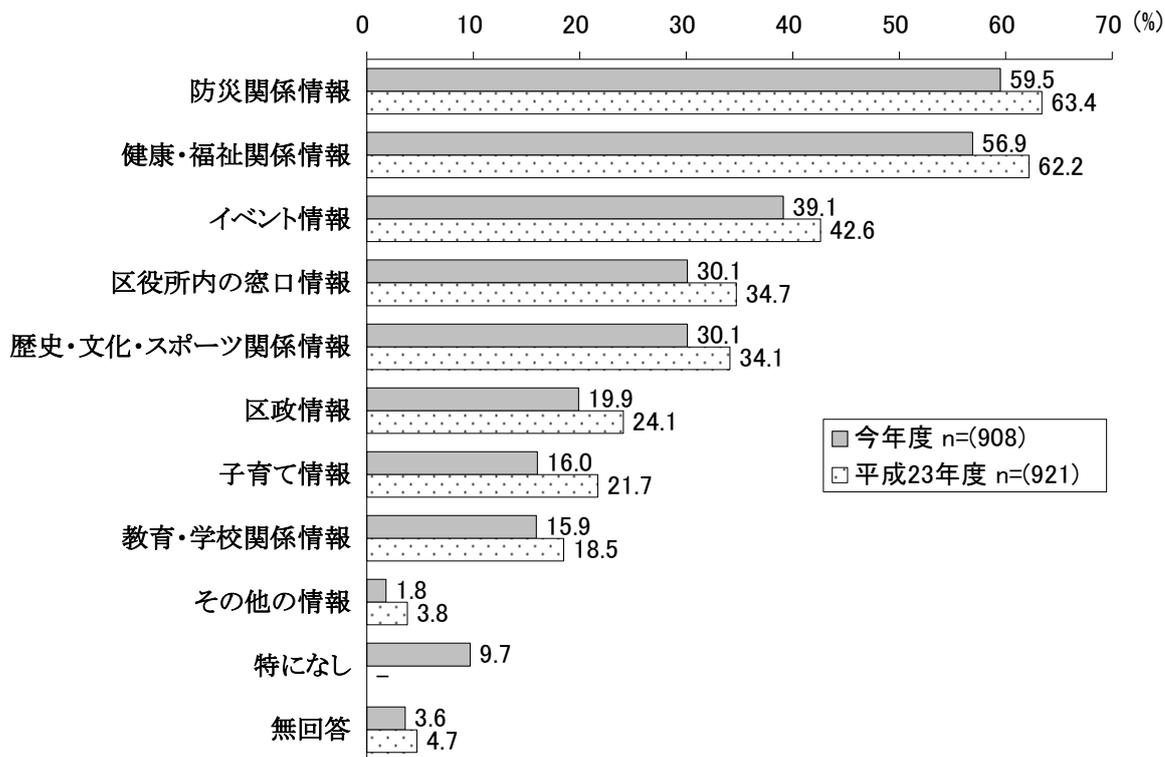


図2-2-2 「市政だより」について充実してほしい情報 <性別・性年代別>

(上位8項目)

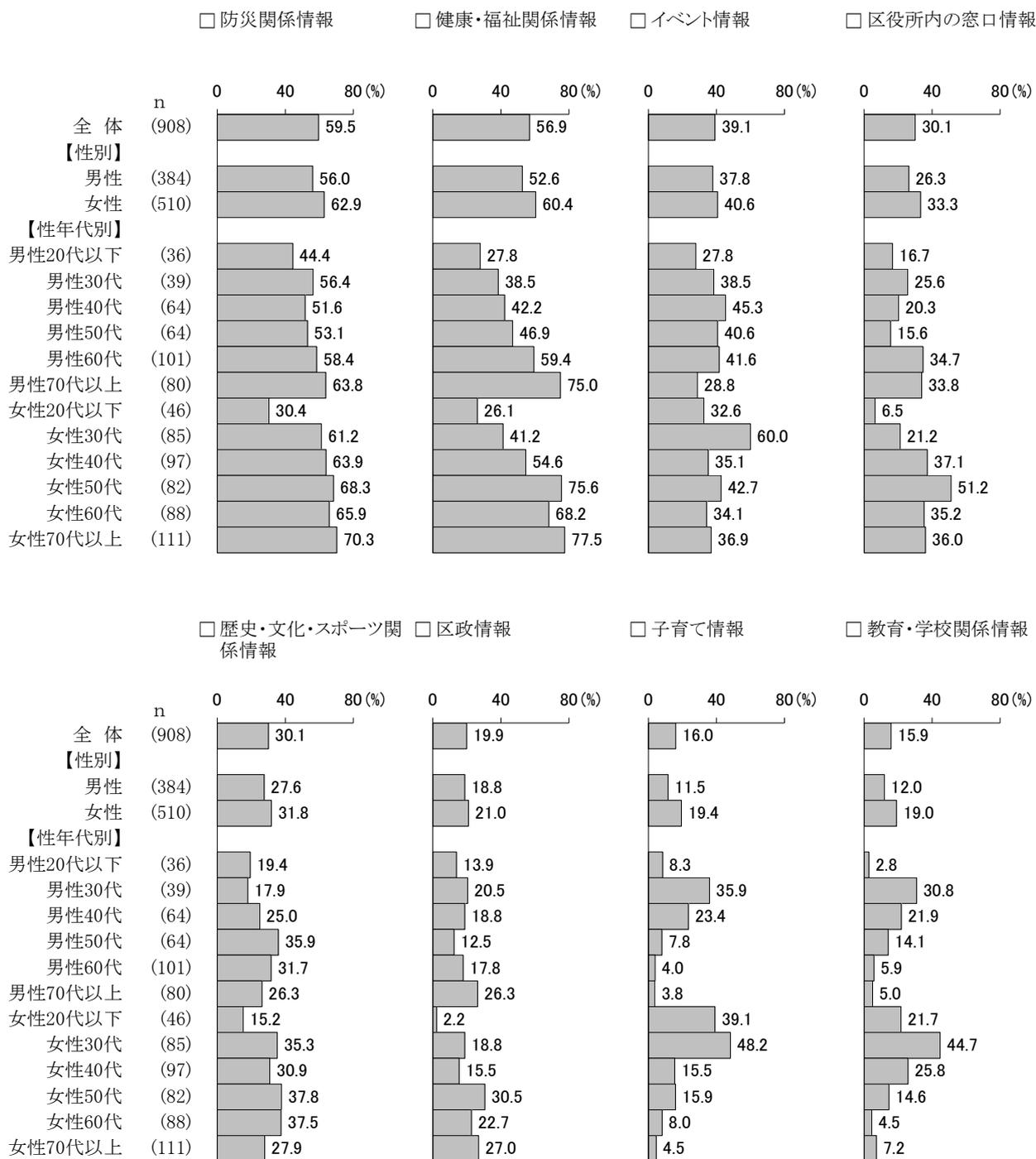
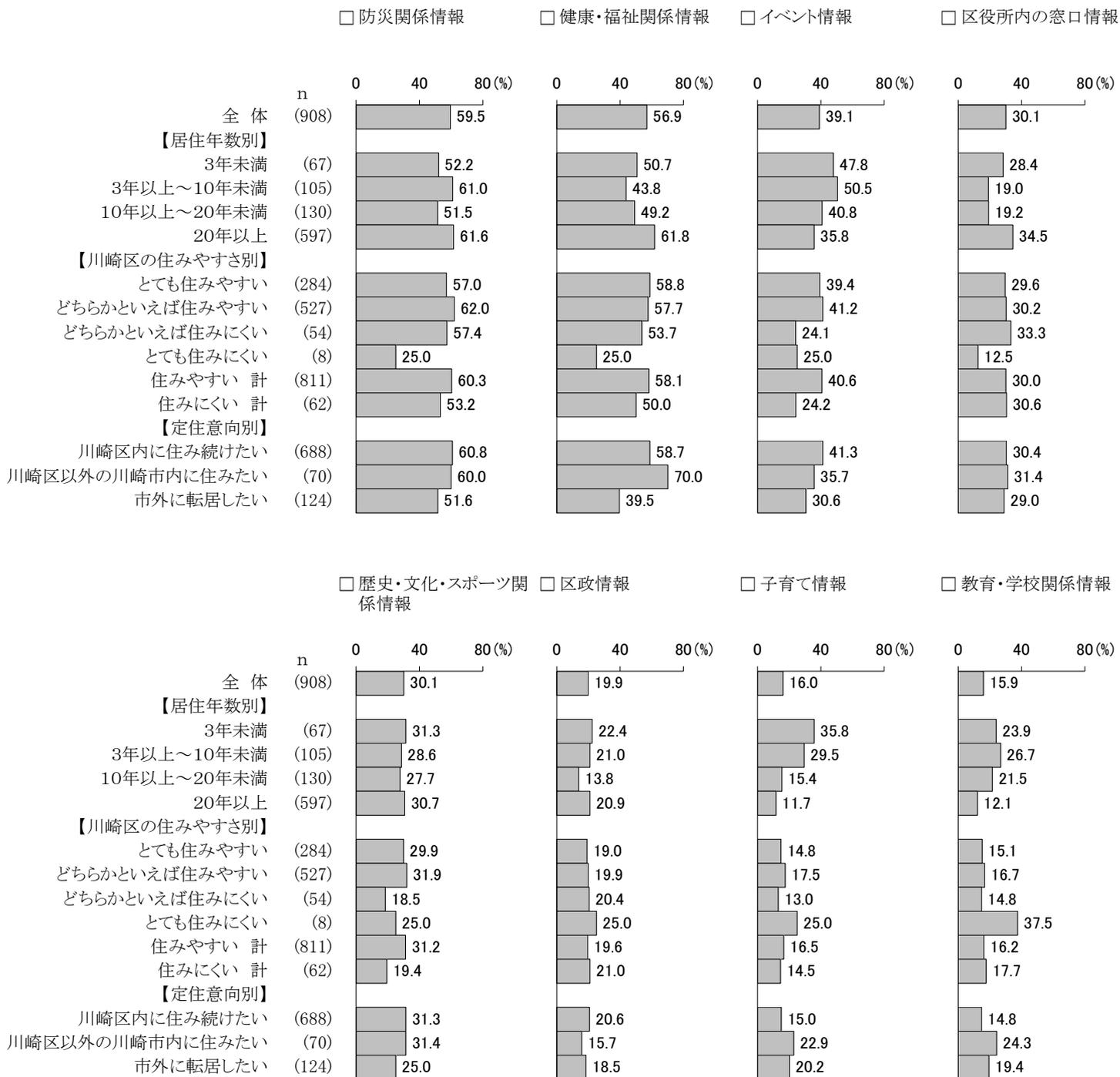


図2-2-3 「市政だより」について充実してほしい情報
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>
 (上位8項目)



(3) 日常生活で情報を得るために利用する媒体

問7 あなたは、日常生活で情報を得るためによく利用する媒体は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全 体 「テレビ」(86.0%)が最も高く、次いで「新聞」(54.8%)、「インターネット(パソコン)」(35.7%)と続いている。(図2-3-1)

性 別 「新聞」では、「男性」(59.9%)が「女性」(51.4%)より8.5ポイント高く、「インターネット(スマートフォン)」では、「女性」(36.9%)が「男性」(26.0%)より10.9ポイント高くなっている。(図2-3-2)

性年代別 「新聞」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性70代以上」(85.0%)、「女性60代」(81.8%)、「女性70代以上」(81.1%)で8割を超えている。一方、「インターネット(スマートフォン)」では、年代が低いほど割合が高くなる傾向にあり、「女性20代以下」(84.8%)では8割台半ばとなっている。(図2-3-2)

居住年数別 「新聞」、「タウン紙」、「ラジオ」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっている。一方、「インターネット(パソコン)」、「インターネット(スマートフォン)」、「インターネット(タブレット端末)」では、居住年数が短いほど割合が高くなっている。(図2-3-3)

川崎区の住みやすさ別 「インターネット(パソコン)」(住みやすい計:36.0%、住みにくい計:37.1%)以外すべて「住みやすい計」の方が「住みにくい計」よりも高くなっている。特に「新聞」(住みやすい計:56.4%、住みにくい計:43.5%)、「タウン紙」(住みやすい計:23.7%、住みにくい計:12.9%)は「住みやすい計」の方が「住みにくい計」より10ポイント以上高くなっている。(図2-3-3)

定住意向別 「インターネット(パソコン)」、「インターネット(スマートフォン)」では、「市外に転居したい」がそれぞれ50.8%と最も高くなっている。(図2-3-3)

図2-3-1 日常生活で情報を得るために利用する媒体

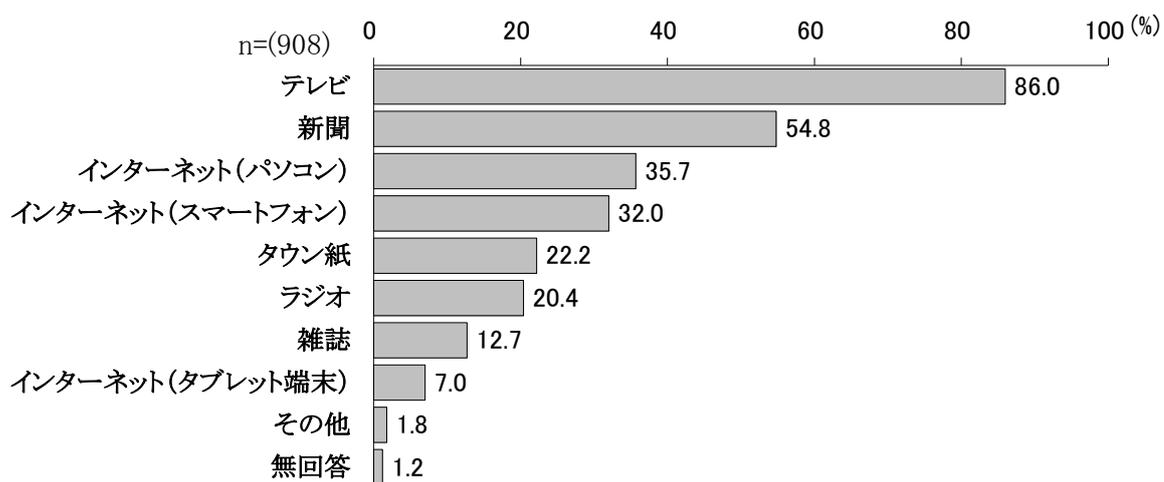


図2-3-2 日常生活で情報を得るために利用する媒体 <性別・性年代別>

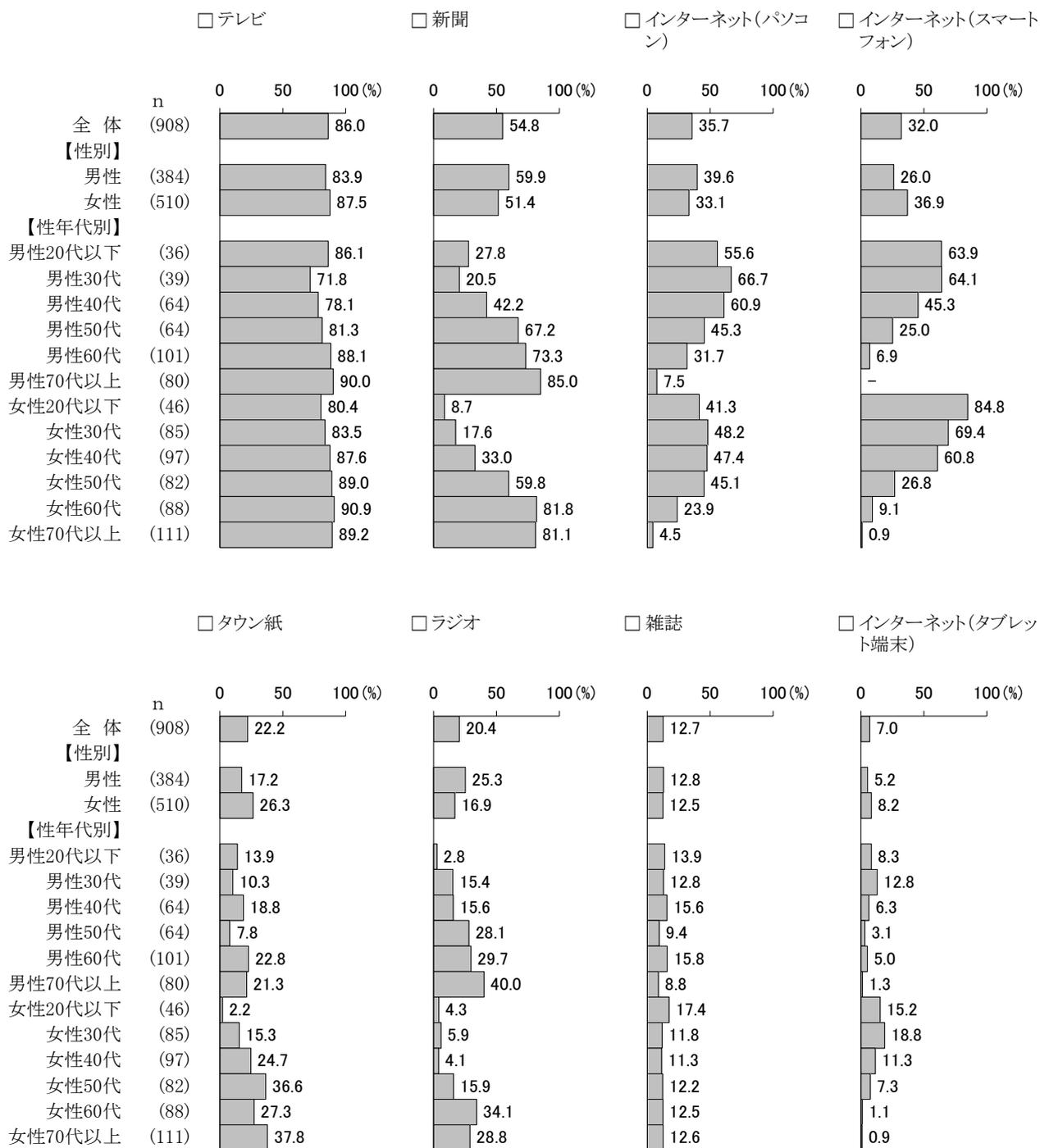
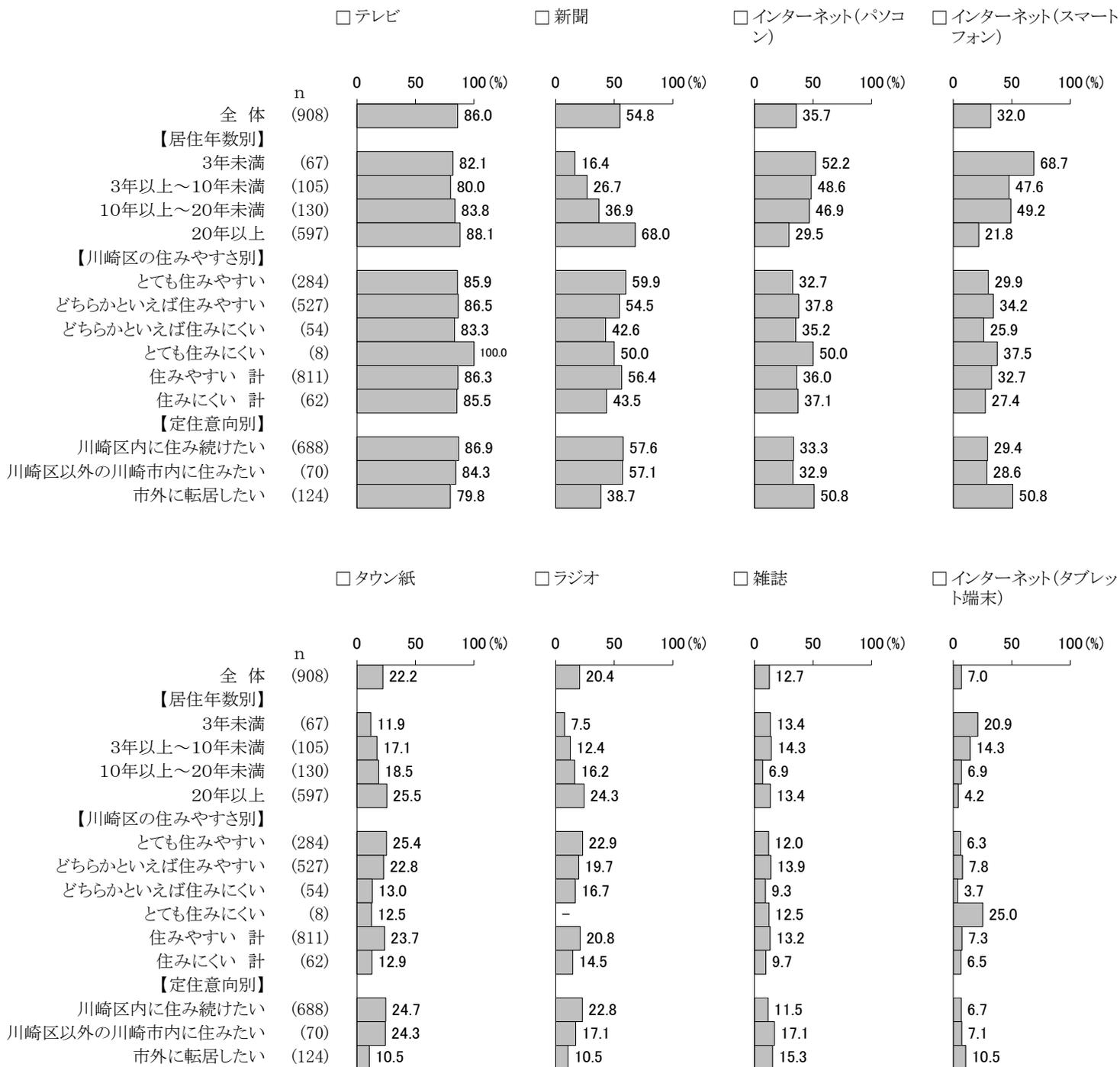


図2-3-3 日常生活で情報を得るために利用する媒体

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



3. 川崎区役所が行っている事業の要望について

(1) 今後、特に力を入れてほしい事業

問8 川崎区役所が行っている事業で、今後、特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「防災に関する事業」(57.4%)が最も高く、次いで「防犯・防火に関する事業」(53.9%)、「高齢者や障害者福祉に関する事業」(51.3%)と続いている。(図3-1-1)
- 性 別** 全体的に「女性」の方が「男性」より割合が高くなっており、特に「防災に関する事業」では、「女性」(61.6%)が「男性」(52.6%)より9.0ポイント高くなっている。(図3-1-2)
- 性年代別** 「高齢者や障害者福祉に関する事業」、「健康増進に関する事業」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。また、「子育てに関する事業」では、「女性20代以下」(54.3%)、「女性30代」(57.6%)が5割を超えている。(図3-1-2)
- 居住年数別** 「高齢者や障害者福祉に関する事業」、「健康増進に関する事業」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。一方、「環境美化、地域緑化に関する事業」、「子育てに関する事業」では、居住年数が短いほど高くなる傾向にある。(図3-1-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「子育てに関する事業」では、「住みにくい計」(30.6%)が「住みやすい計」(25.9%)より4.7ポイント高くなっている。一方、それ以外の項目では「住みやすい計」が「住みにくい計」よりも高くなっており、特に「防災に関する事業」では、「住みやすい計」(58.4%)が「住みにくい計」(45.2%)より13.2ポイント高くなっている。(図3-1-3)
- 定住意向別** 「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(55.7%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(29.0%)より26.7ポイント高くなっている。(図3-1-3)

図3-1-1 今後、特に力を入れてほしい事業

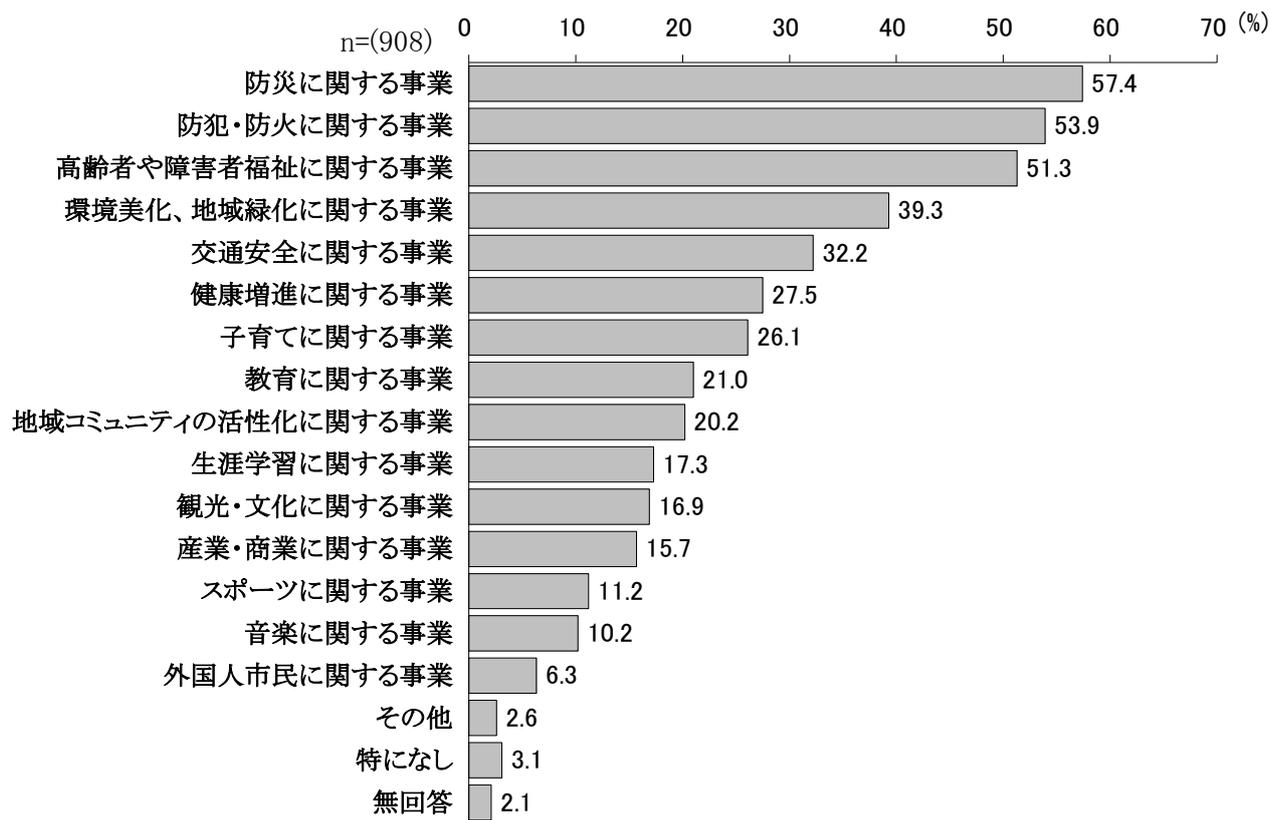


図3-1-2 今後、特に力を入れてほしい事業 <性別・性年代別>

(上位8項目)

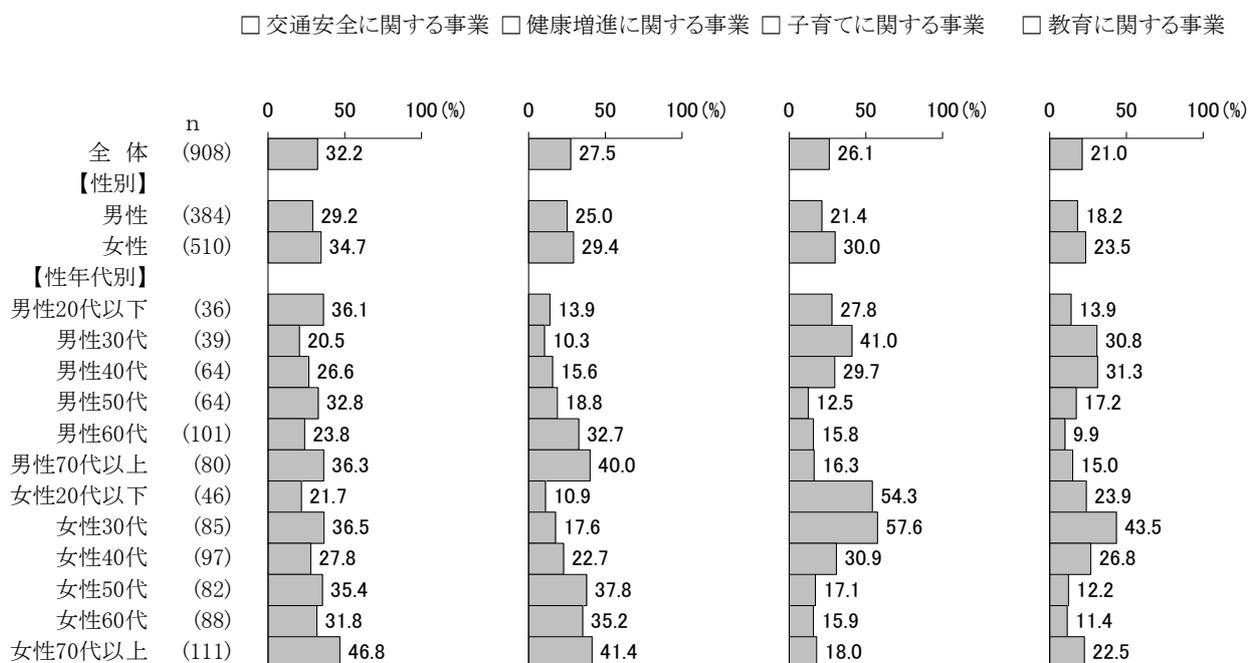
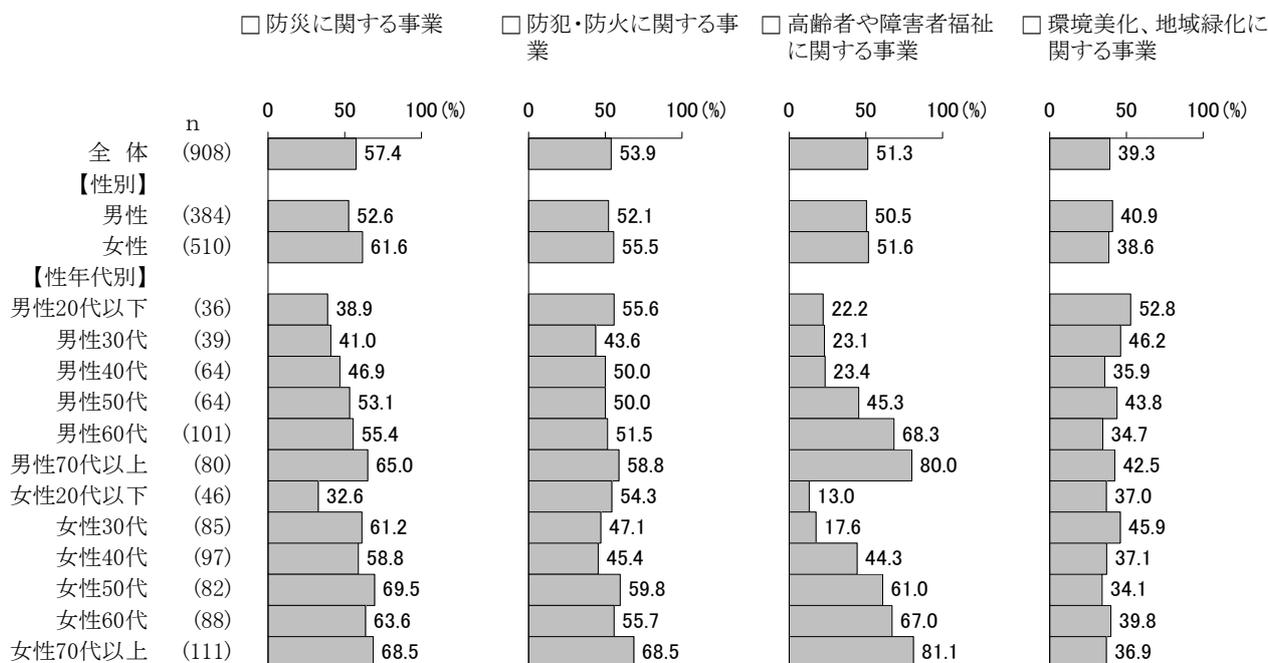
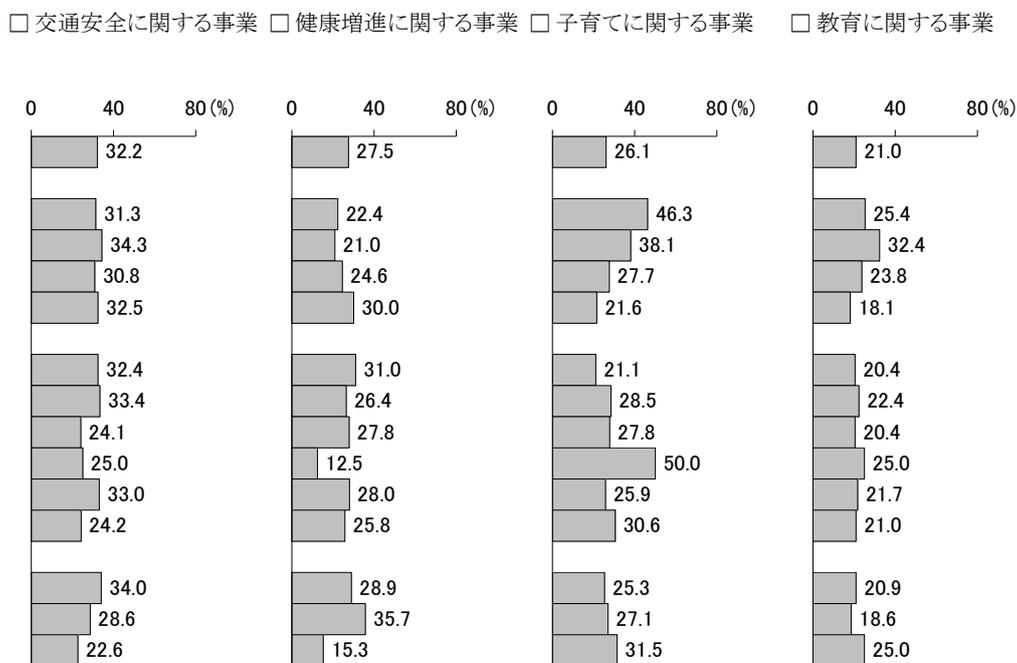
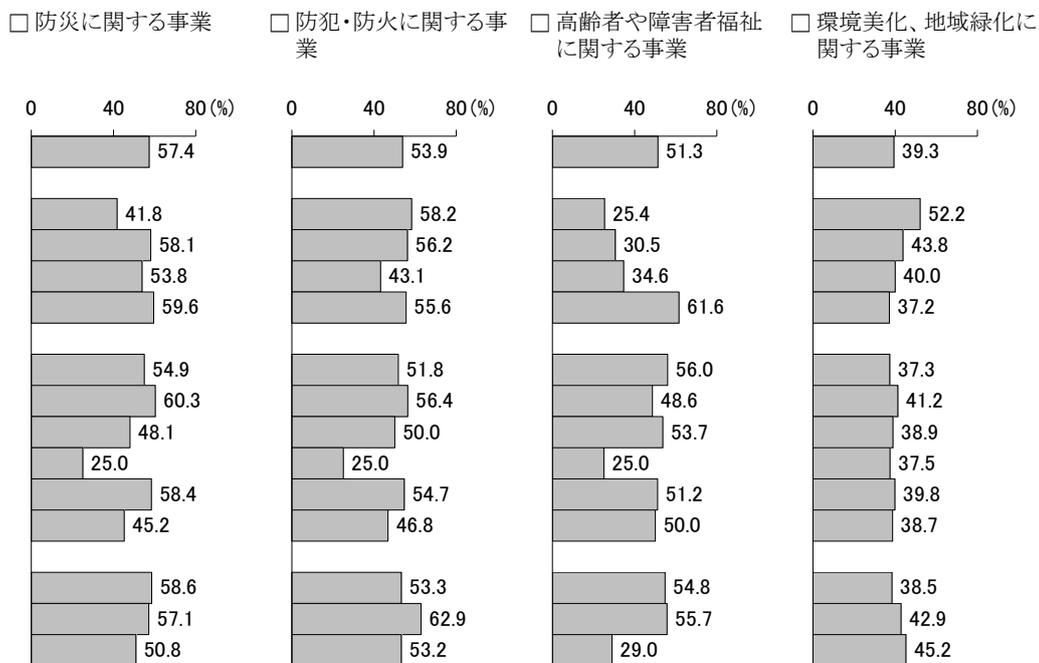


図3-1-3 今後、特に力を入れてほしい事業

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位8項目)



4. 今後の防災、災害対策について

(1) 災害時の避難場所の認知度

問9 あなたは、災害時の避難場所（避難施設）の場所を知っていますか。（○は1つ）

- 全 体** 「知っている」(54.5%) が最も高く、次いで「なんとなく知っている」(34.6%) と続いている。(図4-1-1)
- 性 別** 「知っている」では、「男性」(56.3%) が「女性」(53.1%) より高くなっているが、「知らない」でも「男性」(11.5%) が「女性」(8.0%) より高くなっている。(図4-1-2)
- 性年代別** 「知っている」では、「男性50代」(60.9%)、「男性60代」(60.4%)、「女性60代」(64.8%)、「女性70代以上」(66.7%) が6割を超えている。一方「知らない」では、「女性20代以下」(17.4%) が最も高くなっている。(図4-1-2)
- 居住年数別** 「知っている」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。一方、「知らない」では、「3年未満」(31.3%) が3割を超えて最も高くなっている。(図4-1-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「知っている」では、「住みにくい計」(56.5%) が「住みやすい計」(54.9%) より高くなっているが、「知らない」でも「住みにくい計」(12.9%) が「住みやすい計」(8.9%) より高くなっている。(図4-1-3)
- 定住意向別** 「知っている」では、「川崎区内に住み続けたい」(55.4%) が最も高くなっている。一方、「知らない」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(11.4%) が最も高くなっている。(図4-1-3)

図4-1-1 災害時の避難場所の認知度

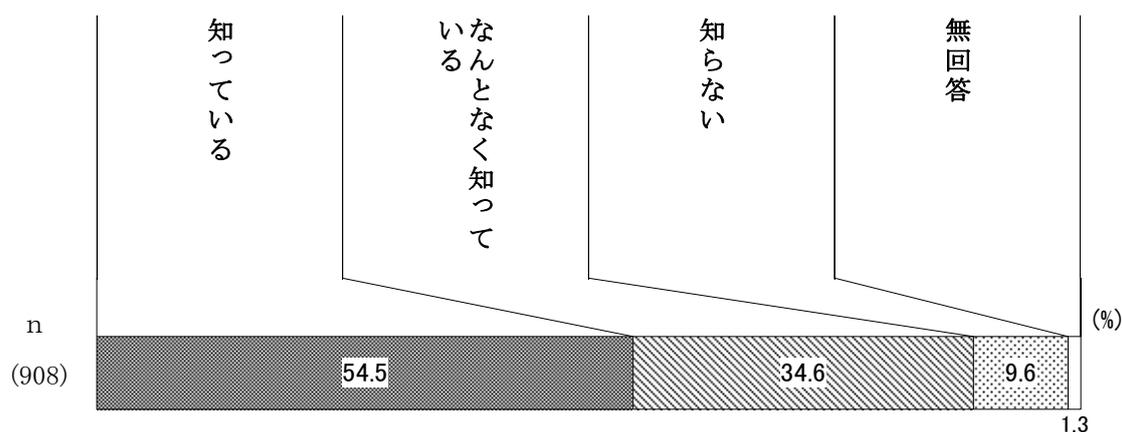


図4-1-2 災害時の避難場所の認知度 <性別・性年代別>

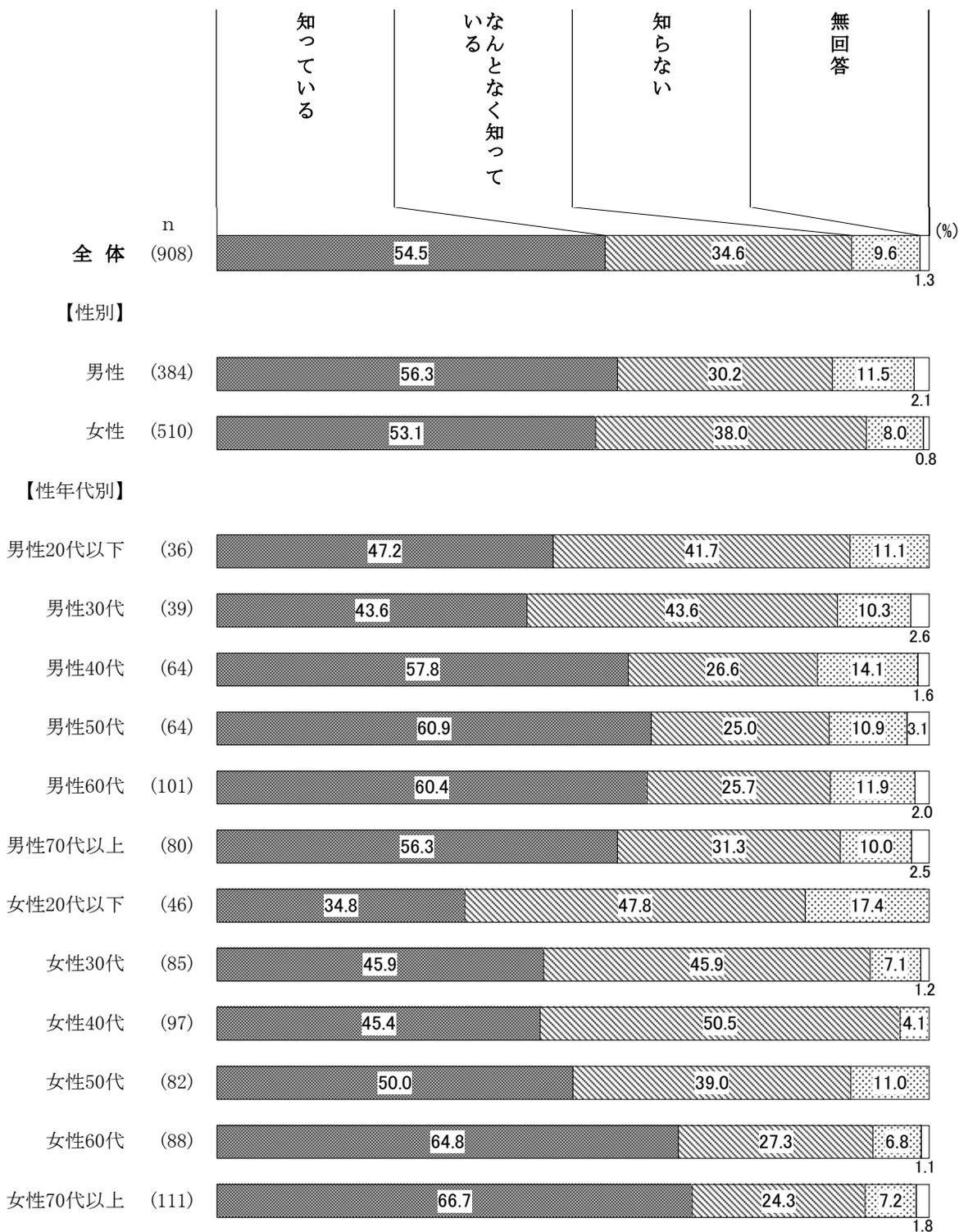
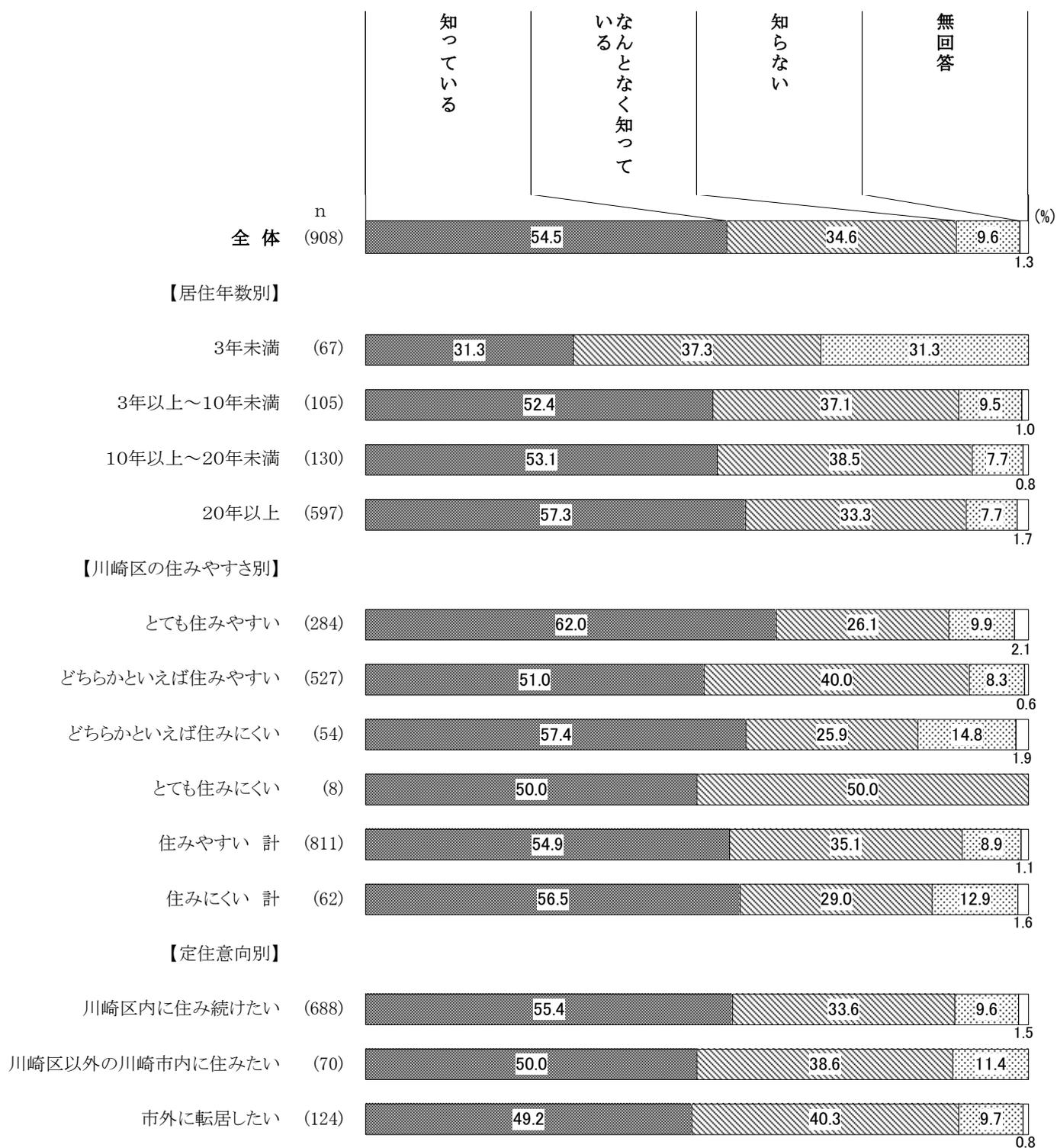


図4-1-3 災害時の避難場所の認知度

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(2) 災害対策に関して知りたい情報

問10 あなたが知りたい災害対策に関する情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 全体** 「災害情報の入手方法」(57.9%)が最も高く、次いで「津波の危険度(浸水予測)を示した地図」(56.3%)、「災害時の避難所」(51.1%)と続いている。(図4-2-1)
- 性別** すべての項目で「女性」が「男性」より高くなっており、特に「学校などの公共施設の耐震性」では、「女性」(41.4%)が「男性」(28.1%)より13.3ポイント高くなっている。(図4-2-2)
- 性年代別** 「災害情報の入手方法」では、「女性40代」(73.2%)が最も高く、最も低い「女性20代以下」(37.0%)より36.2ポイント高くなっている。(図4-2-2)
- 居住年数別** 「災害時の避難所」では、「3年未満」(62.7%)が最も高く、最も低い「10年以上～20年未満」(40.0%)より22.7ポイント高くなっている。(図4-2-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「災害時の避難所」では、「住みやすい計」(52.8%)が「住みにくい計」(38.7%)より14.1ポイント高くなっている。(図4-2-3)
- 定住意向別** 「災害時の避難所」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(52.9%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(41.1%)より11.8ポイント高くなっている。(図4-2-3)

図4-2-1 災害対策に関して知りたい情報

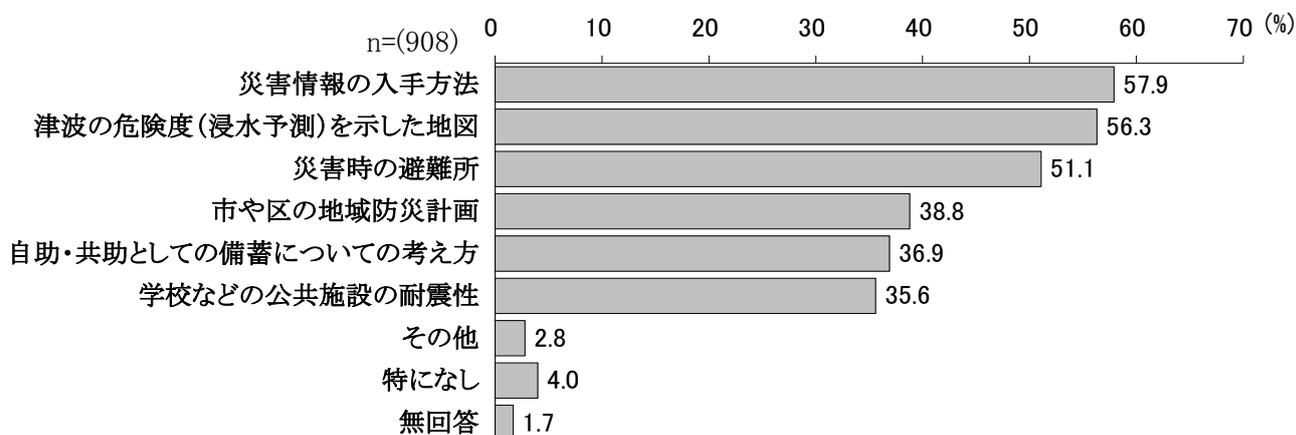


図4-2-2 災害対策に関して知りたい情報 <性別・性年代別>

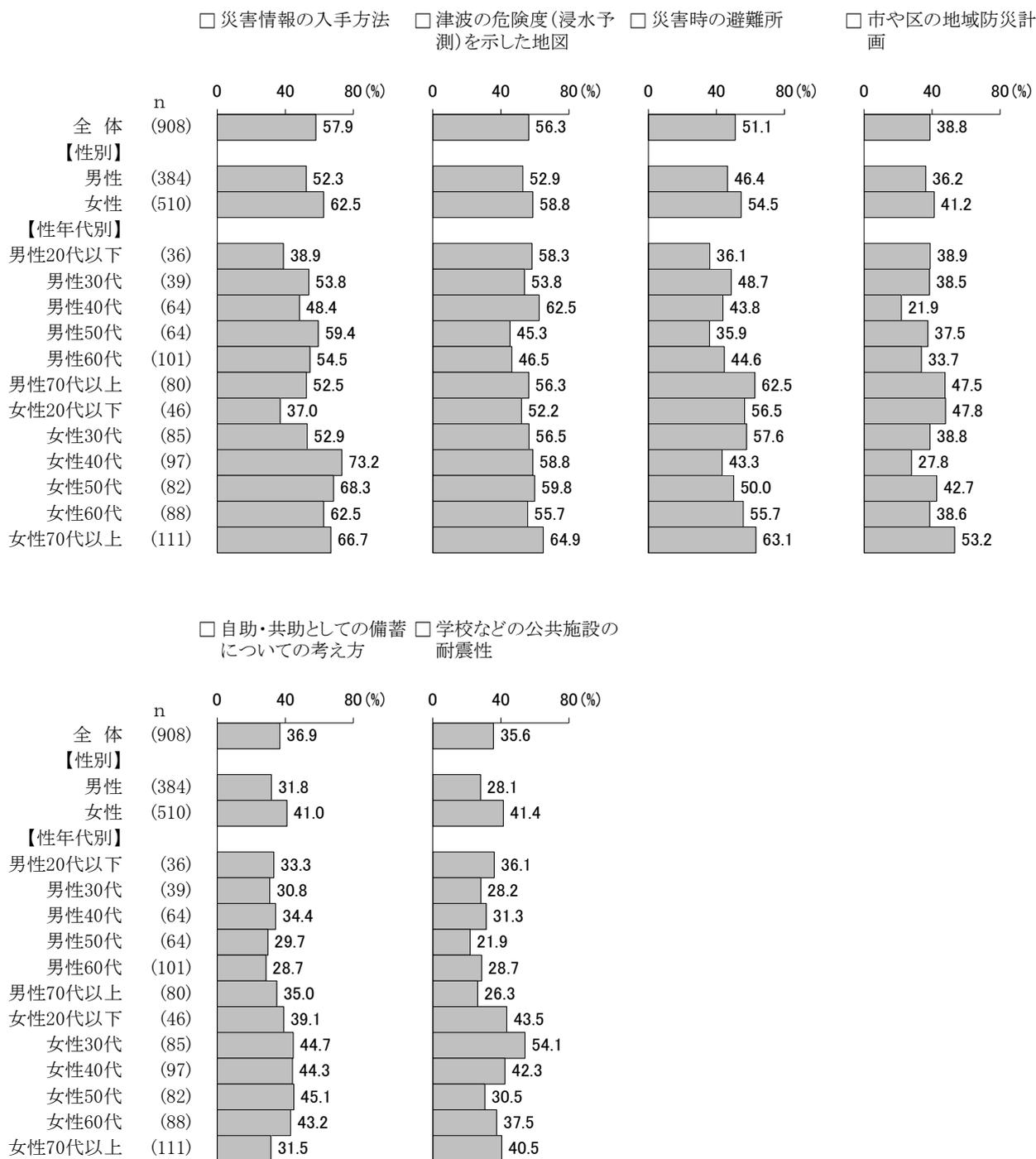
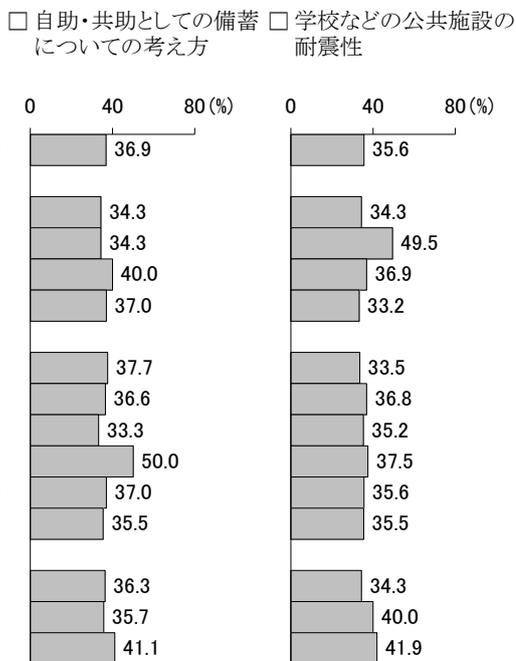
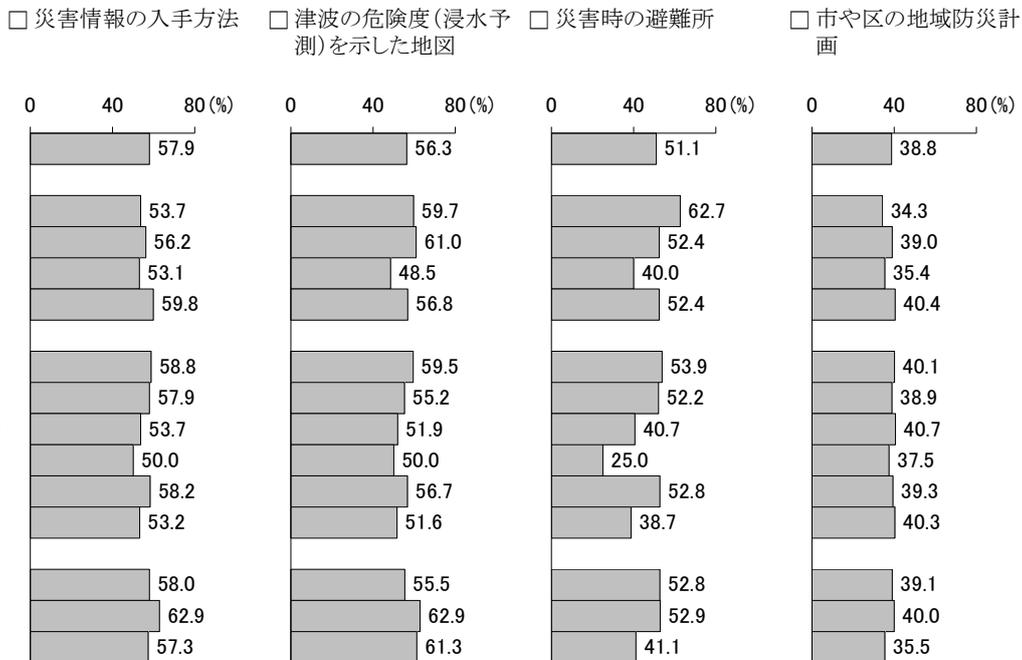


図4-2-3 災害対策に関して知りたい情報

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(3) 自分や家族を災害から守るために心がけていること

問11 自分や家族を災害から守るために何か心がけていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「自宅に備蓄品・非常持出品を備えている」(54.8%)が最も高く、次いで「家族の安否確認方法(連絡方法)や集合場所を話し合っている」(35.1%)、「自宅の耐震補強や家具の転倒防止対策などを行っている」(30.8%)と続いている。(図4-3-1)
- 性 別** 全体的に「女性」の方が「男性」より割合が高くなっている。一方、「特になし」では、「男性」(22.9%)が「女性」(15.1%)より7.8ポイント高くなっている。(図4-3-2)
- 性年代別** 「自宅に備蓄品・非常持出品を備えている」では、「男性40代」(64.1%)、「女性30代」(62.4%)、「女性70代以上」(61.3%)が6割を超えている。(図4-3-2)
- 居住年数別** 「自宅に備蓄品・非常持出品を備えている」では、「10年以上～20年未満」(63.1%)が最も高く、最も低い「3年未満」(47.8%)より15.3ポイント高くなっている。(図4-3-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「自宅に備蓄品・非常持出品を備えている」では、「住みにくい計」(66.1%)が「住みやすい計」(55.4%)より10.7ポイント高くなっている。(図4-3-3)
- 定住意向別** 「家族の安否確認方法(連絡方法)や集合場所を話し合っている」では、「市外に転居したい」(41.9%)が最も高く、最も低い「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(27.1%)より14.8ポイント高くなっている。(図4-3-3)

図4-3-1 自分や家族を災害から守るために心がけていること

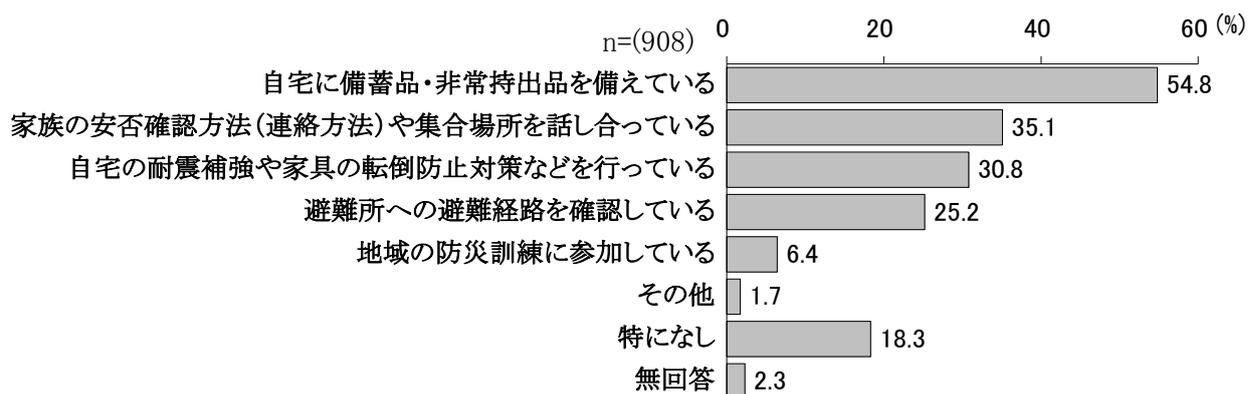


図4-3-2 自分や家族を災害から守るために心がけていること <性別・性年代別>

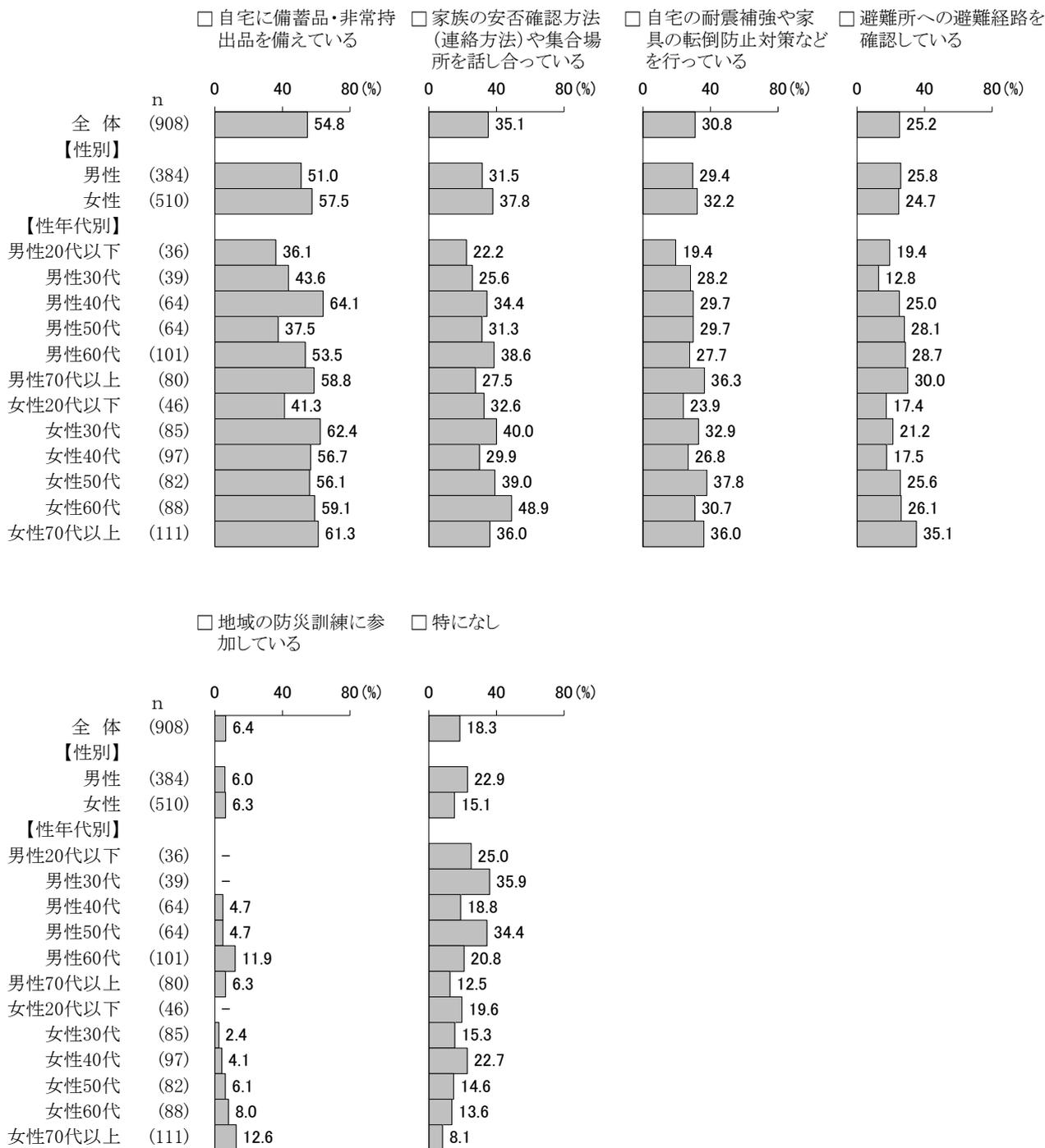
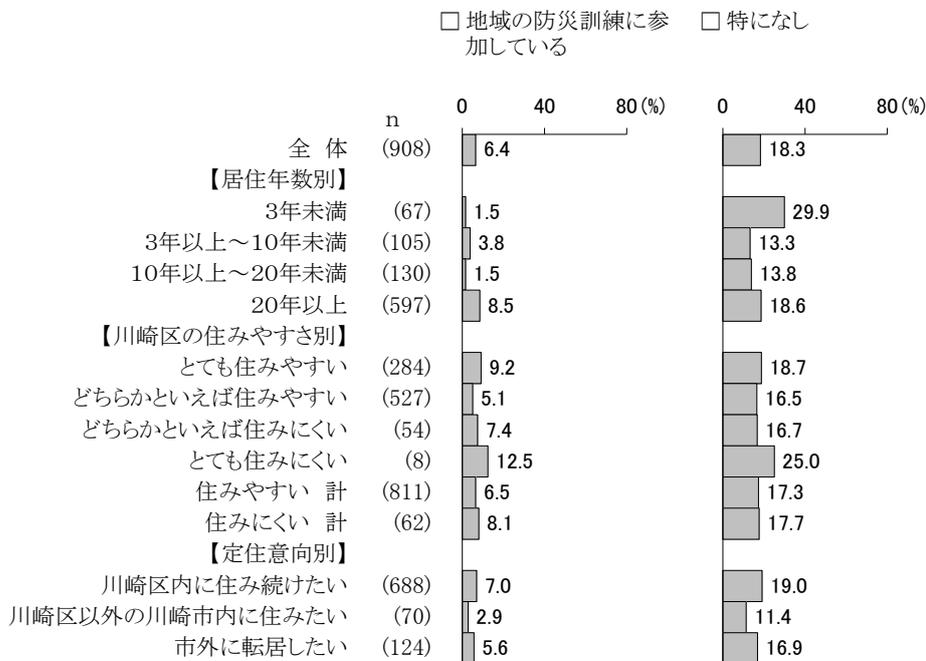
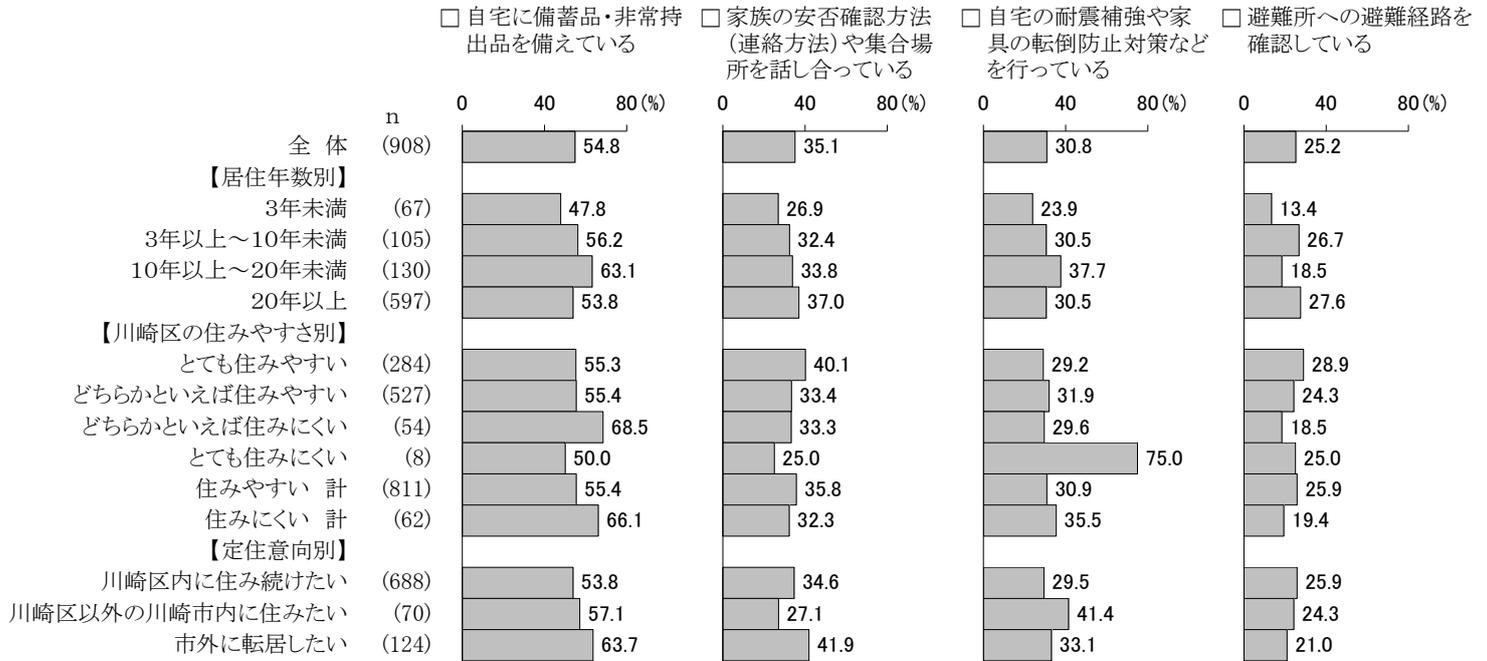


図4-3-3 自分や家族を災害から守るために心がけていること

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



5. 新たな総合計画の策定について

(1) 「10年後の川崎区」について、めざすべき方向

問12 川崎市では平成26年度から2年程度かけて、川崎市がめざす方向について、総合的なビジョンと目標を示す「新たな総合計画」を策定する予定です。

あなたは「10年後の川崎区」について、どのような「まち」をめざすべきだと思いますか。優先度が高いと思う項目を選んでください。(○は5つまで)

全体 「防犯、交通安全など安全・安心な暮らしのできるまち」(67.2%)が最も高く、次いで「地震や大雨などの災害に強いまち」(62.6%)、「社会的に支援が必要な方(高齢者や障害者など)を支えあうまち」(47.4%)と続いている。(図5-1-1)

性別 「商店街の活性化など賑わいのあるまち」、「親しみやすい公園や広場に恵まれているまち」では、「男性」の方が「女性」より割合が高くなっているが、それ以外の項目では「女性」が「男性」より高くなっている。(図5-1-2)

性年代別 「社会的に支援が必要な方(高齢者や障害者など)を支えあうまち」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性60代」(60.4%)、「男性70代以上」(63.8%)、「女性70代以上」(65.8%)は6割を超えている。「子どもを育てやすいまち」では、「女性30代」(64.7%)が6割を超え、「女性20代以下」(71.7%)は7割を超えている。(図5-1-2)

居住年数別 「社会的に支援が必要な方(高齢者や障害者など)を支えあうまち」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「20年以上」(54.6%)が「3年未満」(23.9%)より30.7ポイント高くなっている。(図5-1-3)

川崎区の住みやすさ別 「商店街の活性化など賑わいのあるまち」では、「住みやすい計」(32.1%)が「住みにくい計」(24.2%)より7.9ポイント高くなっている。「子どもを育てやすいまち」では、「住みにくい計」(45.2%)が「住みやすい計」(38.2%)より7.0ポイント高くなっている。(図5-1-3)

定住意向別 「社会的に支援が必要な方(高齢者や障害者など)を支えあうまち」では、「川崎区内に住み続けたい」(51.0%)が最も高くなっており、「子どもを育てやすいまち」では、「市外に転居したい」(50.8%)が最も高くなっている。(図5-1-3)

図5-1-1 「10年後の川崎区」について、めざすべき方向

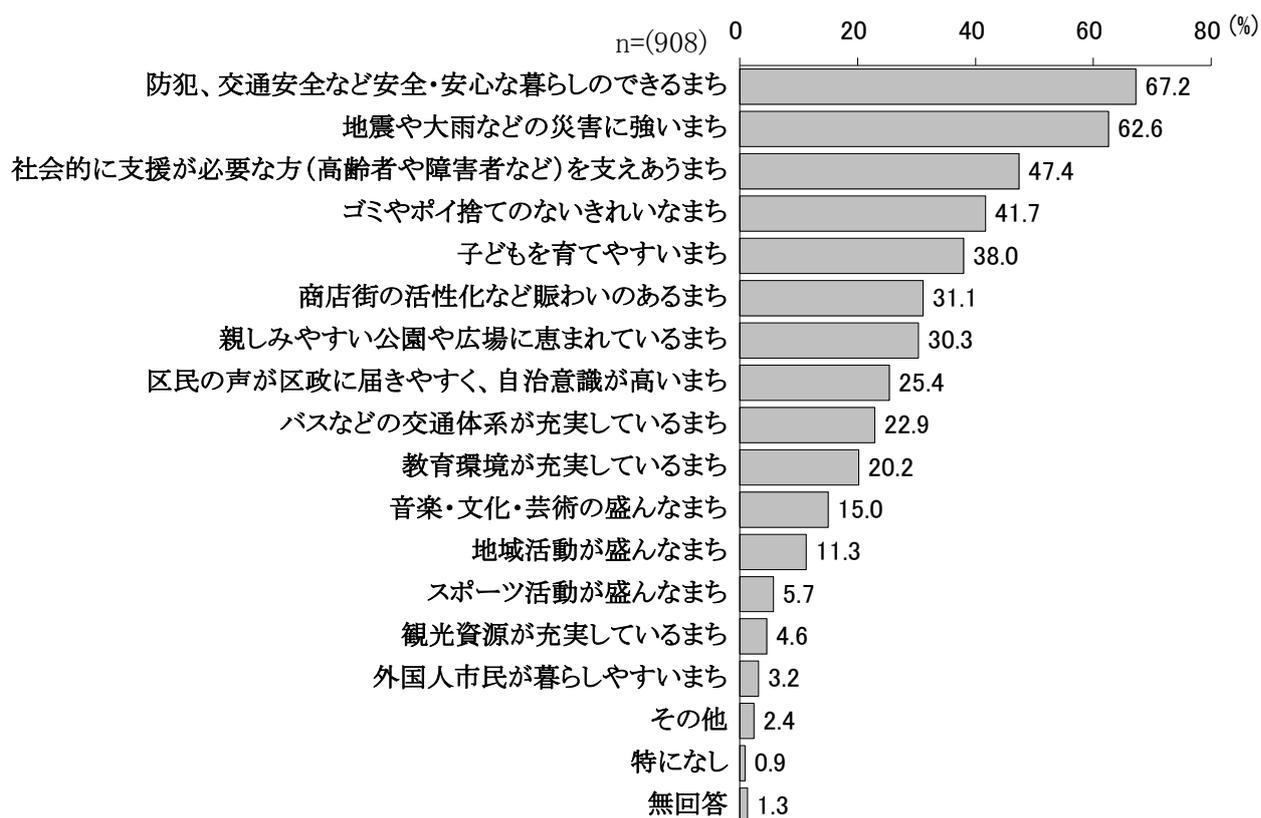


図5-1-2 「10年後の川崎区」について、めざすべき方向 <性別・性年代別>

(上位8項目)

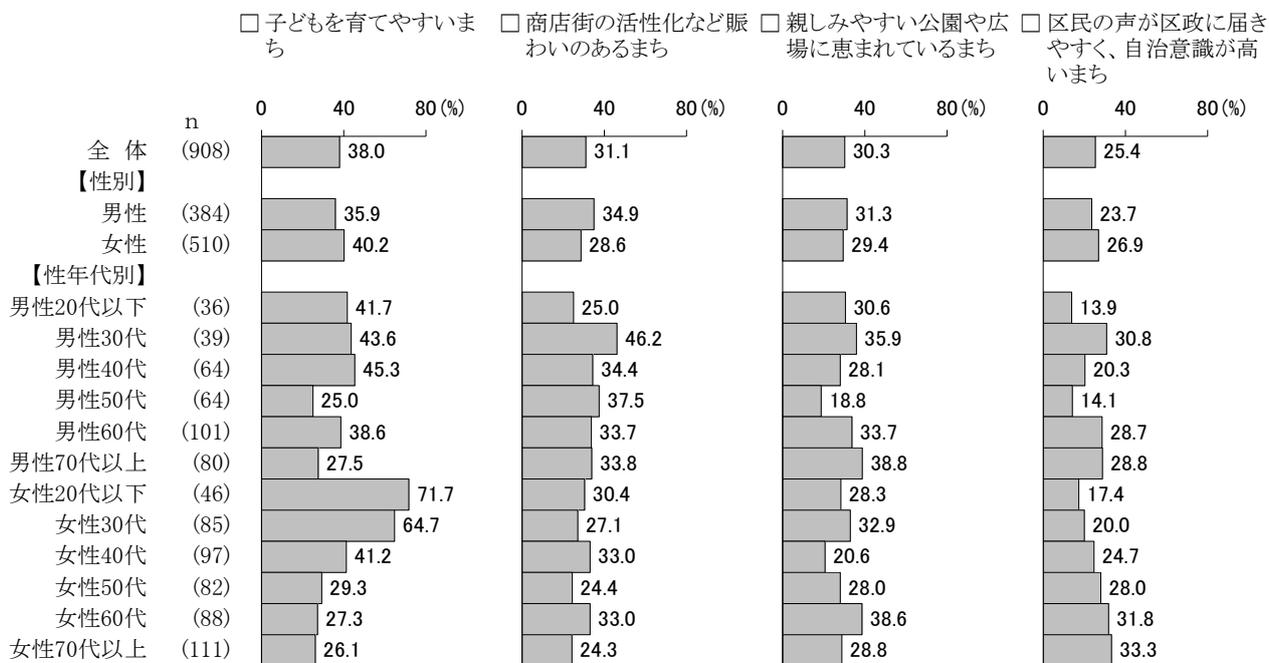
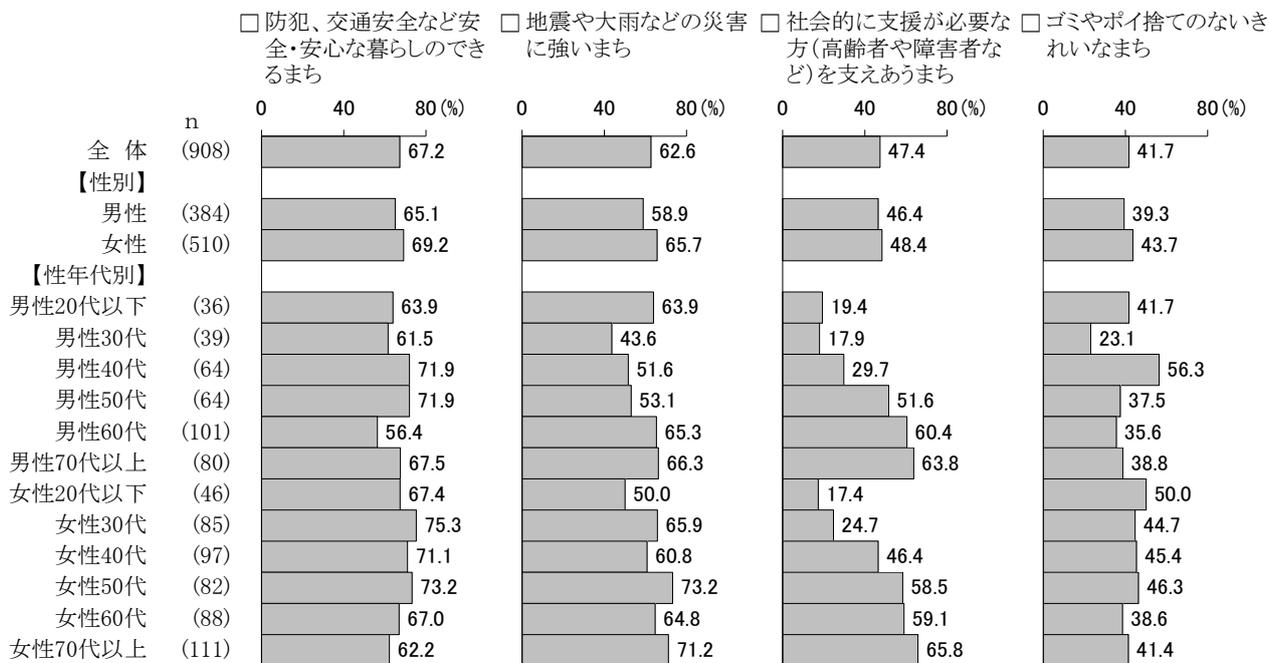
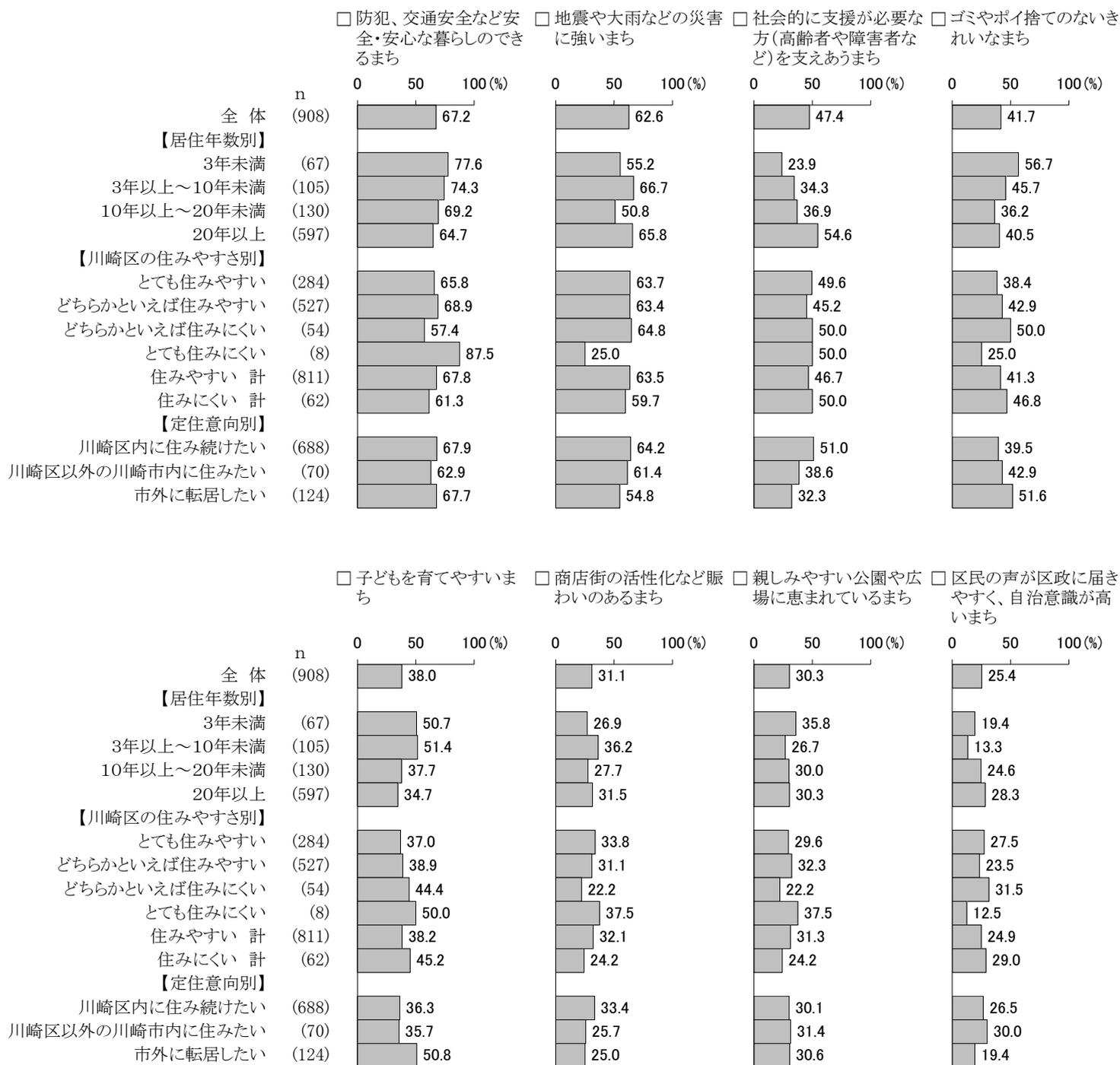


図5-1-3 「10年後の川崎区」について、めざすべき方向

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
(上位8項目)



6. 市民利用施設について

(1) 区内のJR南武支線より横浜市側の地域（小田、京町、浅田）に市民館や図書館がないことの不便性

問13 区内のJR南武支線より横浜市側の地域（小田、京町、浅田等の地域）には、川崎市立の市民館や図書館の分館がありません。このことについて、あなたは不便に感じますか。
（○は1つ）

全 体 「あまり不便に感じない」（23.7%）、「まったく不便に感じない」（20.4%）、「少し不便に感じる」（13.8%）と続いている。一方、「わからない」は27.5%と最も高くなっている。（図6-1-1）

性 別 「まったく不便に感じない」では、「男性」（23.7%）が「女性」（18.0%）より5.7ポイント高くなっている。（図6-1-2）

性年代別 「とても不便に感じる」では、「男性50代」（15.6%）が最も高く、「少し不便に感じる」では、「女性60代」（20.5%）が最も高くなっている。一方、「まったく不便に感じない」では、「男性40代」（40.6%）が最も高く、4割を超えている。また、「わからない」では、「男性20代以下」（41.7%）が最も高く、4割を超えている。（図6-1-2）

居住年数別 「とても不便に感じる」では、「3年以上～10年未満」（14.3%）が最も高くなっている。一方、「まったく不便に感じない」では、「10年以上～20年未満」（30.0%）が最も高くなっている。（図6-1-3）

川崎区の住みやすさ別 「とても不便に感じる」、「少し不便に感じる」、「まったく不便に感じない」では、「住みにくい計」の方が高くなっている。（図6-1-3）

定住意向別 「少し不便に感じる」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」（24.3%）が最も高く、「まったく不便に感じない」では、「市外に転居したい」（32.3%）が最も高くなっている。（図6-1-3）

図6-1-1 区内のJR南武支線より横浜市側の地域（小田、京町、浅田）に市民館や図書館がないことの不便性

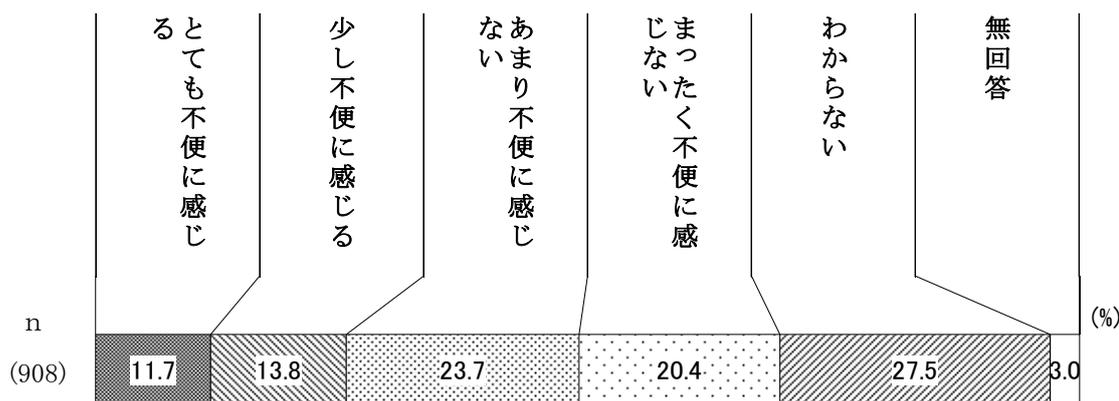


図6-1-2 区内のJR南武支線より横浜市側の地域（小田、京町、浅田）に市民館や図書館がないことの不便性 <性別・性年代別>

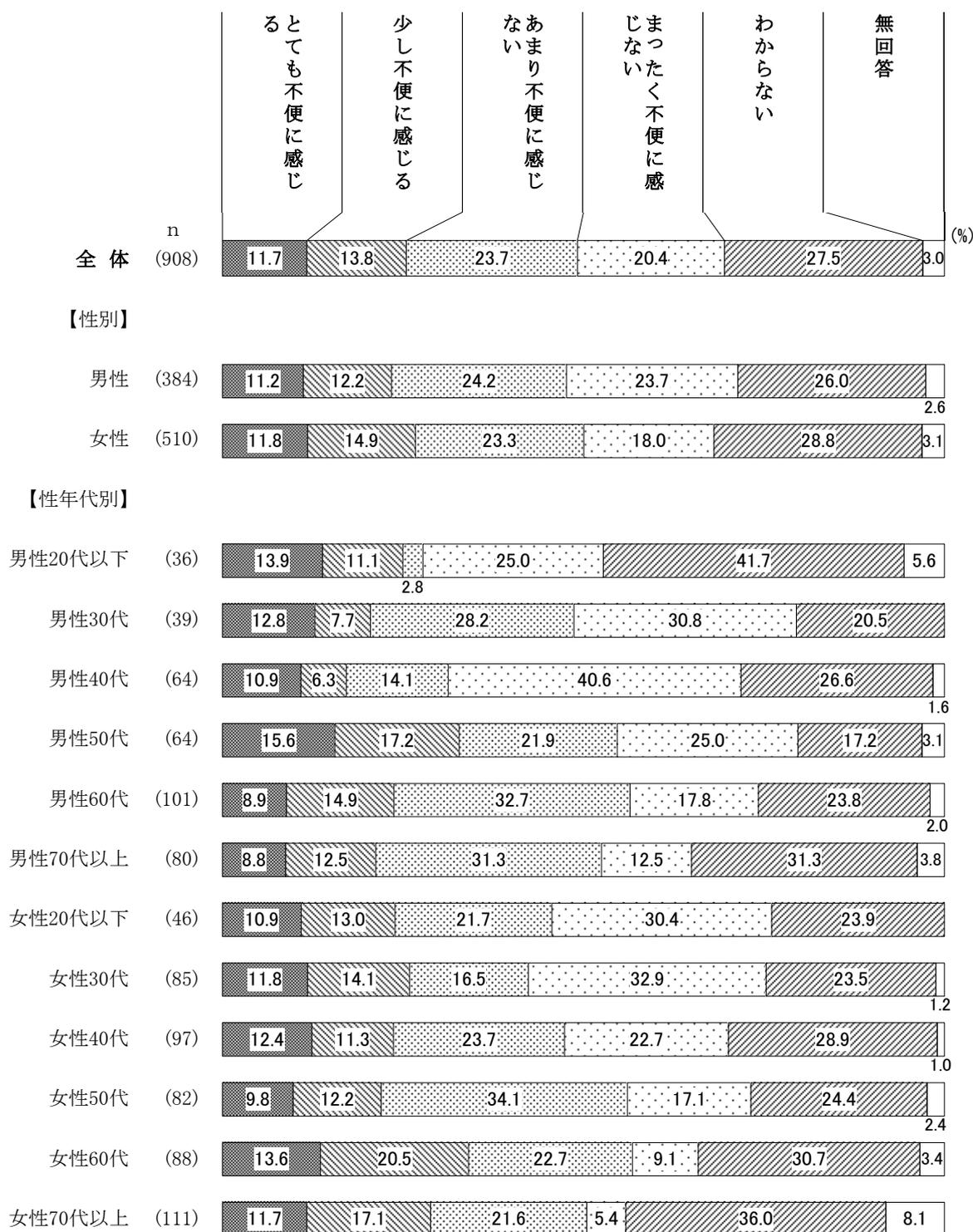
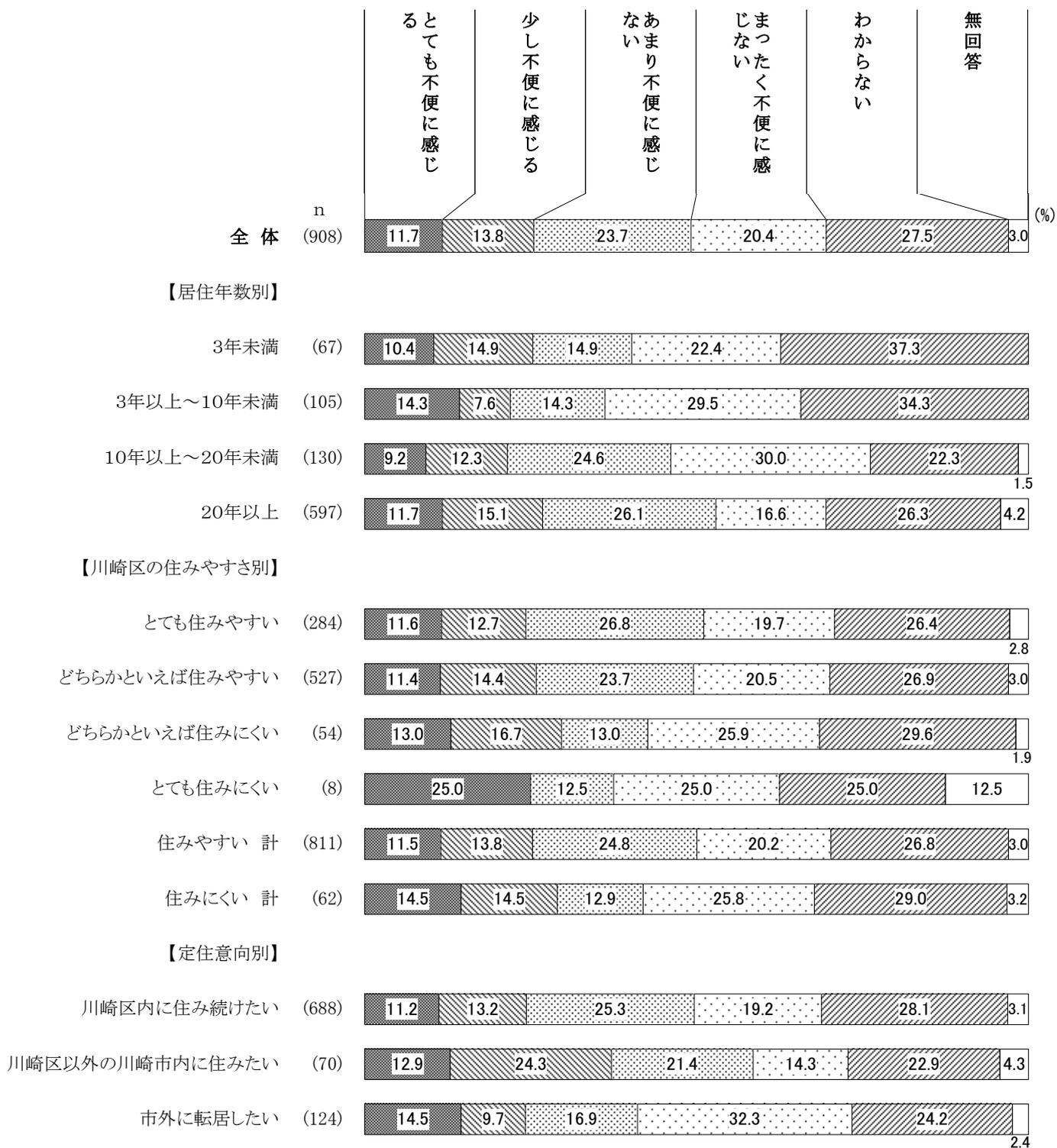


図6-1-3 区内のJR南武支線より横浜市側の地域（小田、京町、浅田）
に市民館や図書館がないことの不便性

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



7. 川崎区区民会議について

(1) 区民会議の認知度

問14 あなたは「区民会議」を知っていますか。(○は1つ)

全 体 「知らない」(67.8%)が最も高く、次いで「あることは知っているが、内容は知らない」(29.0%)と続いている。平成21年度からの結果と比較すると特に大きな違いはみられない。(図7-1-1)

性 別 「あることは知っているが、内容は知らない」では、「女性」(30.8%)が「男性」(25.8%)より高くなっている。(図7-1-2)

性年代別 「あることは知っているが、内容は知らない」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「女性60代」(40.9%)、「女性70代以上」(40.5%)で4割を超えている。一方、「知らない」では、「男性20代以下」(86.1%)、「男性30代」(87.2%)、「女性30代」(88.2%)で8割台後半となっている。(図7-1-2)

居住年数別 「あることは知っているが、内容は知らない」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。一方、「知らない」では、居住年数が短くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「3年未満」(88.1%)で8割台後半となっている。(図7-1-3)

川崎区の住みやすさ別 「あることは知っているが、内容は知らない」では、「住みやすい計」(30.0%)が「住みにくい計」(25.8%)より高くなっている。(図7-1-3)

定住意向別 「あることは知っているが、内容は知らない」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(32.9%)が最も高くなっている。一方、「知らない」では、「市外に転居したい」(77.4%)が最も高く、7割台後半となっている。(図7-1-3)

図7-1-1 区民会議の認知度

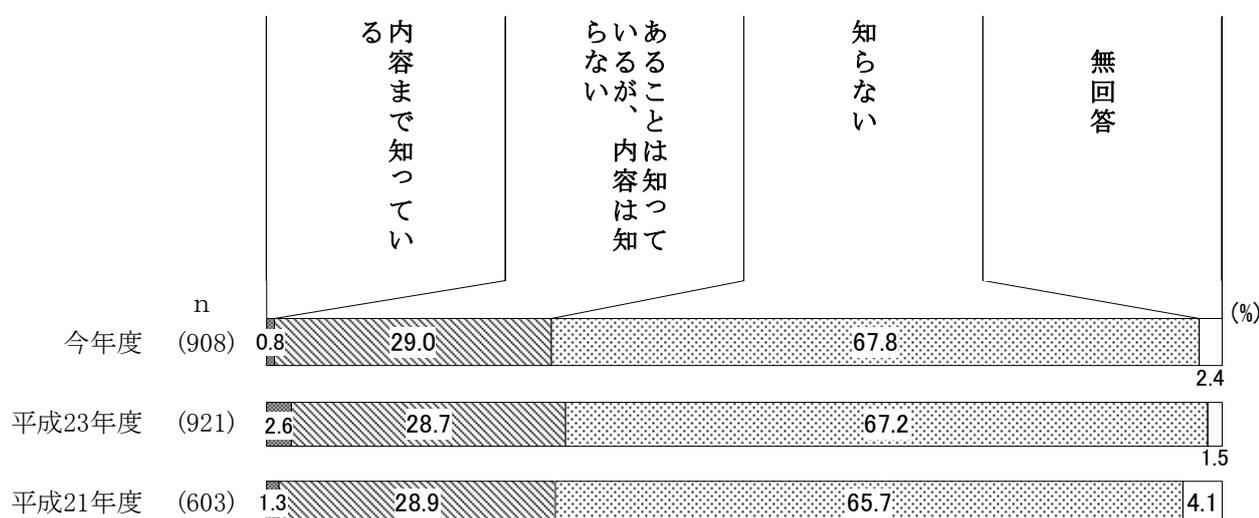


図7-1-2 区民会議の認知度 <性別・性年代別>

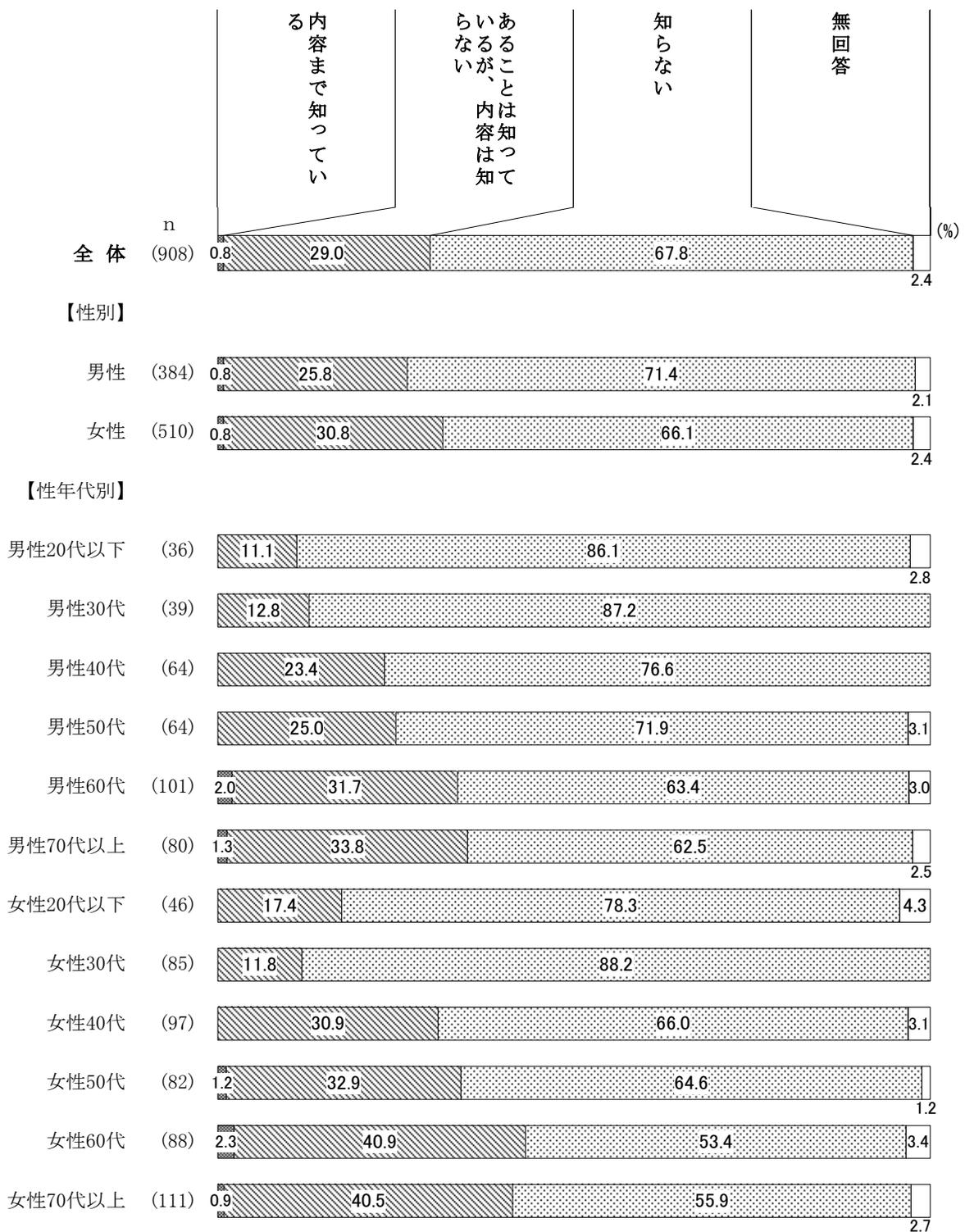
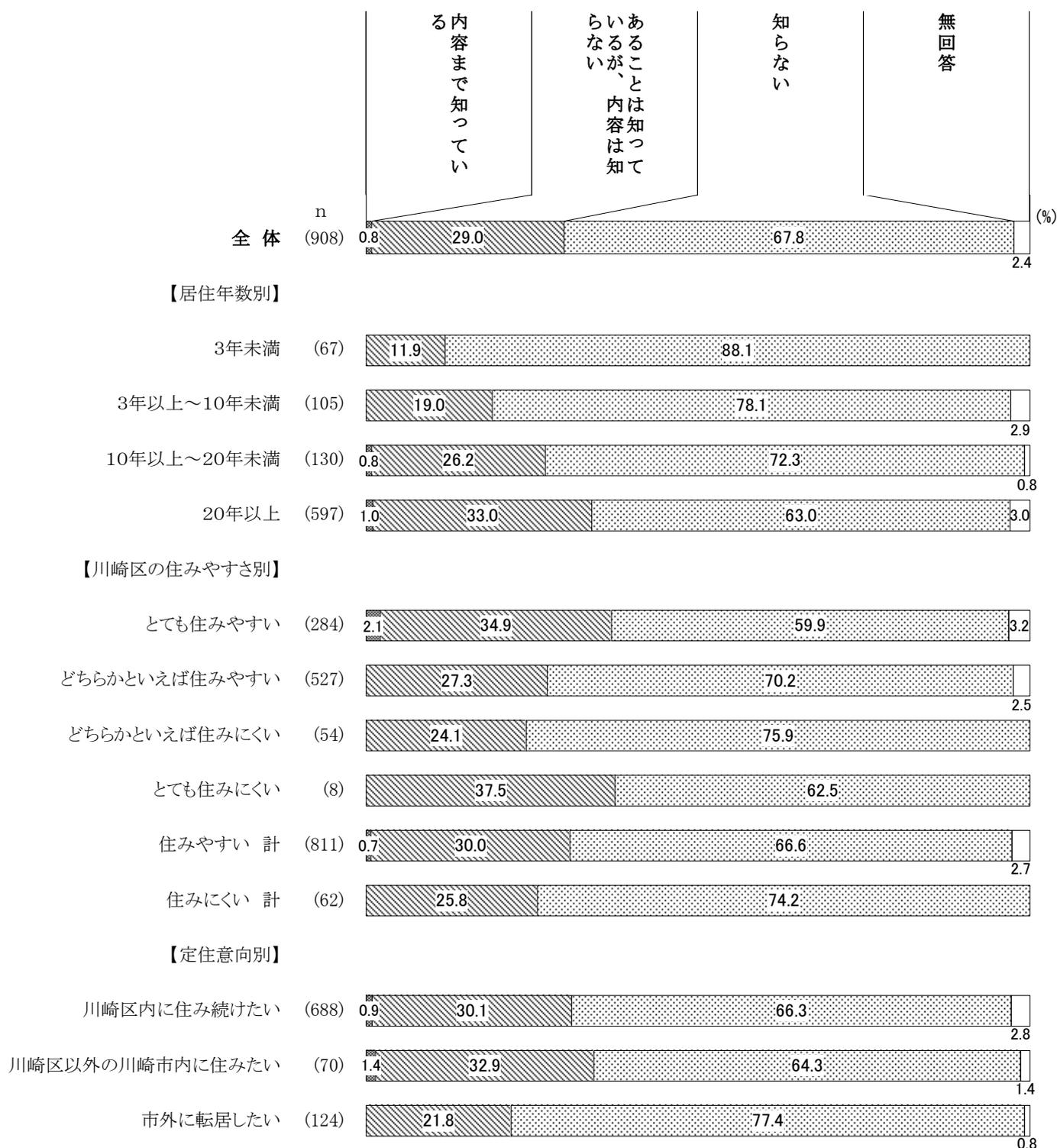


図7-1-3 区民会議の認知度

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(2) 区民会議の議題として望ましいもの

問15 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいと思う項目を、3つまで お選びください。(〇は3つまで)

全 体 「災害対策に関する事業」(57.2%)が最も高く、次いで「防犯・防火に関する事業」(44.9%)、「高齢者や障害者福祉に関する事業」(43.0%)と続いている。(図7-2-1)

性 別 「環境美化、地域緑化に関する事業」では、「男性」(24.2%)が「女性」(20.0%)より割合が高くなっているが、それ以外の項目では「女性」の方が高くなっている。(図7-2-2)

性年代別 「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「女性60代」(63.6%)「女性70代以上」(68.5%)で6割を超えている。「子育てに関する事業」では、「女性20代以下」(45.7%)が4割台半ば、「女性30代」(51.8%)が5割を超えている。(図7-2-2)

居住年数別 「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「20年以上」(51.1%)で5割を超えている。「子育てに関する事業」では、居住年数が短いほど高くなる傾向にあり、「3年未満」(37.3%)で3割台後半となっている。(図7-2-3)

川崎区の住みやすさ別 「防犯・防火に関する事業」では、「住みやすい計」(46.4%)が「住みにくい計」(30.6%)より15.8ポイント高くなっている。「環境美化、地域緑化に関する事業」では、「住みにくい計」(30.6%)が「住みやすい計」(21.1%)より9.5ポイント高くなっている。(図7-2-3)

定住意向別 「高齢者や障害者福祉に関する事業」では、「川崎区内に住み続けたい」(45.6%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(26.6%)より19.0ポイント高くなっている。(図7-2-3)

図7-2-1 区民会議の議題として望ましいもの

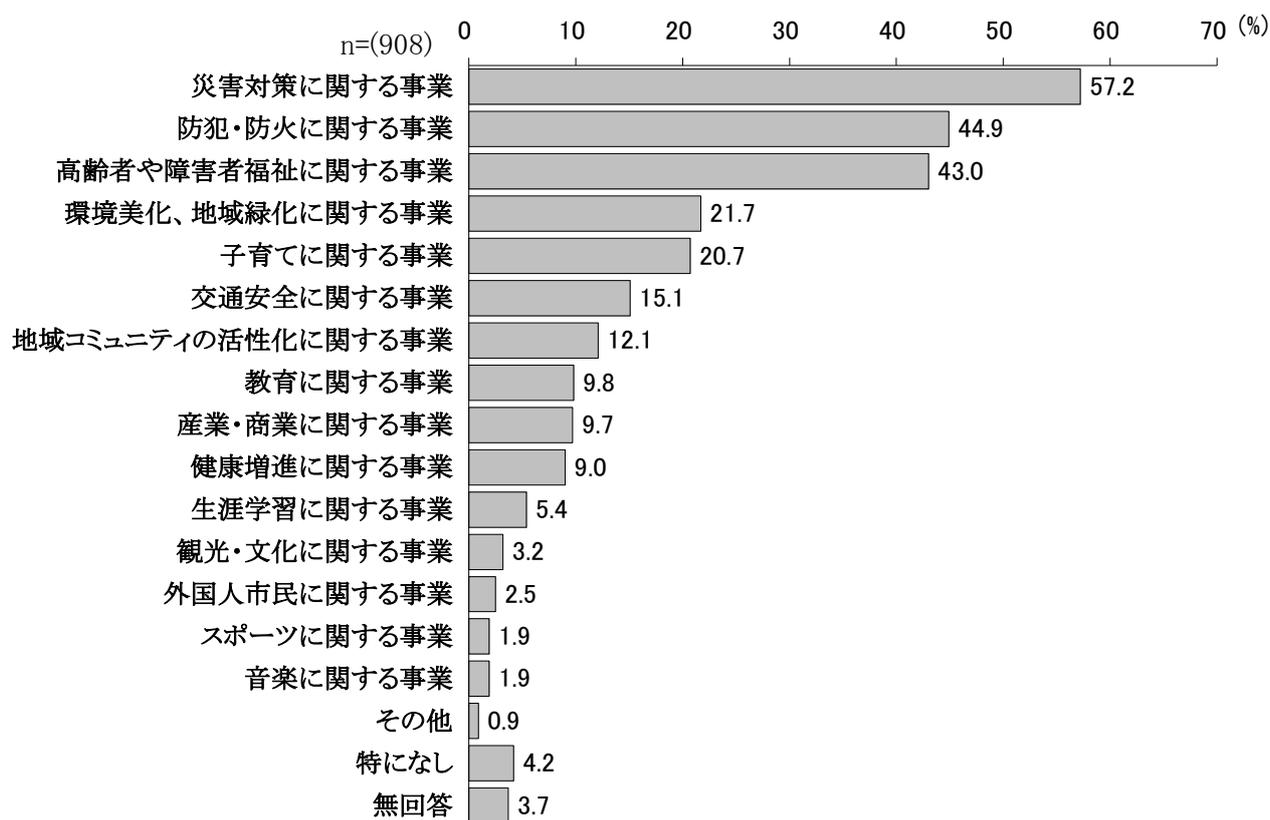


図7-2-2 区民会議の議題として望ましいもの <性別・性年代別>

(上位8項目)

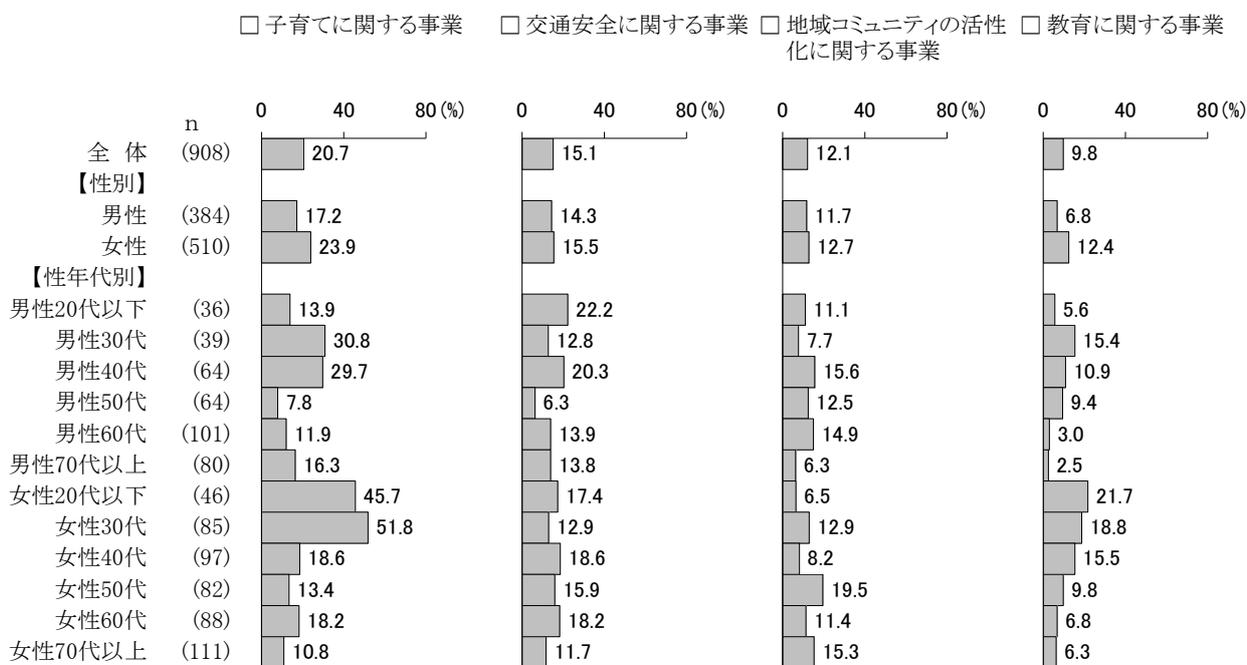
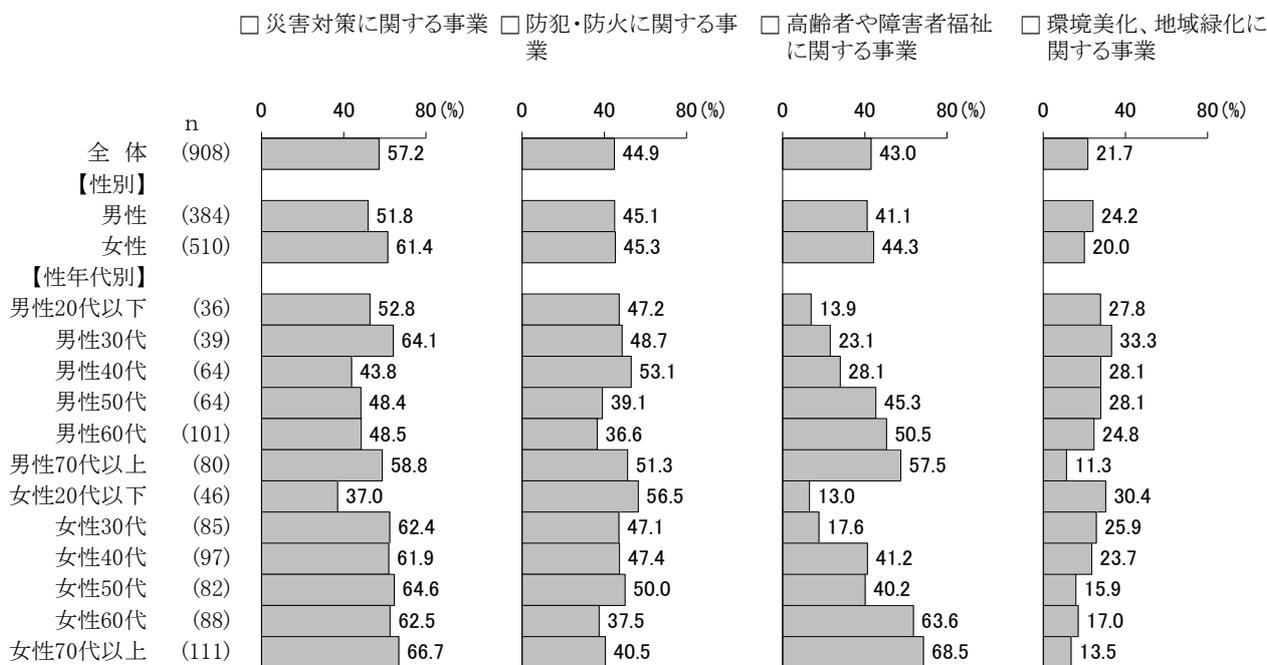
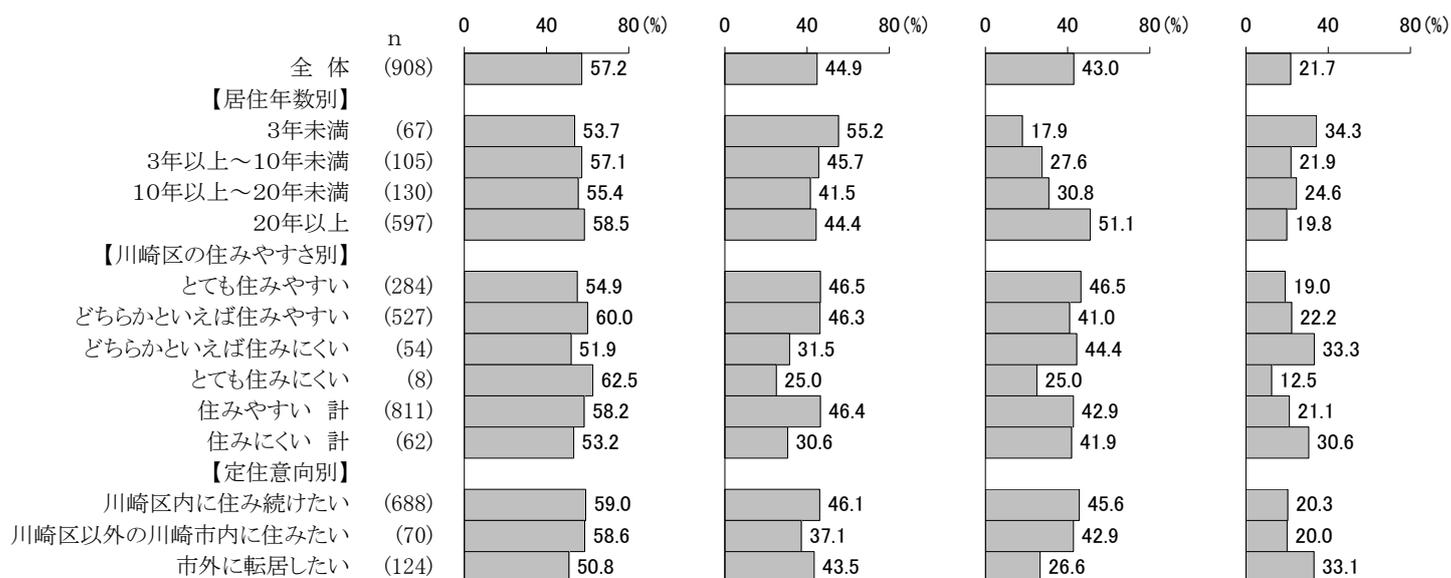


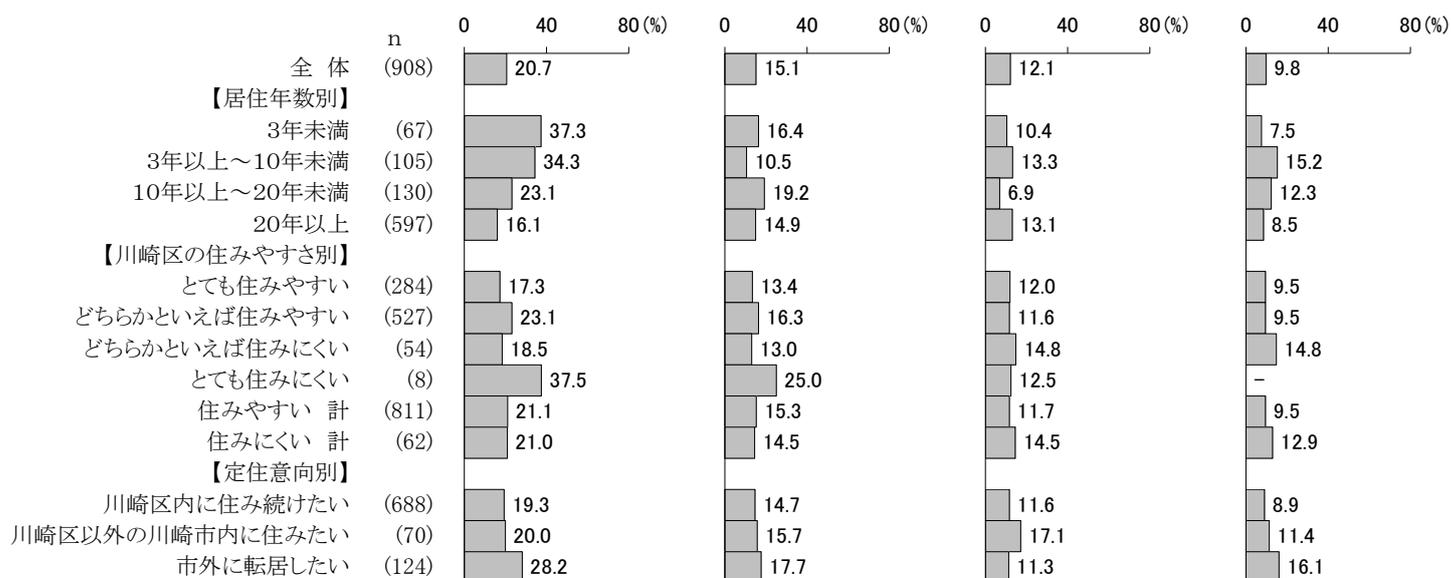
図7-2-3 区民会議の議題として望ましいもの

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
(上位8項目)

□ 災害対策に関する事業 □ 防犯・防火に関する事業 □ 高齢者や障害者福祉に関する事業 □ 環境美化、地域緑化に関する事業



□ 子育てに関する事業 □ 交通安全に関する事業 □ 地域コミュニティの活性化に関する事業 □ 教育に関する事業



(3) 区の花・木の認知度

問16 区は第3期川崎区区民会議の提案を基に、平成24年4月に区の花・木を制定しました。あなたは区の花が「ひまわり、ビオラ」、区の木が「銀杏、長十郎梨」であることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「銀杏が区の木であることを知っている」(25.6%)、「長十郎梨が区の木であることを知っている」(21.8%)と続いている。一方、「知らない」は56.9%と最も高くなっている。(図7-3-1)
- 性 別** 全体的に「女性」の方が「男性」より高くなっているが、「知らない」では、「男性」(64.1%)が「女性」(52.5%)より11.6ポイント高くなっている。(図7-3-2)
- 性年代別** 「長十郎梨が区の木であることを知っている」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性70代以上」(32.5%)、「女性70代以上」(38.7%)で3割を超えている。一方、「知らない」では、「男性20代以下」(72.2%)、「男性30代」(76.9%)、「男性40代」(75.0%)、「男性50代」(78.1%)、「女性20代以下」(71.7%)で7割を超えている。(図7-3-2)
- 居住年数別** 全体的に居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にあるが、「知らない」では、居住年数が短いほど割合が高くなる傾向にあり、「3年未満」(79.1%)で約8割となっている。(図7-3-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 全体的に「住みやすい計」の方が割合が高くなっているが、「知らない」では、「住みにくい計」(66.1)%が「住みやすい計」(55.6%)より10.5ポイント高くなっている。(図7-3-3)
- 定住意向別** 全体的に「川崎区内に住み続けたい」が高くなっている傾向にあるが、「知らない」では、「市外に転居したい」(66.9%)が最も高く、6割台半ばとなっている。(図7-3-3)

図7-3-1 区の花・木の認知度

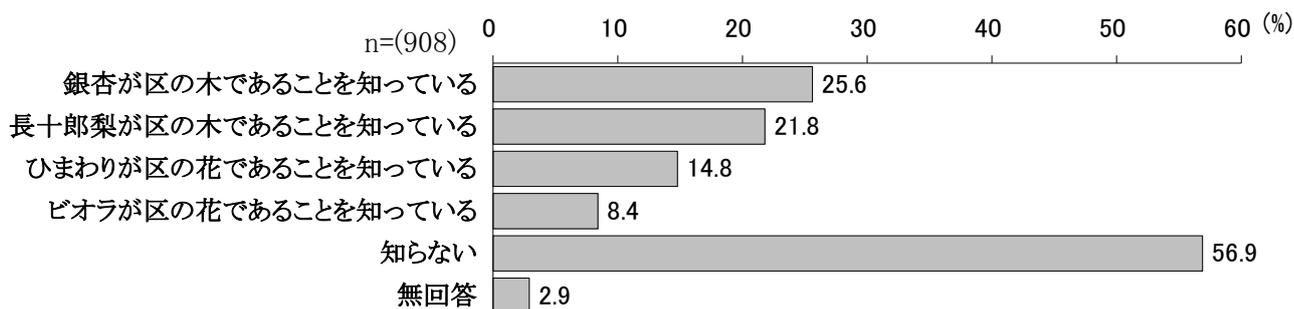
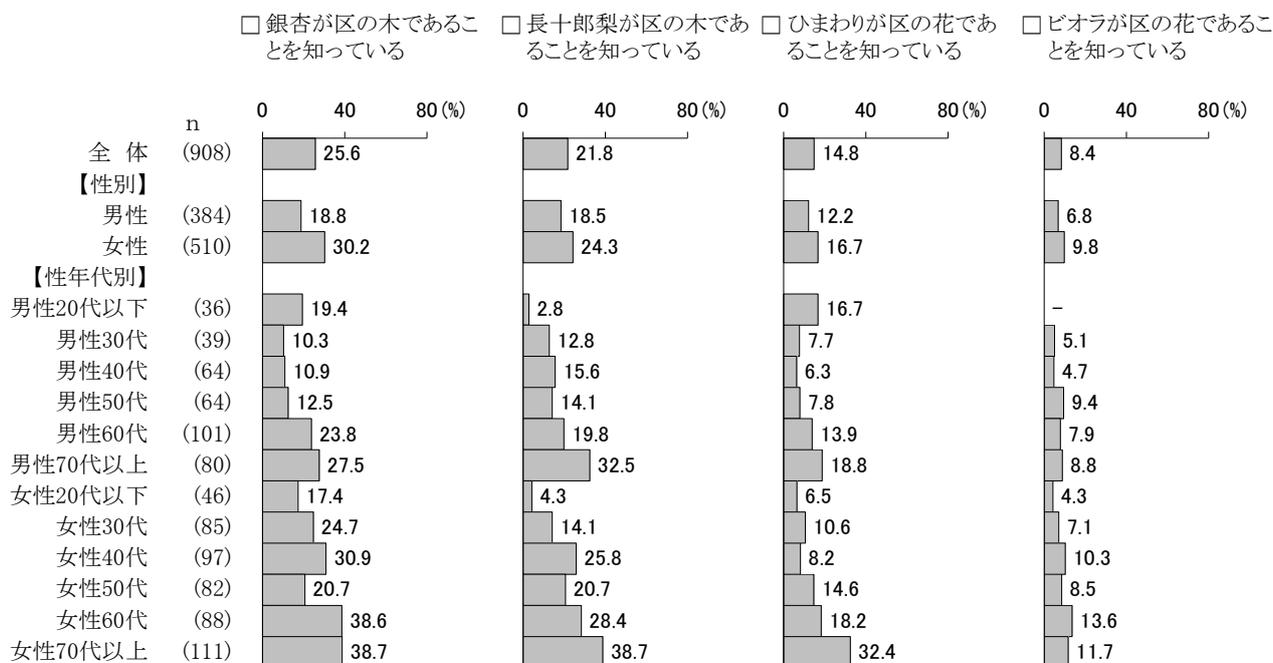


図7-3-2 区の花・木の認知度 <性別・性年代別>



知らない

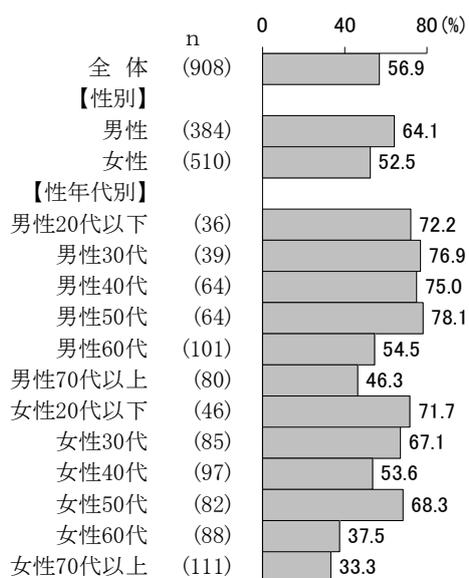
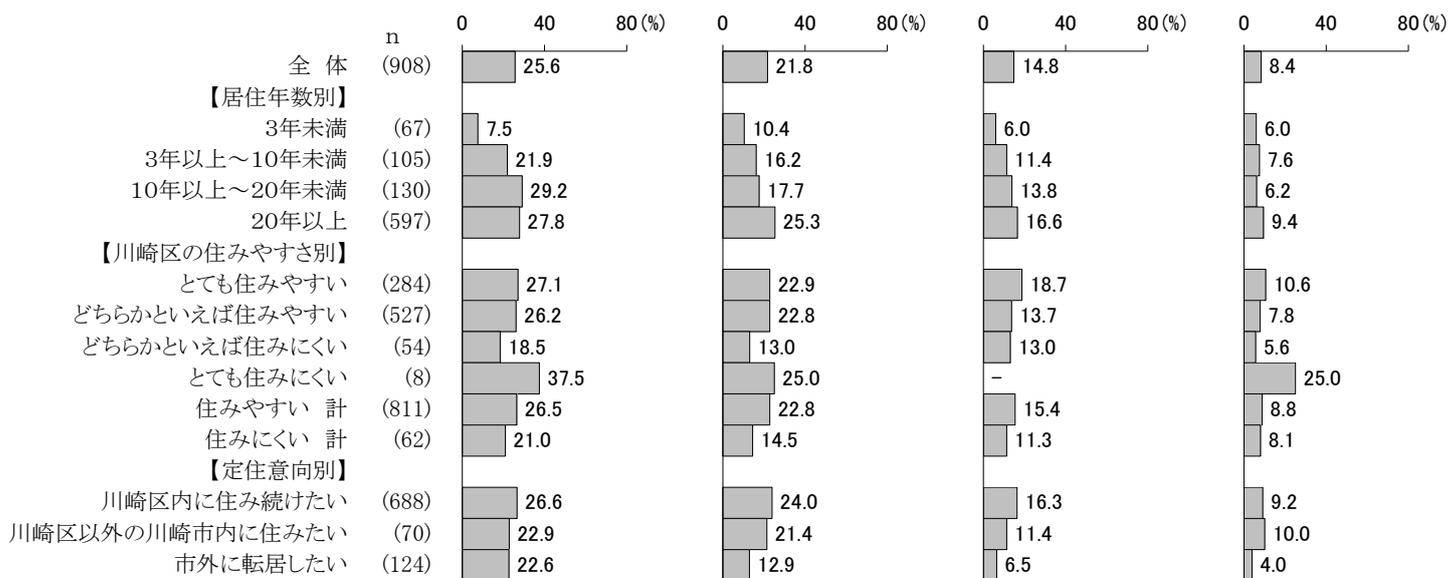


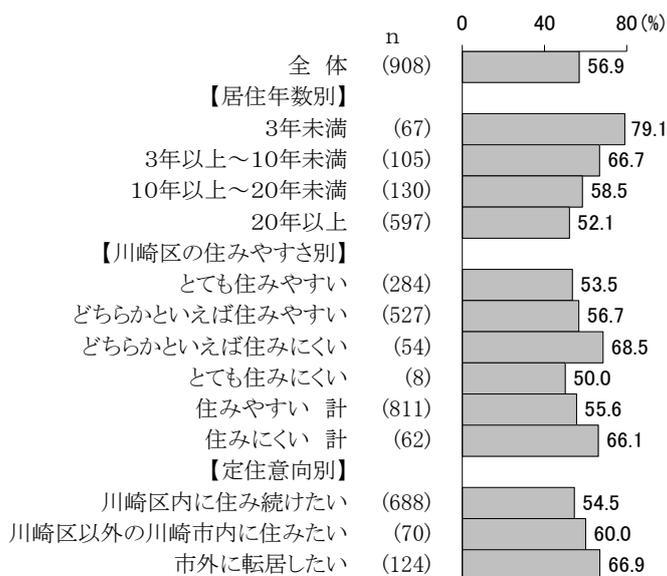
図7-3-3 区の花・木の認知度

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

銀杏が区の木であることを知っている
 長十郎梨が区の木であることを知っている
 ひまわりが区の花であることを知っている
 ビオラが区の花であることを知っている



知らない



8. 市民活動及び地域活動への参加について

(1) 町内会・自治会への加入状況

問17 あなたは町内会・自治会に加入していますか。(○は1つ)

全 体 「加入している」(64.8%)が最も高く、次いで「加入していない」(34.1%)と続いている。平成23年度と比較すると「加入している」(今年度：64.8%、平成23年度：71.6%)は平成23年度より6.8ポイント低くなっている。(図8-1-1)

性 別 「加入している」では、「女性」(67.8%)が「男性」(60.2%)より7.6ポイント高くなっている。(図8-1-2)

性年代別 「加入している」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「女性60代」(80.7%)、「女性70代以上」(82.9%)で8割を超えている。(図8-1-2)

居住年数別 「加入している」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「20年以上」(73.2%)で7割を超えている。(図8-1-3)

川崎区の住みやすさ別 「加入している」では、「住みやすい計」(66.0%)が「住みにくい計」(54.8%)より11.2ポイント高くなっている。(図8-1-3)

定住意向別 「加入している」では、「川崎区内に住み続けたい」(66.3%)が最も高くなっている。(図8-1-3)

図8-1-1 町内会・自治会への加入状況

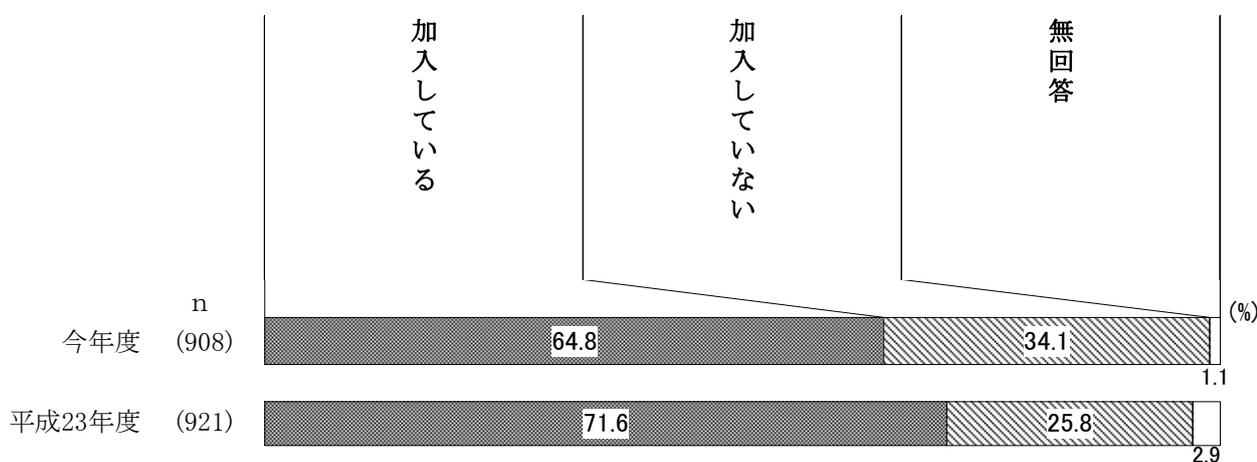


図8-1-2 町内会・自治会への加入状況 <性別・性年代別>

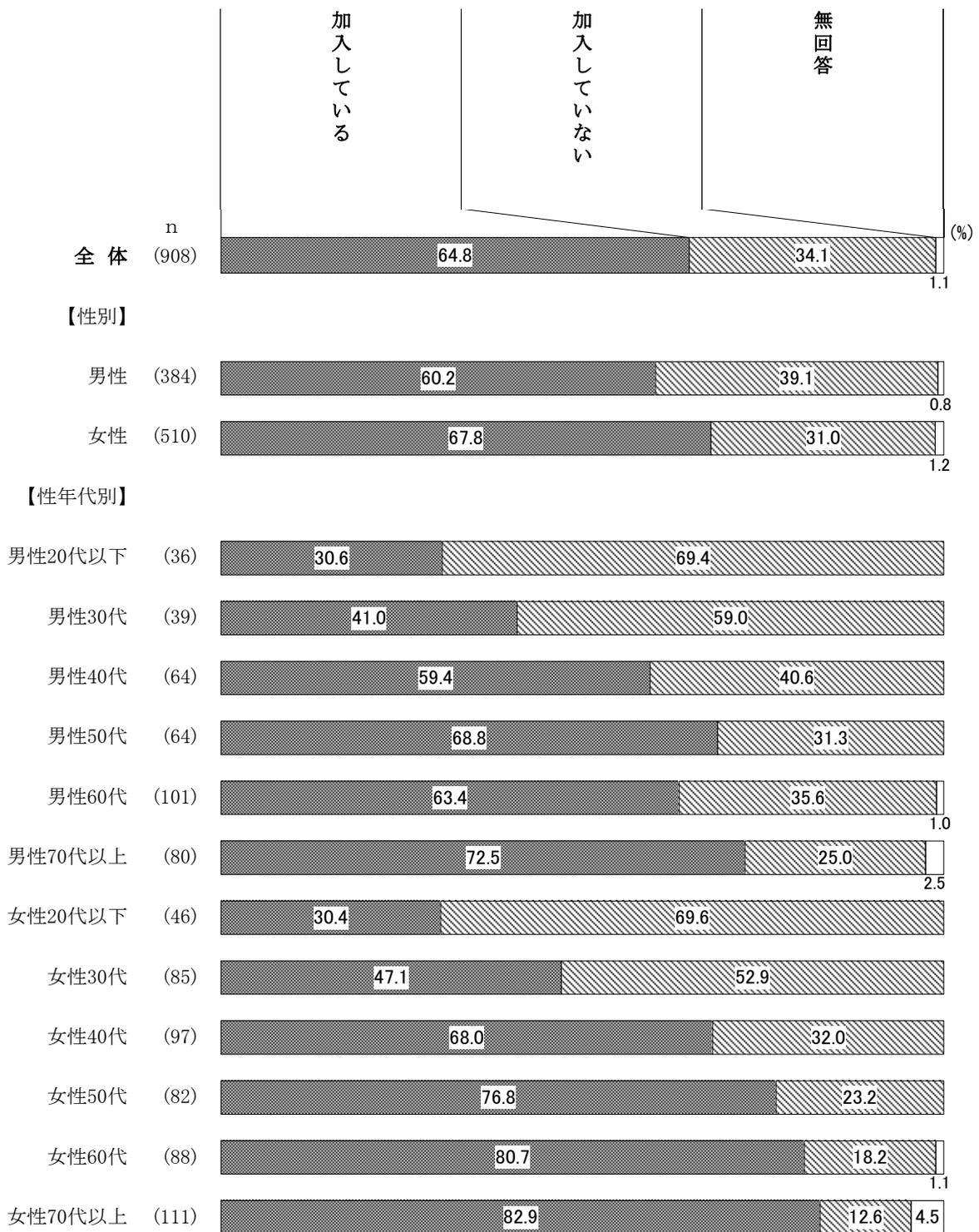
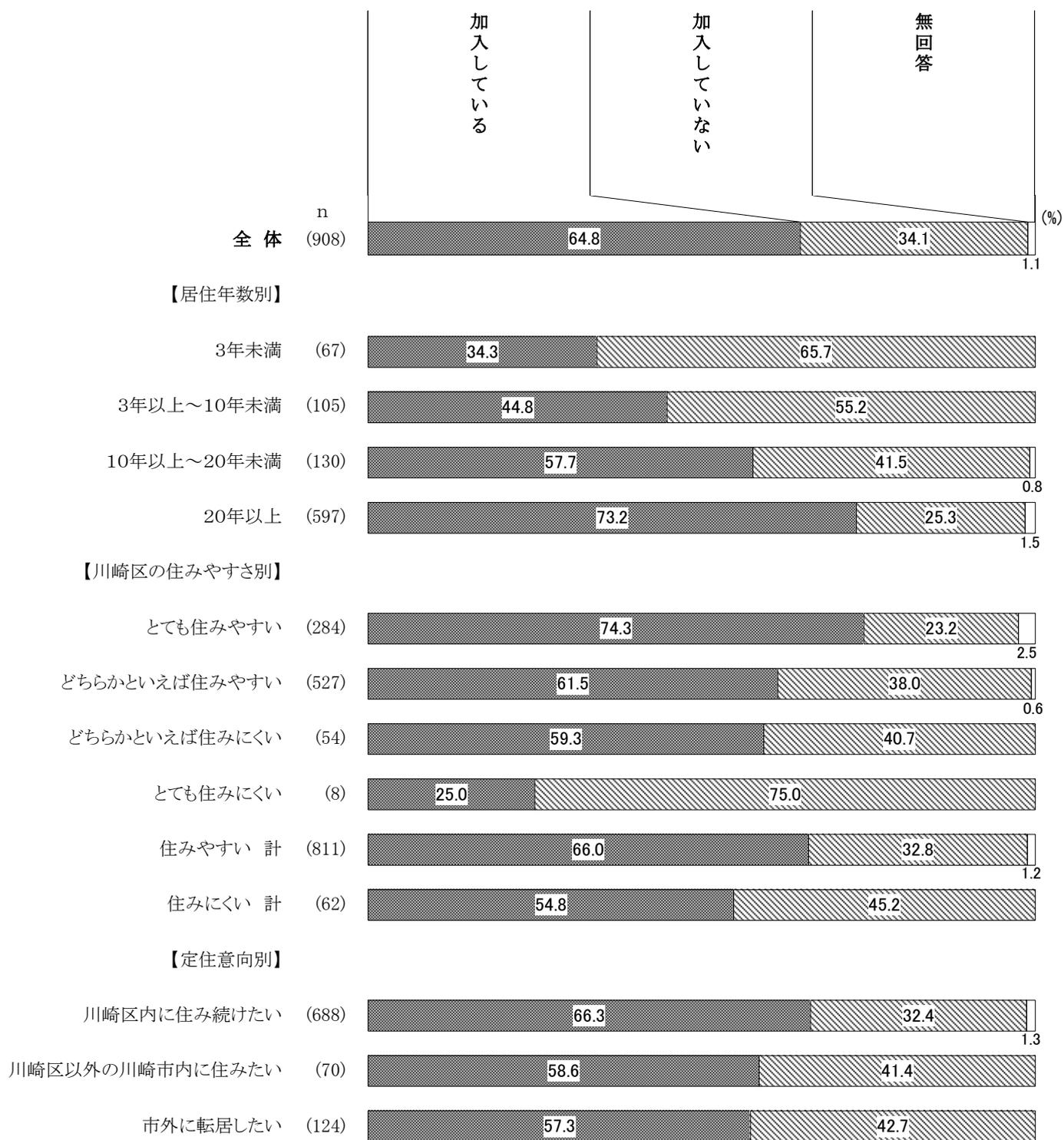


図8-1-3 町内会・自治会への加入状況

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(2) 町内会・自治会に加入した理由

問18 町内会・自治会に加入した理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「自治会・町内会への参加は義務だと思うから」(51.9%)が最も高く、次いで「地域の必要な情報を得ることができるから」(38.1%)、「地域の人と触れ合えるから」(30.6%)と続いている。(図8-2-1)
- 性 別** 「入居するマンションに加入が規定されていたから」では、「男性」(28.1%)が「女性」(22.3%)より高くなっているが、それ以外の項目は「女性」の方が高くなっている。特に「地域の必要な情報を得ることができるから」では、「女性」(43.1%)が「男性」(31.2%)より11.9ポイント高くなっている。(図8-2-2)
- 性年代別** n(回答者数)が少ない年代が多いことから、図表は参考として掲載する。(図8-2-2)
- 居住年数別** 「3年未満」のn(回答者数)が少ないことから、図表は参考として掲載する。(図8-2-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「地域の人と触れ合えるから」では、「住みやすい計」(32.7%)が「住みにくい計」(8.8%)より23.9ポイント高くなっている。(図8-2-3)
- 定住意向別** 「地域の人と触れ合えるから」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(34.1%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(12.7%)より21.4ポイント高くなっている。(図8-2-3)

図8-2-1 町内会・自治会に加入した理由

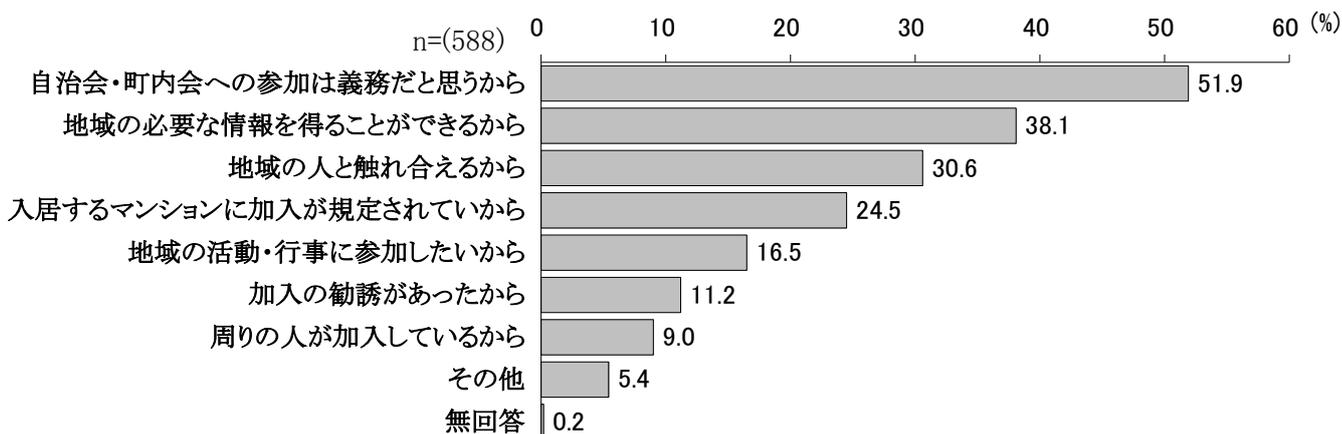


図8-2-2 町内会・自治会に加入した理由 <性別・性年代別>

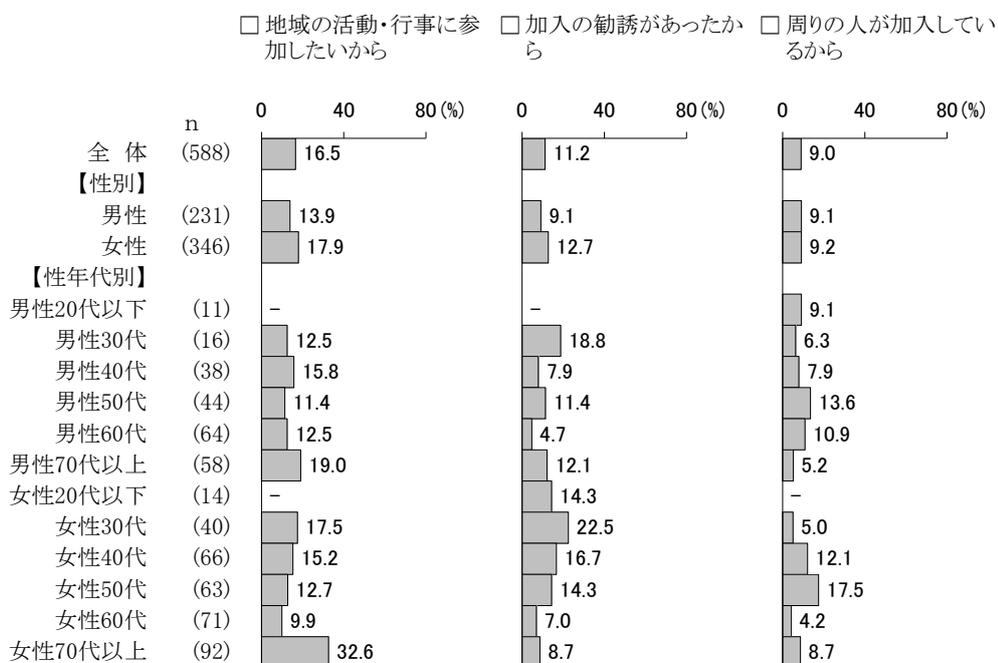
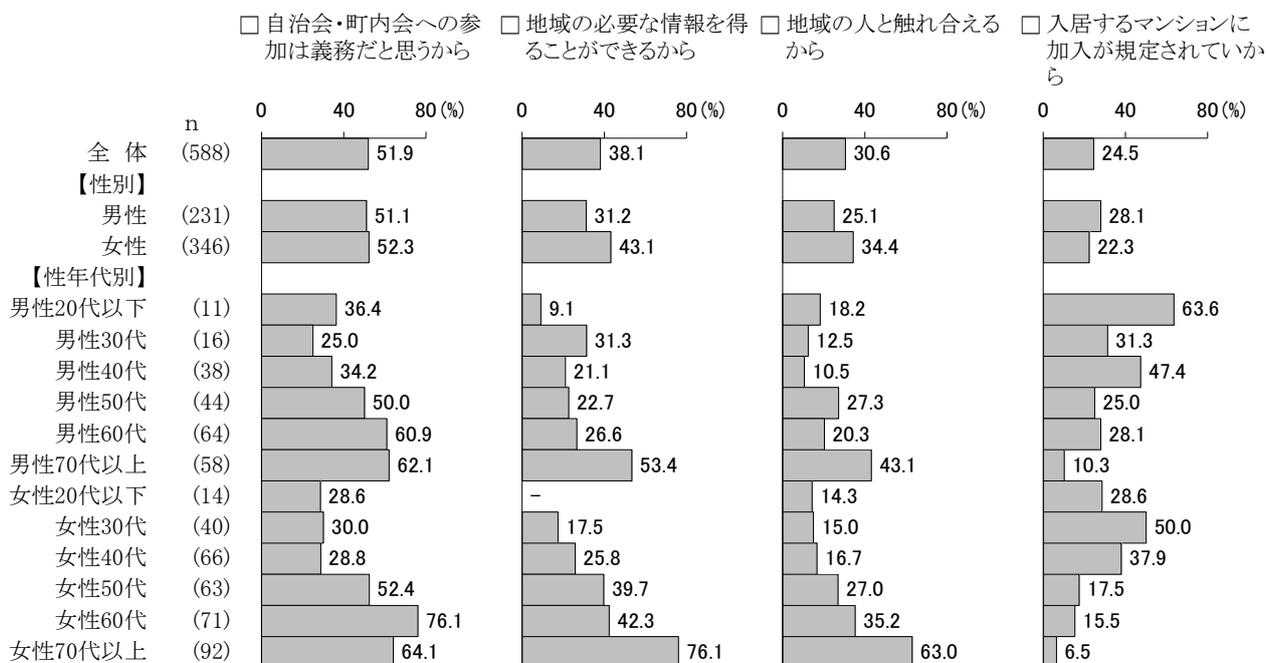
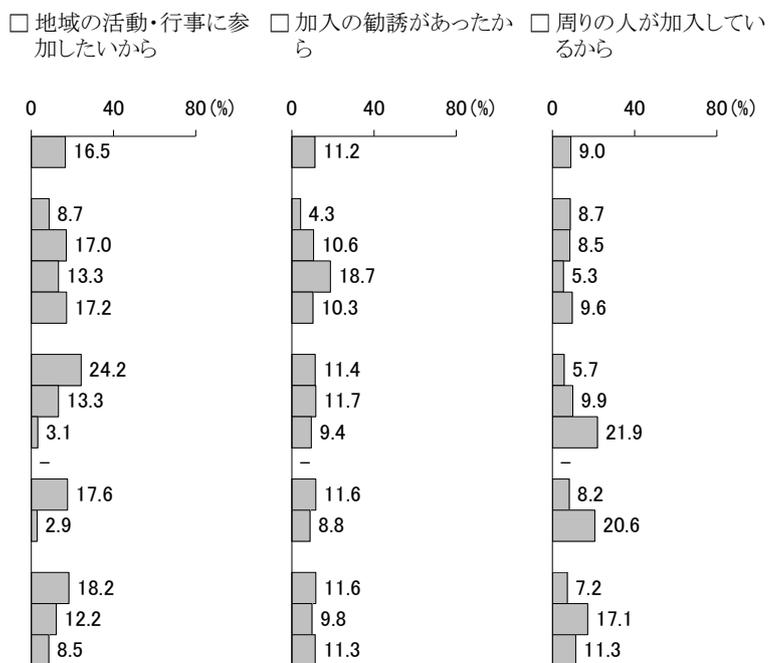
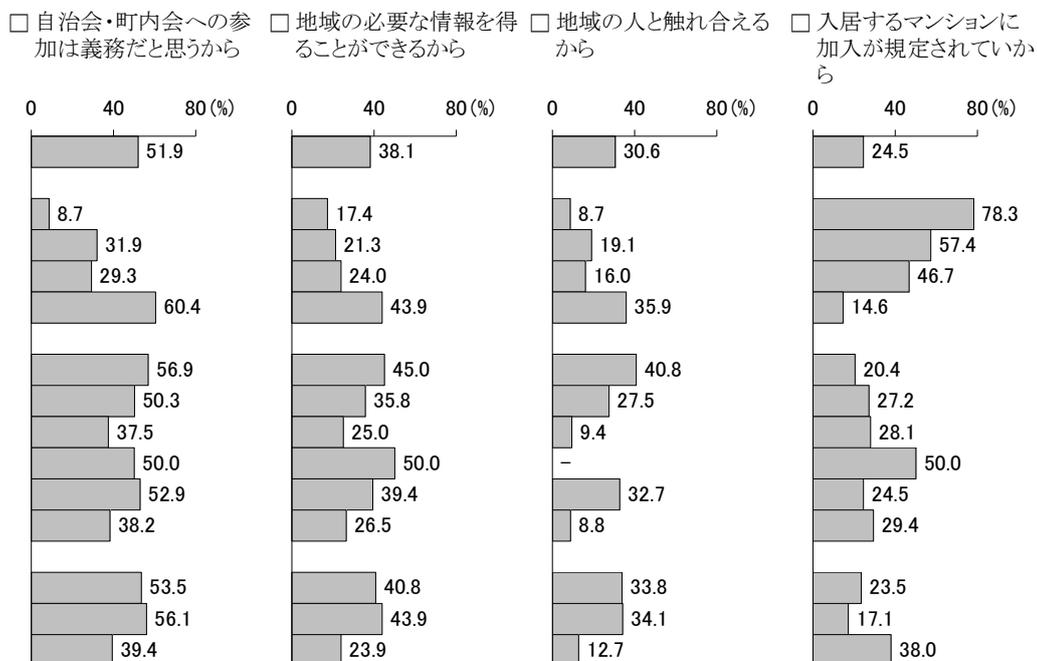


図8-2-3 町内会・自治会に加入した理由

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞



(3) 町内会・自治会などの活動を行っていない理由

問19 あなたが、町内会・自治会などの活動を行っていないのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「時間がないから(仕事、子育て、介護、家事が忙しい)」(39.0%)が最も高く、次いで「興味がないから」(22.6%)、「活動したいが、参加の方法がわからない・知らないから」(14.8%)と続いている。(図8-3-1)
- 性 別** 「時間がないから(仕事、子育て、介護、家事が忙しい)」では、「女性」(42.4%)が「男性」(36.0%)より6.4ポイント高くなっている。(図8-3-2)
- 性年代別** n(回答者数)が少ない年代が多いことから、図表は参考として掲載する。(図8-3-2)
- 居住年数別** 「時間がないから(仕事、子育て、介護、家事が忙しい)」では、「3年以上~10年未満」(43.1%)が最も高くなっており、最も低い「3年未満」(31.8%)より11.3ポイント高くなっている。(図8-3-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 「住みにくい計」のn(回答者数)が少ないことから、図表は参考として掲載する。(図8-3-3)
- 定住意向別** 「川崎区以外の川崎市内に住みたい」のn(回答者数)が少ないことから、図表は参考として掲載する。(図8-3-3)

図8-3-1 町内会・自治会などの活動を行っていない理由

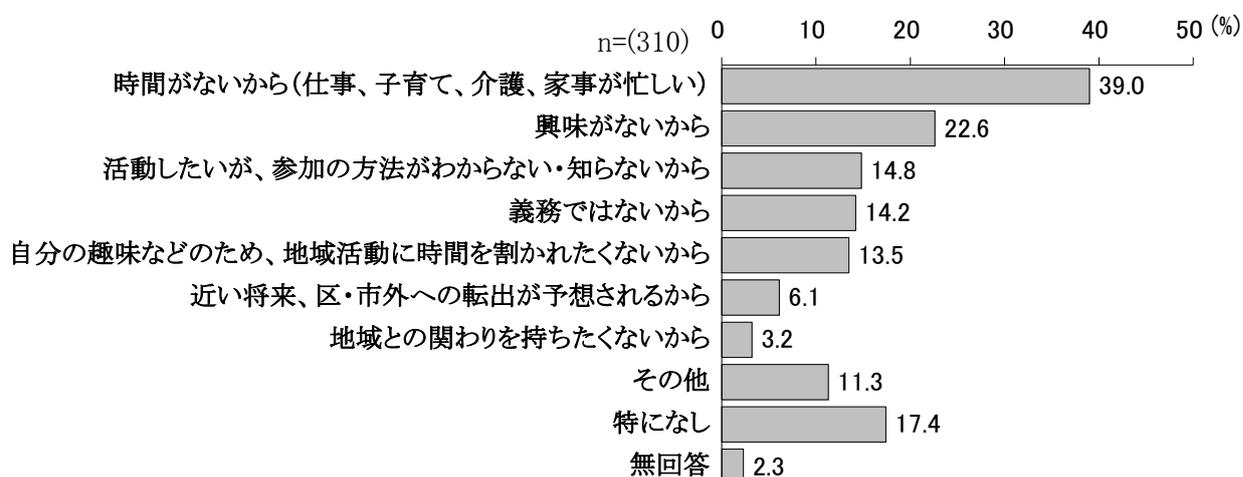


図8-3-2 町内会・自治会などの活動を行っていない理由 <性別・性年代別>

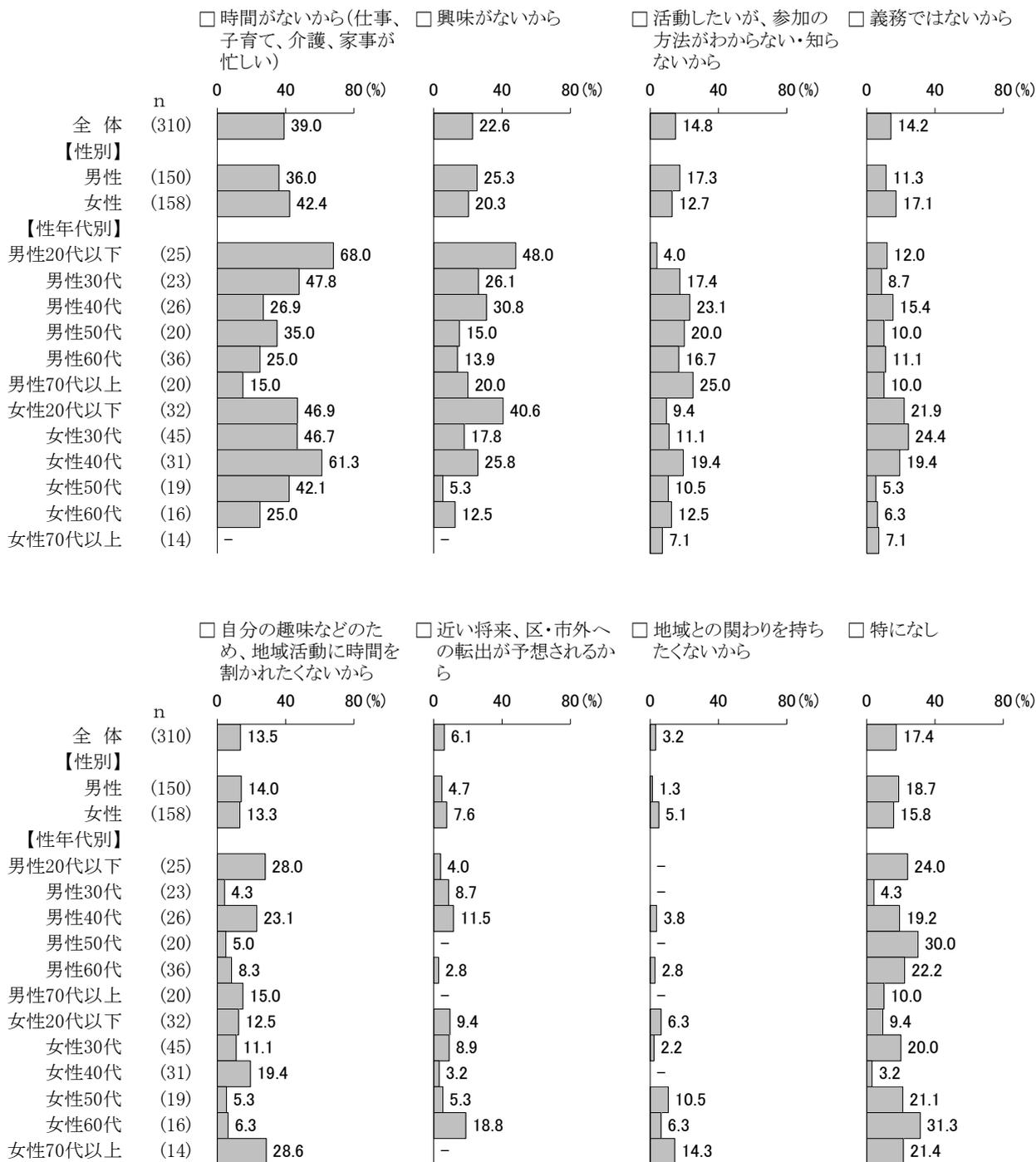
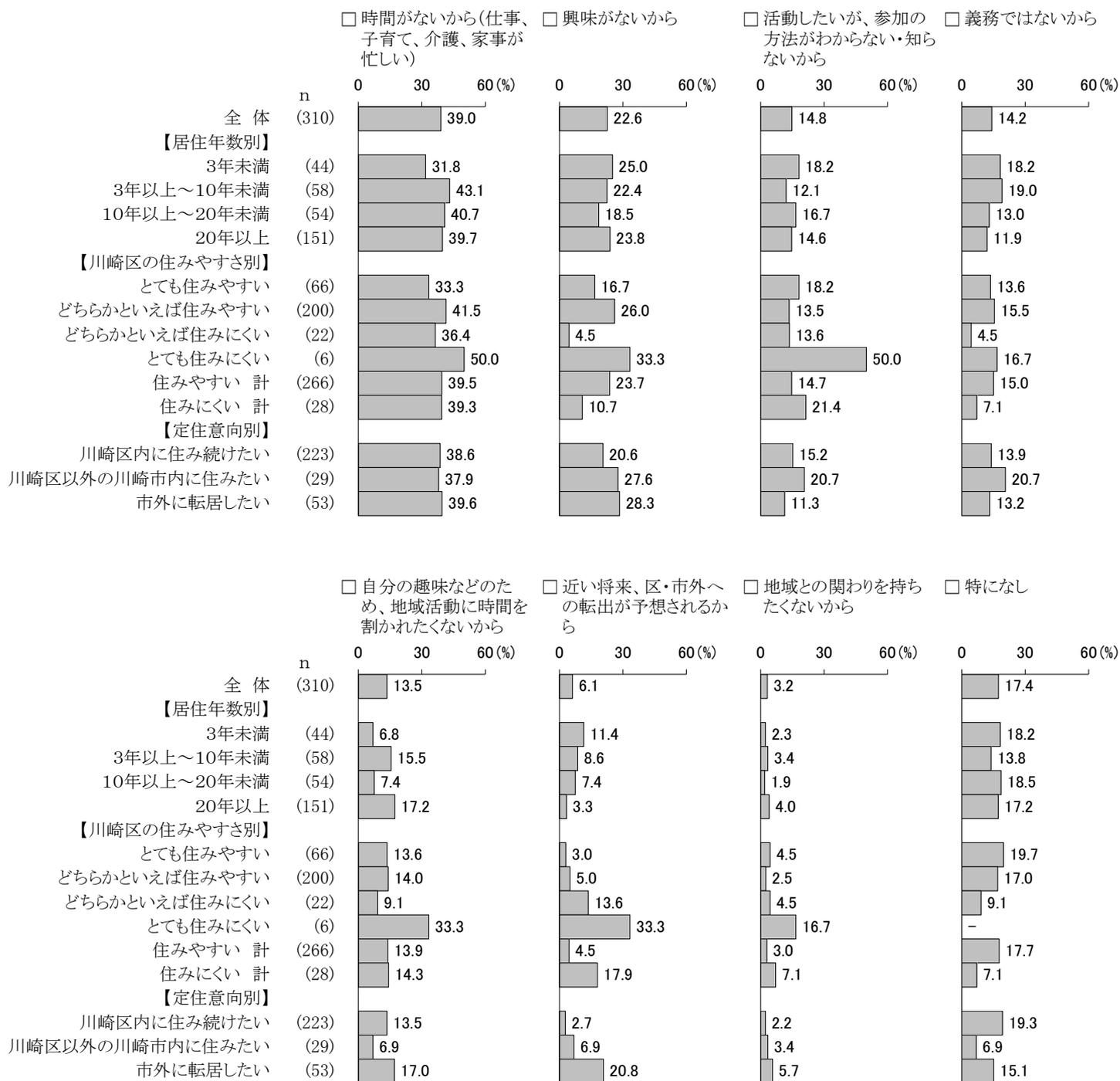


図8-3-3 町内会・自治会などの活動を行っていない理由

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(4) 参加してみたいと思う地域活動の分野

問20 あなたが今後、参加してみたいと思う地域活動の分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動」(29.4%)が最も高く、次いで「街の美化や緑化に関する活動」(27.9%)、「保健・医療または福祉に関する活動」(21.9%)と続いている。一方、「特になし」は27.4%となっている。平成23年度と比較すると「防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動」(今年度：29.4%、平成23年度：24.3%)、「保健・医療または福祉に関する活動」(今年度：21.9%、平成23年度：19.8%)では、今年度の方が平成23年度より高くなっているが、それ以外の項目は平成23年度より低くなっている。(図8-4-1)
- 性 別** 「保健・医療または福祉に関する活動」では、「女性」(25.3%)が「男性」(18.2%)より7.1ポイント高くなっている。(図8-4-2)
- 性年代別** 「街の美化や緑化に関する活動」では、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「男性60代」(35.6%)、「男性70代以上」(38.8%)、「女性70代以上」(30.6%)で3割を超えている。(図8-4-2)
- 居住年数別** 「子ども・青少年や子育て・教育に関する活動」では、「3年以上～10年未満」(27.6%)が最も高く、最も低い「20年以上」(10.7%)より16.9ポイント高くなっている。(図8-4-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 全体的に「住みやすい計」の方が高くなっており、特に「街の美化や緑化に関する活動」では、「住みやすい計」(29.1%)が「住みにくい計」(16.1%)より13.0ポイント高くなっている。(図8-4-3)
- 定住意向別** 「街の美化や緑化に関する活動」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(31.4%)が最も高く、最も低い「市外に転居したい」(18.5%)より12.9ポイント高くなっている。(図8-4-3)

図8-4-1 参加してみたいと思う地域活動の分野

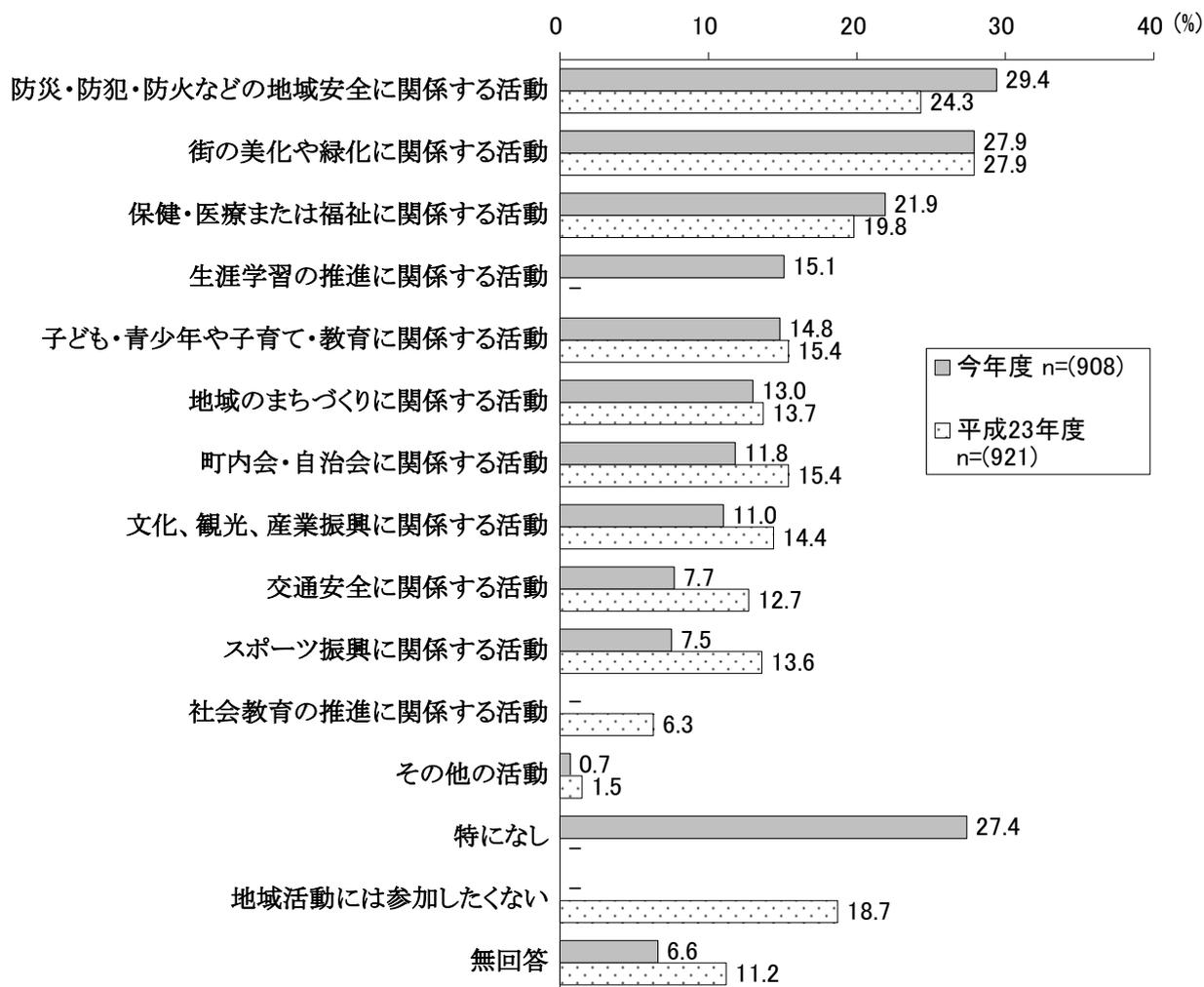


図8-4-2 参加してみたいと思う地域活動の分野 <性別・性年代別>

(上位7項目+「特になし」)

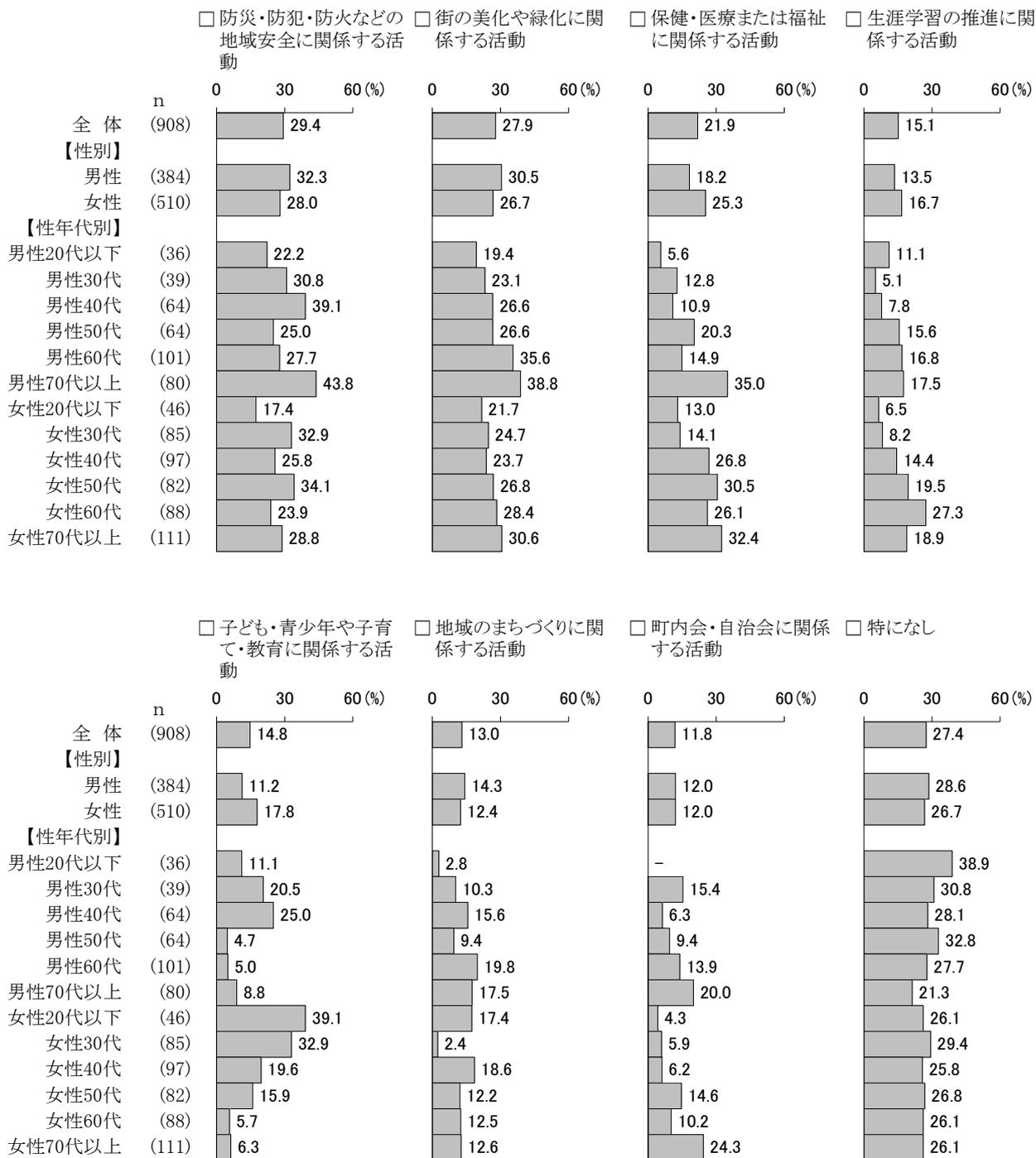
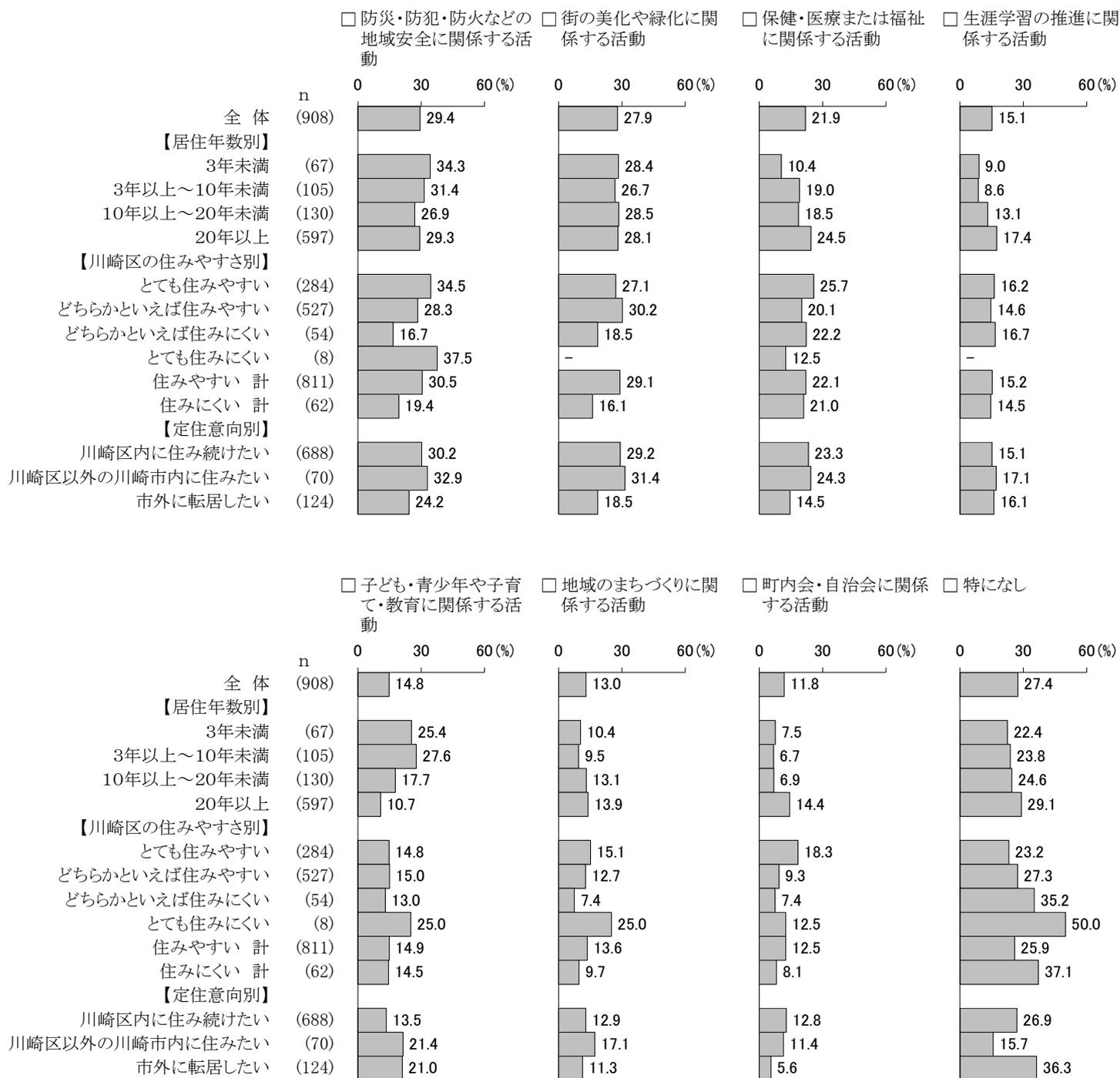


図8-4-3 参加してみたいと思う地域活動の分野

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

(上位7項目+「特になし」)



第4章 調査票

「川崎区区民アンケート」への御協力をお願い

皆様には、日ごろから区政に対してご理解とご協力いただき、ありがとうございます。さて、川崎区では、区民の皆様の意識やお考えをお聞きし、今後の区政運営の基礎資料とさせていただくことを目的として、区民アンケートを実施することといたしました。

今回の調査の実施にあたり、調査対象者として、2,000人の皆様に満18歳以上の方から無作為に選ばせていただきました。お忙しいところ大変に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

【ご記入に関する注意点とお願い】

- ◆ あて名のご本人がアンケートにお答えください。
- ◆ ご記入は、濃い鉛筆またはボールペン・万年筆でお願いします。
- ◆ この調査は無記名調査です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。
- ◆ お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- ◆ 「その他」にあてはまる場合は（ ）の中に、その内容を具体的にご記入ください。
- ◆ ご回答いただいた内容は、統計的な集計・分析だけに使用し、個々のお考えの内容や皆様の個人情報外部に漏れることはありません。

ご記入いただいたアンケートは3月31日（月）までに同封の返信用封筒に入れて、投函してください。

◆本調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



調査担当課 川崎区役所 まちづくり推進部 企画課
 〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地
 電話：044-201-3296
 FAX：044-201-3209
 メール：61kikaku@city.kawasaki.jp

◆ **川崎区の住みやすさなどについておうかがいします**■ **住みやすさについて**問1 **あなたは川崎区に住んで何年になりますか。(○は1つ)**

1 3年未満	3 10年以上～20年未満
2 3年以上～10年未満	4 20年以上

問2 **あなたにとって、川崎区はどの程度住みやすいですか。(○は1つ)**

1 とても住みやすい
2 どちらかといえば住みやすい
3 どちらかといえば住みにくい
4 とても住みにくい
5 わからない

問3 **次の表にあげる項目で、川崎区について良いと思うもの、良くないと思うものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)**

項目	問3-1 良いと思う ↓	問3-2 良くないと思う ↓
1 治安や風紀		
2 買い物、病院などの日常生活の利便性		
3 子育て環境		
4 教育・文化環境		
5 緑や公園などの自然環境		
6 交通の利便性		
7 美化		
8 その他（良いと思うもの：)		
その他（良くないと思うもの：)		

問4 **あなたは川崎区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)**

1 川崎区内に住み続けたい
2 川崎区以外の川崎市内に住みたい
3 市外に転居したい

◆ **ここからは、区民の皆さまの区政に対する評価やご要望などについておうかがいします**

■ **川崎区役所の広報について**

問5 あなたは、川崎区からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 市政だより
- 2 町内会・自治会の回覧板
- 3 新聞、タウン紙などの報道
- 4 区(市)のホームページ
- 5 かわさき生活ガイド
- 6 区の施設や掲示板にあるポスターやパンフレット類
- 7 メールマガジン(インターコムかわさきく)
- 8 区役所から送られるお知らせ文書
- 9 その他()
- 10 特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない

問6 平成23年度に実施した川崎区区民アンケートでは、区からのお知らせや情報を「市政だより」から入手している方が、約7割と最も多い結果となりました。

月に1回定期的に発行している「市政だより」の川崎区版について、どのような情報を充実してほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 防災関係情報(避難場所、ハザードマップなど)
- 2 健康・福祉関係情報(健康診断、関連施設、相談窓口など)
- 3 イベント情報(区主催のイベント情報など)
- 4 区役所内の窓口情報(相談内容別の問い合わせ先など)
- 5 歴史・文化・スポーツ関係情報(生涯学習、音楽のまち、スポーツ、講座など)
- 6 区政情報(区の事業紹介、制度紹介など)
- 7 子育て情報(関連施設、相談窓口など)
- 8 教育・学校関係情報(小中学校の情報、相談窓口など)
- 9 その他の情報()
- 10 特になし

問7 あなたは、日常生活で情報を得るためによく利用する媒体は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1 テレビ	6 新聞
2 ラジオ	7 雑誌
3 インターネット (パソコン)	8 タウン紙
4 インターネット (スマートフォン)	9 その他 ()
5 インターネット (タブレット端末)	

■ 川崎区役所が行っている事業の要望について

問8 川崎区役所が行っている事業で、今後、特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 防災に関する事業	10 産業・商業に関する事業
2 防犯・防火に関する事業	11 地域コミュニティの活性化に関する事業
3 交通安全に関する事業	12 観光・文化に関する事業
4 高齢者や障害者福祉に関する事業	13 スポーツに関する事業
5 健康増進に関する事業	14 音楽に関する事業
6 環境美化、地域緑化に関する事業	15 外国人市民に関する事業
7 子育てに関する事業	16 その他 ()
8 教育に関する事業	17 特になし
9 生涯学習に関する事業	

■ 今後の防災、災害対策について

問9 あなたは、災害時の避難場所(避難施設)の場所を知っていますか。(○は1つ)

1 知っている
2 なんとなく知っている
3 知らない

問10 あなたが知りたい災害対策に関する情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---|---------------------|---|
| 1 | 災害時の避難所 | |
| 2 | 津波の危険度（浸水予測）を示した地図 | |
| 3 | 学校などの公共施設の耐震性 | |
| 4 | 災害情報の入手方法 | |
| 5 | 自助・共助としての備蓄についての考え方 | |
| 6 | 市や区の地域防災計画 | |
| 7 | その他（ | ） |
| 8 | 特になし | |

問11 自分や家族を災害から守るために何か心がけていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---|------------------------------|---|
| 1 | 自宅に備蓄品・非常持出品を備えている | |
| 2 | 自宅の耐震補強や家具の転倒防止対策などを行っている | |
| 3 | 避難所への避難経路を確認している | |
| 4 | 家族の安否確認方法（連絡方法）や集合場所を話し合っている | |
| 5 | 地域の防災訓練に参加している | |
| 6 | その他（ | ） |
| 7 | 特になし | |

■ 新たな総合計画の策定について

問12 川崎市では平成26年度から2年程度かけて、川崎市がめざす方向について、総合的なビジョンと目標を示す「新たな総合計画」を策定する予定です。

あなたは「10年後の川崎区」について、どのような「まち」をめざすべきだと思いますか。優先度が高いと思う項目を選んでください。(○は5つまで)

- | | |
|----|---|
| 1 | 地震や大雨などの災害に強いまち |
| 2 | 防犯、交通安全など安全・安心な暮らしのできるまち |
| 3 | 社会的に支援が必要な方（高齢者や障害者など）を支えあうまち |
| 4 | 子どもを育てやすいまち |
| 5 | 教育環境が充実しているまち |
| 6 | ゴミやポイ捨てのないきれいなまち |
| 7 | 親しみやすい公園や広場に恵まれているまち |
| 8 | 音楽・文化・芸術の盛んなまち |
| 9 | スポーツ活動が盛んなまち |
| 10 | 地域活動が盛んなまち |
| 11 | 観光資源が充実しているまち |
| 12 | バスなどの交通体系が充実しているまち |
| 13 | 商店街の活性化など賑わいのあるまち |
| 14 | 区民の声が区政に届きやすく、自治意識が高いまち |
| 15 | 外国人市民が暮らしやすいまち |
| 16 | その他（ ） |
| 17 | 特になし |

■ 市民利用施設について

問13 区内のJR南武支線より横浜市側の地域（小田、京町、浅田等の地域）には、川崎市立の市民館や図書館の分館がありません。このことについて、あなたは不便に感じますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-------------|
| 1 | とても不便に感じる |
| 2 | 少し不便に感じる |
| 3 | あまり不便に感じない |
| 4 | まったく不便に感じない |
| 5 | わからない |

◆ **ここからは、区民の皆さまの区民会議への関心などについておうかがいします**

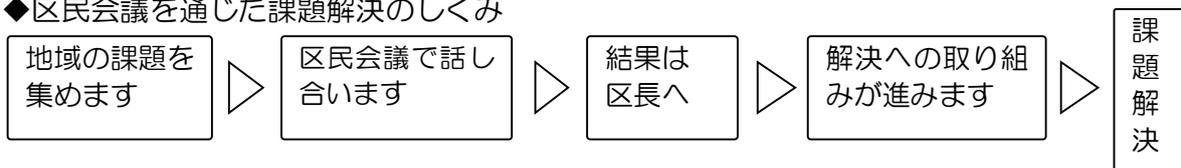
■ **川崎区区民会議について**

◆ **区民会議とは**

川崎区区民会議では、区民が委員となり、身近な地域の課題を選んで解決に向けた話し合いをします。その結果を区長が受け取り、区民と区役所との協働（※）などにより、課題の解決に向けた取り組みを進めます。

（※）協働とは、共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任の下で、相互の立場を尊重し、対等な関係で協力することです。

◆ **区民会議を通じた課題解決のしくみ**



① 身近な地域の課題を区民会議が集めます

② 課題を選んで解決に向けて話し合い、解決策をまとめます

③ 話し合いの結果（解決策）は区長が受け取ります

④ 課題解決をめざし、区民の取り組み、区民と区役所の協働、区役所の取り組みなどが進みます

過去の区民会議からの提案に基づく主な取組

- 海拔表示板の設置
- 「区の花」「区の木」の制定、効果的な活用
- 「カローリング」を活用した世代間が交流する場の拡充



詳細は、区ホームページ「川崎区区民会議」でもご覧いただけます。

問14 あなたは「区民会議」を知っていますか。（○は1つ）

- 1 内容まで知っている
- 2 あることは知っているが、内容は知らない
- 3 知らない

問15 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいと思う項目を、3つまでお選びください。(○は3つまで)

1 災害対策に関する事業	10 産業・商業に関する事業
2 防犯・防火に関する事業	11 地域コミュニティの活性化に関する事業
3 交通安全に関する事業	12 観光・文化に関する事業
4 高齢者や障害者福祉に関する事業	13 スポーツに関する事業
5 健康増進に関する事業	14 音楽に関する事業
6 環境美化、地域緑化に関する事業	15 外国人市民に関する事業
7 子育てに関する事業	16 その他 ()
8 教育に関する事業	17 特になし
9 生涯学習に関する事業	

問16 区は第3期川崎区区民会議の提案を基に、平成24年4月に区の花・木を制定しました。あなたは区の花が「ひまわり、ビオラ」、区の木が「^{いちよう}銀杏、^{ちようじゅうろう}長十郎^{なし}梨」であることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 ひまわりが区の花であることを知っている
2 ビオラが区の花であることを知っている
3 ^{いちよう} 銀杏が区の木であることを知っている
4 ^{ちようじゅうろうなし} 長十郎梨が区の木であることを知っている
5 知らない

■ 市民活動及び地域活動への参加について

問17 あなたは町内会・自治会に加入していますか。

1 加入している → 問18へ
2 加入していない → 問19へ

問18 町内会・自治会に加入した理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1 地域の人と触れ合えるから
2 地域の必要な情報を得ることができるから
3 地域の活動・行事に参加したいから
4 自治会・町内会への参加は義務だと思うから
5 加入の勧誘があったから
6 周りの人が加入しているから
7 入居するマンションに加入が規定されているから
8 その他 ()

問19 あなたが、町内会・自治会などの活動を行っていないのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 時間がないから (仕事、子育て、介護、家事が忙しい)
- 2 自分の趣味などのため、地域活動に時間を割かれないから
- 3 興味がないから
- 4 地域との関わりを持ちたくないから
- 5 義務ではないから
- 6 活動したいが、参加の方法がわからない・知らないから
- 7 近い将来、区・市外への転出が予想されるから
- 8 その他 ()
- 9 特になし

《全員の方へお聞きします》

問20 あなたが今後、参加してみたいと思う地域活動の分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 街の美化や緑化に関する活動
- 2 防災・防犯・防火などの地域安全に関する活動
- 3 保健・医療または福祉に関する活動
- 4 子ども・青少年や子育て・教育に関する活動
- 5 町内会・自治会に関する活動
- 6 文化、観光、産業振興に関する活動
- 7 地域のまちづくりに関する活動
- 8 スポーツ振興に関する活動
- 9 交通安全に関する活動
- 10 生涯学習の推進に関する活動
- 11 その他の活動 ()
- 12 特になし

◆ **最後にあなた様ご自身 についておうかがいします**

※調査結果をまとめるために必要な情報となります。

F 1 あなたの性別をうかがわせてください。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

F 2 あなたのご年齢をうかがわせてください。(○は1つ)

1 20歳未満	4 40～49歳	7 70歳以上
2 20～29歳	5 50～59歳	
3 30～39歳	6 60～69歳	

F 3 あなたの現在のお仕事は、どれですか。(○は1つ)

1 自営業	6 主婦・主夫（家事専業）
2 家族従業（家業手伝い）	7 学生
3 勤め（フルタイム）	8 無職（収入が年金のみの方を含む）
4 勤め（パートタイム）	9 その他（ ）
5 内職	

F 4 現在、同居しているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

1 1人（1人暮らし）	5 5人
2 2人	6 6人
3 3人	7 7人以上
4 4人	

F 5 あなたのお勤め先あるいは通学先はどちらですか。(○は1つ)

1 川崎市内（川崎区）	5 東京都（23区）
2 川崎市内（その他の区）	6 東京都（23区以外）
3 横浜市内	7 その他
4 神奈川県（川崎市・横浜市以外）	8 通勤・通学していない

～ご協力、誠にありがとうございました。このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、大変お手数ですが3月31日（月）までに、ポストへ投函してください。～

平成25年度 川崎区区民アンケート 報告書

平成26年 3月

発 行 川崎区役所企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町 8 番地

TEL 044-201-3267 (直通)

FAX 044-201-3209



川崎区